



IMO

第41回 訓練当直基準 小委員会報告書

平成22年3月



財団法人 海技振興センター

I



はしがき

この報告書は、平成 22 年 1 月 11 日から 15 日までの間、ロンドンで開催された IMO 第 41 回訓練当直基準小委員会（STW41）がその審議結果について IMO 第 87 回海上安全委員会（MSC87）に報告する文書 STW41/16 を財団法人海技振興センターが仮訳し、作成したものです。

第 38 回訓練当直基準小委員会（平成 19 年 1 月）において、STCW 条約（1978 年の船員の訓練及び資格証明並びに当直の基準に関する国際条約）の包括的見直しの原則が審議され、IMO 第 83 回海上安全委員会（平成 19 年 10 月）でその決定の承認がなされて以来、毎年冬期に開催された STW 小委員会及び夏期に開催された 2 回の中間作業部会で改正内容が審議され、このたびの STW41 で、締約国会議に提出する最終案がほぼ決定されました。

改正案は、平成 22 年 6 月にマニラで開催される締約国会議での審議を経て採択される予定ですが、いまだ検討事項も残っており、文書 STW41/16 の報告通りに採択されるかどうか予断を許さない状況です。しかし、大部分の内容はこれまでに開催された会合で十分審議されていますので、大きな変更はないものと思われ、本報告の仮訳が、皆様方の改正内容のご理解に役立つことができれば幸いです。

本報告書の内容は、STW41 の議事内容に加え、改正内容等を附属書で示しています。

また、参考として略語集も収録してあります。この略語集は改編を続けて更に充実を図っていくつもりです。

今後も、訓練当直基準小委員会には、参加者との連携の下、当海技振興センターがより一層参画して参りたいと考えていますので、ご支援をよろしくお願いします。

平成 22 年 4 月 30 日

（財） 海技振興センター

海上安全委員会への報告

第 1 巻

I 部

- ・ 海上安全委員会への報告

- ・ 附属書 1 改正 1978 年の船員の訓練及び資格証明並びに当直の基準に関する
国際条約 (STCW) の改正草案

II 部

- ・ REPORT TO THE MARITIME SAFETY COMMITTEE
- ・ ANNEX 1 DRAFT AMENDMENTS TO THE INTERNATIONAL CONVENTION ON
STANDARDS OF TRAINING, CERTIFICATION AND WATCHKEEPING
FOR SEAFARERS (STCW), 1978, AS AMENDED

第 2 巻

I 部

- ・ 附属書 2 船員の訓練及び資格証明並びに当直に関する (STCW) コードの A 部
改正草案
 - 第 I 章 一般規定に関する基準
 - 第 II 章 船長及び甲板部に関する基準
 - 第 III 章 機関部に関する基準
 - 第 IV 章 無線通信士に関する基準

II 部

- ・ ANNEX 2 DRAFT AMENDMENTS TO PART A OF THE SEAFARERS'
TRAINING, CERTIFICATION AND WATCHKEEPING (STCW) CODE
 - CHAPTER I Standards regarding general provisions
 - CHAPTER II Standards regarding the master and deck department
 - CHAPTER III Standards regarding engine department
 - CHAPTER IV Standards regarding radio operators

第3巻

I 部

- ・ 附属書 2 船員の訓練及び資格証明並びに当直に関する (STCW) コードの A 部
改正草案
 - 第 V 章 特定の種類の船舶の乗組員に対する特別な訓練要件に関する指針
 - 第 VI 章 非常事態、職業上の安全、保安、医療及び生存に関する職務細目に関する基準
 - 第 VII 章 選択的資格証明に関する基準
 - 第 VIII 章 当直に関する基準
- ・ 附属書 4 外交会議決議草案
- ・ 附属書 5 最小安全配員の原則に関する総会決議の草案
- ・ 附属書 6 改正 1974 年海上における人命の安全のための国際条約 (SOLAS) (第 V/14 規則) の改正草案

II 部

- ・ ANNEX 2 DRAFT AMENDMENTS TO PART A OF THE SEAFARERS' TRAINING, CERTIFICATION AND WATCHKEEPING (STCW) CODE
 - CHAPTER V Standards regarding special training requirements for personnel on certain types of ships
 - CHAPTER VI Emergency, occupational safety, security, medical care and survival functions
 - CHAPTER VII Standards regarding alternative certification
 - CHAPTER VIII Standards regarding watchkeeping
- ・ ANNEX 3* DRAFT AMENDMENTS TO PART B OF THE SEAFARERS' TRAINING, CERTIFICATION AND WATCHKEEPING (STCW) CODE
- ・ ANNEX 4 DRAFT CONFERENCE RESOLUTIONS
- ・ ANNEX 5 DRAFT ASSEMBLY RESOLUTION ON PRINCIPLES OF MINIMUM SAFE MANNING

- ANNEX 6 DRAFT AMENDMENTS TO THE INTERNATIONAL CONVENTION
FOR THE SAFETY OF LIFE AT SEA, 1974, AS AMENDED
(REGULATION V/14)
- ANNEX 7* DRAFT BIENNIAL AGENDA AND POST-BIENNIAL AGENDA OF
THE SUB-COMMITTEE AND PROVISIONAL AGENDA FOR STW 42
- ANNEX 8* STATUS OF PLANNED OUTPUT OF THE
HIGH-LEVEL ACTION PLAN OF THE ORGANIZATION AND
PRIORITIES FOR THE 2010-2011 BIENNIUM RELEVANT TO THE
SUB-COMMITTEE

*については、原文のみ収録

I 部

海上安全委員会への報告

附属書 1

〔仮訳〕
海上安全委員会への報告
第 1 巻

目 次

ページ

I 部

海上安全委員会への報告

1	総論	1
2	他の IMO 機関の決定事項	4
3	モデル訓練課程の承認	7
4	資格証明書に関わる不正行為	8
5	船員安全代表者の訓練	8
6	海難分析	10
7	STCW 条約及び STCW コードの包括的見直し	11
8	安全配員の決定のための強制要件を含む船舶の安全配員レベルの決定 に関する原則の見直し	52
9	海事保安を高める措置	56
10	e-Navigation 戦略実行計画の展開	56
11	船上の閉鎖区画に立入る際の勧告事項の改正	57
12	船内の非常事態に関する対応策実施モデルの策定	58

13	作業プログラム及び STW 42 の議題	59
14	2011 年の議長及び副議長選出	61
15	その他の議題	61
16	海上安全委員会への報告	63

附属書 1

改正 1978 年の船員の訓練及び資格証明並びに当直の基準に関する国際条約 (STCW) の改正草案	66
---	----

II 部

ANNEX 1	DRAFT AMENDMENTS TO THE INTERNATIONAL CONVENTION ON STANDARDS OF TRAINING, CERTIFICATION AND WATCHKEEPING FOR SEAFARERS (STCW), 1978, AS AMENDED
---------	---

1 総論

1.1 第 41 回訓練当直基準小委員会（STW 小委員会）は、ピーター・ブレイディ海軍少将（ジャマイカ）を議長とし、2010 年 1 月 11 日から 15 日まで開催した。本会合には A.H. カイッシィ氏（レバノン）も副議長として参加した。

1.2 本会合には下記に掲げる諸国の代表が参加した。

アルジェリア	リベリア
アンティグア・バーブーダ	社会主義人民リビア・アラブ国
アルゼンチン	ルクセンブルク
オーストラリア	マダガスカル
バハマ	マラウイ
ベルギー	マレーシア
ベリーズ	マルタ
ボリビア多民族国	マーシャル諸島
ブラジル	メキシコ
カナダ	モロッコ
チリ	オランダ
中国	ナイジェリア
クック諸島	ノルウェー
クロアチア	パナマ
キューバ	パプアニューギニア
キプロス	フィリピン
朝鮮民主主義人民共和国	ポーランド
デンマーク	ポルトガル
ドミニカ	カタール
エクアドル	韓国
エジプト	ルーマニア
エストニア	ロシア連邦
フィンランド	セントキッツ・ネイビス
フランス	サウジアラビア
ドイツ	シンガポール
ギリシャ	南アフリカ
アイスランド	スペイン
インド	スリナム

インドネシア	スウェーデン
イラン・イスラム共和国	スイス
アイルランド	タイ
イスラエル	トルコ
イタリア	ツバル
ジャマイカ	ウクライナ
日本	連合王国
ケニア	アメリカ合衆国
クウェート	ウルグアイ
ラトビア	バヌアツ
レバノン	ベネズエラ・ボリバル共和国

上記の他、下記の **IMO** 準加盟国も出席した。

フェロー諸島（デンマーク）
香港（中国）

1.3 下記に掲げる専門機関、政府間機関および非政府機関も参加した：

国際労働機関（ILO）
欧州委員会（EC）
アラブ連盟
国際海運集会所（ICS）
国際移動通信衛星機構（IMSO）
国際海運連盟（ISF）
国際海上保険連合（IUMI）
国際運輸労連（ITF）
国際海上通信委員会（CIRM）
バルチック国際海事評議会（BIMCO）
国際船級協会連合（IACS）
石油会社国際海事評議会（OCIMF）
国際パイロット協会（IMPA）
国際掘削請負業者連合（IADC）
国際海事大学連合（IAMU）
国際船長協会連盟（IFSMA）
国際独立タンカー船主協会（INTERTANKO）
国際ガスタンカー及びターミナル管理者協会（SIGTTO）
国際クルーズ船協会（CLIA）

国際ドライバルク貨物船主協会（INTERCARGO）
国際海事教育機関協会（IMLA）
海事工学・科学・技術協会（IMarEST）
国際船舶管理者協会（InterManager）
国際パーセルタンカー連盟（IPTA）
国際マリンコントラクター連盟（IMCA）
国際港長連盟（IHMA）
国際海事健康協会（IMHA）
世界海事教育・訓練機関連合（GlobalMET）
航海研究所（航海学会）（NI）

事務局長開会挨拶

1.4 参加者を歓迎して、事務局長が開会の挨拶を行った。その全文は STW 41/INF.2 に掲載されている。

議長挨拶

1.5 事務局長からの指針、激励および勧告に対し、議長が感謝の言葉を述べた。議長はまた事務局長に対し、その他の事柄に関する事務局長の勧告や要請事項についても、小委員会および作業部会が審議の過程において必ず十分な考慮を払うであろうと付言した。

議長は、小委員会の眼前には困難かつ遣り甲斐のある会議が控えている旨を強調した。そのような困難にも関わらず、これまで小委員会が訓練・資格証明・当直に関して健全かつ強固な国際立法措置や指導要領を効率的に策定してきた歴史に鑑みて、これまでと同様の精神が、STCW 条約（船員の訓練及び資格証明並びに当直の基準に関する国際条約）及び STCW コードの包括的な見直しを完結させる今会合を通じても発揮されるであろうことを確信する、と彼は述べた。

議題及び関連事項の採択

1.6 小委員会は議題（STW 41/1）を採択するとともに、小委員会の作業を暫定議題に対する注釈及び予定表（STW 41/1/1）の修正に沿って実施することについて全般的に合意した。議題に盛り込んだ各協議事項のもとに提出された文書のリストを含む本会合の議題は、STW 41/INF に記載されている。

2 他の IMO 機関の決定事項

第 86 回海上安全委員会の決定事項

2.1 小委員会は、第 86 回海上安全委員会（MSC86）の作業に関連してなされた決定事項やコメントに関する情報を受け（STW 41/2）、それに基づいて関連する議題に対して必要な措置をとった。

情報の送付

2.2 小委員会は、STCW の第 I/7 規則に従った STCW 条約の 2 締約国に関する事務局長報告を委員会が受け取ったこと、MSC 86 が、これらの締約国については情報評価の手続きが正しく実施され、また改正 STCW 条約の関連条項を「充分かつ完全」に実行していることを証明しているとして、STCW 条約締約国として認め、MSC/Circ.1164/Rev.6 を回章したことに特に留意した。

2.3 同委員会はまた、STCW の第 I/8 規則に従った STCW 条約の 8 締約国に関する事務局長報告を受け取り情報評価の手続きが正しく実施されたことを確認しそして改正 1978 年の船員の訓練及び資格証明並びに当直の基準に関する国際条約（STCW）の締約国によって提出された独立評価報告書に関連する情報についての MSC/Circ.1164/Rev.6 を回章した。同情報は条約の関連条項を「充分かつ完全」に実行していることを明示しているもので、当該締約国がそれを送付したことを MSC 86 が確認したものである。

有識者の承認

2.4 小委員会は、MSC/Circ.797/Rev.18 の附属書に列挙されているように、各国政府によって追加的に指名された有識者を海上安全委員会が承認したことに留意した。

委員会指針の適用

戦略計画及び高レベル活動計画の適用に関する指針

2.5 小委員会はさらに、各小委員会はそれぞれに付託された任務の技術的あるいは運用上の側面に審議を注力すべしという MSC 85 の合意を、MSC 86 が想起したことに留意した。海上安全委員会はさらに、議長会議は機関（IMO）の指針及び海上安全委員

会と海洋環境保護委員会そしてそれらの下部組織の作業の方法論の改正を検討すべし (MSC-MEPC.1/Circ.2)、ということで合意した。これは将来において同様なケースの反復を避けるとともに、新しい作業プログラム項目を提出しようとする者が小委員会レベルで提案を行う場合、その提案を立証するのに相応しい情報やデータを提起することを促すためである (MSC 85/26 第 23.40 項)。

2.6 また MSC 86 は MSC 86/WP.11 の附属書 3 で説明されている改正草案についても議論したが、オプションの選択については意見が真っ二つに分かれた。ひとつのオプションは、二つの新条項 2.12.1 と 2.12.2 の原文を提起された通りに残すというもので、他方のオプションは、一定の融通性を設けることで場合によっては作業プログラム項目の必要性について議論する余地を与えること、そして下部組織の技術的作業を容易にするため、提案者による情報提供に対してより厳格な指導を行うというものである。

2.7 本件をさらに考察していくための土台とするため、議論の中では以下のような指針が特筆された。

- .1 新しい作業プログラム項目が必要かどうか、及びそれらの項目が無視できないほど必要かどうかを考慮する役割はすべて各委員会に存するため、小委員会が議論を再開すべきではない。
- .2 各委員会は、技術的または運用上の考慮の結果について事前に決定することなく諸提案をフィルターにかけ、各小委員会の作業プログラム及び議題に新項目を含めるかどうかを決定する。これにより、各小委員会は当該の作業を完了させずに終わらせることも勧告できる。
- .3 各小委員会は実質的内容について作業を行うべきであり、各委員会からの指示を逸脱すべきではない。
- .4 新しい作業プログラム項目を提案する際、提案者はできるだけ多くの情報を収集すべきであるが、提案時に常に十分な情報が入手できるとは想定すべきではない。

2.8 上記の議論に引き続いて、MSC 86 は次回の会合において本件を再度審議することに合意し、また上記の見解に沿った取り組みをするためには草案原文の修正をどのように改善すべきかを検討するよう、関心を持つ加盟各国政府に呼びかけた。これに関して同委員会は事務局に対し、状況に応じて MEPC 59 に情報を提供するよう要請した。

2008～2009 二年間における所期活動の現状、機関の高レベル活動計画の提案及び 2010～2011 二年間の各委員会活動計画の優先事項

2.9 機関（IMO）の戦略計画（2008～2013 六年間）に関する決議 A.989(25)及び機関の 2008～2009 二年間の高レベル活動計画と優先事項に関する決議 A.990(25)の中でなされた IMO 総会の要請との関連で、C 102 に提案するため MSC 84 が事務局に対して、2008～2009 二年間の高レベル活動計画と優先事項の実施進捗状況の見直しに関する情報を提供し、MSC 86 の結果によっては更新されるかもしれない 2010-2011 二年間の高レベル活動計画のための提案を作成するよう指示したことを、MSC 86 は想起した。

2.10 決議 A.990(25)に列挙された活動との関連において、2008～2009 二年間における各委員会の所期活動の現状に関する文書 MSC 86/23/5（事務局）と議長会議（MSC 86/WP.11）でなされた勧告を検討した結果、MSC 86 は今二年間における MSC 活動計画の現状を是認した。この活動計画には議長と事務局による最新情報が含まれていたが、それは C 102 に提出される MSC 86 の結果を勘案して委員会が許可したものであった。

2.11 2008～2009 二年間で各小委員会によってなされた進展及び議長会議（MSC 86/WP.11）による勧告を勘案しつつ 2010～2011 二年間における各委員会の所期活動について修正を提起している文書 MSC 86/23/16（事務局）を検討した結果、MSC 86 は 2010～2011 二年間の機関の高レベル活動計画と優先事項に関する提案を是認した。これには議長と事務局による最新情報が含まれていたが、それは C 102 に提出するため MSC 86 の結果を勘案して委員会が公認したものであった。また MSC 86 は事務局に対し、NAV 55 及び DSC 14 から CWGSP 9 あるいは C/ES.25 向けに発する附属提案書についてのすべての変更を提出するよう要請した。

第 59 回海洋環境保護委員会の結果

2.12 小委員会は、第 59 回海洋環境保護委員会の作業に関する決定事項とコメント（STW 41/2/1）を通知された。これら決定事項とコメントに関して小委員会がとった行動は、本報告の関連議題に報告されている。

小委員会の決定

2.13 小委員会は、FP 52、DE 51、NAV 55 及び DSC 14 の作業に関する決定事項

とコメント（STW 41/2/2）を通知された。これら決定事項とコメントに関して小委員会がとった行動は、本報告の関連議題に報告されている。

第 26 回総会の結果

2.14 小委員会は、第 26 回総会において下記の事項が承認された旨、事務局より口頭で報告を受けた。

- .1 決議 A.1011(26)の説明にある、機関（IMO）の戦略計画（2010～2015 六年間）。
- .2 決議 A.1012(26)の説明にある、2010～2011 二年間に向けての機関の高レベル活動計画及び優先事項。
- .3 決議 A.1013(26)に説明されている、機関の戦略計画及び高レベル活動計画の適用に関する指針。

3 モデル訓練課程の承認

3.1 小委員会は、モデル課程の策定及びそのフランス語及びスペイン語への翻訳作業の進捗状況について、事務局から受けた（STW 41/3）情報に留意した。事務局からの最新情報によれば、34 件のモデル課程がフランス語に、38 件のモデル課程がスペイン語に翻訳されたとのことである。これら翻訳されたモデル課程のうち、31 課程がフランス語で、34 課程がスペイン語で公表済みである。未公表のモデル課程は現在作製過程にあるが、遠からず公表される予定である。既に報告したように、それ以外の課程についての翻訳は段階を追って手掛けられている。

STCW 条約及びコードの実施に関連したモデル課程の見直し

3.2 国際海事機関協会、国際海事大学連合、国際海事教育機関協会及び国際海事シミュレーション・フォーラムと共同で現在進められているモデル課程の検討作業が完了次第、STCW 条約及びコードに関連したモデル課程の見直し及び更新に着手するという提案を世界海事教育・訓練機関連合（GlobalMET）は繰り返し強調した。同連合はまた、リーダーシップと職員の管理能力の訓練についての新しいモデル課程を提案した。

3.3 国際海運連盟（ISF）のオブザーバーは、モデル課程の策定面で継続的に行われ

ている作業と、これらのモデル課程を機関の公用言語で提供すべく行われている努力を評価した。同連盟はまた、リーダーシップと職員の管理能力訓練が改定 STCW 条約の骨子の一部であることに鑑み、この面での GlobalMET による当該モデル課程開発提案も評価した。

しかし彼らは、条約改訂の意図を正確に反映するため、新しく作られる課程すべてについて、正当に評価・検討するための品質管理対策を実施するよう注意を喚起した。

3.4 小委員会は、この新提案を評価し、STW 40/WP.5 の附属書 2 に記述されているように段階的に STCW モデル課程を検討・更新するため GlobalMET と連絡を取るよう事務局に指示するとともに、これらを認証するため、しかるべき時機にこれらのモデル課程を小委員会に提出するよう指示した。

4 資格証明書に関わる不正行為

事務局に報告された不正証明書に関する報告

4.1 小委員会は、船上検査で発覚した不正証明書あるいは不正証明書が使用されたとされる具体的なケースに関して 2008 年中に事務局に報告された情報を事務局から受けたことに留意し、加盟各国政府に対し、検知された不正証明書の詳細を改訂報告書様式 (STW 38/17、附属書 1) により報告するよう促した。

4.2 小委員会はまた、2009 年の一年間で IMO ウェブサイトを通じた証明書の真偽検証が 13,142 回利用された旨の情報を口頭で事務局から伝えられたことについても留意した。

4.3 デンマーク代表団は事務局に対し、必要な追加措置を容易にする何らかの傾向を見出すことが可能かどうかを小委員会が判断する材料として、発覚した不正証明書に関する情報に加え、統計データも提供するよう要請した。さらに、ナイジェリア代表団の支持を受けた国際運輸労連 (ITF) のオブザーバーは、不正証明書を所持する個人を起訴するよう加盟各国を促した。起訴によって不正行為を思い留まらせることができる、というのが彼らの見解である。

5 船員安全代表者の訓練

5.1 小委員会は、各船の船員安全代表者 (SSR) に対する訓練要件を最終決定する前に、国際安全管理 (ISM) コードの改正に関わる人的要因についての MSC/MEPC 合

同作業部会の検討結果を待つことで STW 39 が合意したことを想起した。これに関連して小委員会は次のことに留意した。即ち、船員安全代表者に対する要件を ISM コードに盛り込む必要性はあるだろうが、以下の点に関連して懸念がある、との見解をいくつかの代表団が表明したことに MSC 84 が言及したことである。

- .1 少人数が乗り組む小型船。
- .2 多国籍の船員が乗り組む船舶。
- .3 訓練のあり方。
- .4 船内安全担当職員の役割との関係。
- .5 船長との関係。

そこで MSC 84 は、人的要因についての MSC/MEPC 合同作業部会の次期会合においてこの件の提案を再検討することで合意した。

5.2 さらに小委員会は、MEPC 59 で招集される予定の、人的要因に関する MSC/MEPC 合同作業部会の検討結果を STW 40 が待つことに同意したことを想起し、本件についての小委員会の継続的審議に両委員会が留意するよう促した。これは、本件についての同作業部会の検討結果と決議を MEPC 59 が直接 STW 41 に付託することが目的であり、それによって小委員会は必要に応じて SSR のための訓練要件を検討でき、完成目標を 2010 年まで延期できる。

5.3 MEPC 59 は船員安全代表者（SSR）の訓練要件を ISM コードに盛り込む必要性はないと判断し、MSC 87 の期間中に召集される予定の同作業部会の会合で SSR の訓練要件を既存指針の改訂に盛り込むことについて、コメントと提案を提出するよう加盟各国政府と諸国際機関に促した。MEPC 59 は、STW 40 が SSR の訓練について継続的な論議を行っていることに留意した。徹底的な議論の後、MEPC 59 は SSR の訓練要件に取り組むための指針を作成し、MSC 87 の決定を条件として、それを人的要因に関する MSC/MEPC 合同作業部会で取りまとめる MSC/MEPC.7 サーキュラーを通じて発信することで合意した。そこで MEPC 59 は小委員会に対し、本件をこれ以上検討しないよう指示した。

5.4 MEPC 59 からの指示に鑑み、小委員会は本件についてこれ以上の措置を採らな

い旨を言及し、本項目を作業プログラムから削除するよう委員会に促した（第 13.3.2.2 項を参照）。

6 海難分析

6.1 小委員会は、「海難分析」についての項目は各小委員会の作業プログラムに残すべきだと MSC 77（MSC 77/26、第 18.10 項）が決定したことを想起した。本決定は MSC 78（MSC 78/26、第 24.8 項）によって再確認された。

6.2 小委員会（STW 41/6）は、加工漁船ヘラクレス号の火災に関する調査報告書の検討結果に基づいた FSI 17（旗国小委員会）の勧告を検討した MSC 86 が、本会合で審議するため同報告書を付託することに同意したことに留意した。

6.3 フェロー諸島の代表団が小委員会に伝えたところによると、品質の悪い照明器具が劣悪な設計によって過熱し、それが船上に積んであった大量の梱包用段ボールに点火したのが事故の原因であった。同報告はさらに、もし空気ボンベ充填用のコンプレッサーがヘラクレス号に積んであったら、何人かの命は助かったであろうという点を強調した。船上での意思疎通を効果的にする共通の実用言語の必要性も強調された。デンマークとフェロー諸島の具申に基づいて、その後 MSC 86 は FP 及び DE 小委員会の作業プログラムに、「呼吸具用空気ボンベの充填手段」と「電気設備に関する一般的要件」という二つの新項目を盛り込んだ。

6.4 デンマーク代表団は事務局長の開会挨拶に言及し、またスペイン代表団の支持を受けつつ、加盟各国政府はトレモリノス議定書及び STCW-F 条約を批准する必要があると強調した。これによって漁業に携わる人員と船の安全性が向上するというのが彼らの意見である。彼らはまた、条約というのはしかるべき時間内に施行しなければ時代遅れになる可能性がある、とも強調した。

6.5 これに関連して小委員会は、毎年世界中で約 24,000 人の漁民の命が失われているという事実が懸念の原因となってきたこと、そしてトレモリノス議定書と STCW-F 条約の発効が問題の解決に役立つであろうと言及した。そこで小委員会は、これらを批准していない加盟各国政府に対し早期の批准を促した。

7 STCW 条約及び STCW コードの包括的見直し

7.1 総論

7.1.1 小委員会は以下のことを想起した。

- .1 STW 37 の要請に従って、MSC 81 は、優先順位の高い項目に、2008 年の完成を目途とした「STCW 条約及び STCW コードの包括的見直し」を盛り込んだ。その第一段階として小委員会に対し、実際の作業に着手する前に見直すべき問題を明確化することと、この条約とコードの見直し範囲を同委員会が承認できるよう、その旨を同委員会に通知することを指示した。同委員会による承認が得られた後、第二段階として、小委員会は認可された見直しに系統的・組織的に着手すること。
- .2 MSC 83 は、STW 38 が STCW 条約及び STCW コードの包括的な見直しの対象として確定した分野のリストを承認し、提起された見直し作業に系統的・組織的に着手するよう小委員会に指示し、完成目標日を 2010 年に延期した。

7.1.2 小委員会はさらに以下のことを想起した。

- .1 MSC 86 は、STW 40/14 文書の附属書 4 に報告された付託事項に関して、STCW 条約及び STCW コードの包括的な見直しに関する STW 中間作業部会（2009 年 9 月 7 日～11 日）の招集を是認した。
- .2 MSC 86 は、小委員会によって報告された STW 40/14 文書の附属書 1～3 に記述されている STCW 条約及びコードの予備改正草案を原則的に承認した。また、STW 41 が改正草案として最終確定することを認可した。この改正草案は、外交会議（締約国会議）での検討に付するため事務局長によって回章される。
- .3 事務局長が ILO 理事長と協議し、後者の同意を得たことに留意した MSC 86 は、2010～2011 年の二年間の予算に関する理事会及び総会の決議を待って、STCW 条約及びコードの改正を採択するための外交会議を 2010 年 6 月にフィリピンで招集するよう事務局長に要請した。
- .4 MSC 86 は事務局長に対し、STW 41 によって最終確定された改正草案を、そ

の採択を審議する外交会議に回章するよう要請し、また同会議への参加を促す口上書その他の関連文書を適当な時機に発行するよう要請した。

7.1.3 これに関連して小委員会は、2010年6月21日～25日にフィリピンのマニラで開催予定の「1978年船員の訓練及び資格証明並びに当直の基準に関する国際条約（STCW）」締約国会議への参加を呼びかける口上書を事務局が発行したことに留意した。

STCW 条約及びコードの包括的見直しに関する STW 第 2 回中間作業部会についての報告

7.1.4 小委員会は、STCW 条約及びコードの包括的な見直しに関する STW 第 2 回中間作業部会についての報告を全般的に承認したが、特に下記の点について、

- .1 STCW 条約及びコードの改正草案の第 I、II、III、V、VI、VII、VIII 章を、対応する議題の小項目（第 9.1 項）に照らしてさらに検討すべく提出することに、同作業部会が同意したことに留意した。
- .2 進行中の包括的な見直し作業の進捗状況を勘案した後、本会合で設定される作業部会・起草部会の付託事項を、STW 41/1/2 文書にある修正通りに承認した。
- .3 本会議は原則として決議を要する問題のみを審議すべきということで合意した。これは、作業部会が ISWG 2 によって作成された改正草案を使って作業を開始できるようにし、彼らの作業時間を最大限に確保するためである。

作業部会・起草部会の設置

7.1.5 小委員会は、STCW 条約及びコードの第 I 章及び第 III 章の包括的見直しを審議するため、以下のように修正された付託事項（STW 41/1/2、附属書）のもとに、メイト・メディナ氏（アメリカ合衆国）を議長とする作業部会 1（WG 1）を正式に設置した。

本会議においてなされたコメントと決議、特に原則に関わる諸問題を勘案しつつ、本会議からの付託事項に関して同作業部会は、議題 7.1 及び 7.3 に提出された文書

にある関連提案を検討しなければならない。そして、

- 1 STCW 条約及びコードの包括的見直しに関する STW 作業部会の第 2 回中間
会合で作成された STCW 条約の第 I 章、第 III 章及び STCW コードの A 部と
B 部の改正草案を見直し、かつ最終確定し、

その報告書を 2010 年 1 月 14 日（木）に開かれる本会議に提出しなければならない。
い。

7.1.6 小委員会は第 V 章及び第 VI 章の包括的見直しを審議するため、以下のように
修正された付託事項（STW 41/1/2、附属書）のもとに、Capt. M・A・シャーバ氏（イ
ラン・イスラム共和国）を委員長とする作業部会 2（WG 2）を正式に設置した。

本会議においてなされたコメントと決議、特に原則に関わる諸問題を勘案しつつ、
本会議からの付託事項に関して同作業部会は、議題 7.5 及び 7.6 に提出された文書
の関連提案を検討しなければならない。そして、

- 1 STCW 条約及びコードの包括的見直しに関する STW 作業部会の第 2 回中間
作業部会で作成された STCW 条約の第 V 章、第 VI 章及び STCW コードの A
部と B 部の改正草案を見直し、かつ最終確定し、

その報告書を 2010 年 1 月 14 日（木）に開かれる本会議に提出しなければならない。
い。

7.1.7 小委員会は、第 II 章の包括的見直し及び総会決議案を審議するため、次の付
託事項（STW 41/1/2、附属書）のもとに、A・H・カイッシィ氏（レバノン）を委員長
とする起草部会 1（DG 1）を正式に設置した。

本会議においてなされたコメントと決議を勘案しつつ、同起草部会は総会決議案に
関連する議題 7 及び議題 7.2 に提出された文書にある関連提案を審議しなければな
らない。

- 1 STCW 条約及びコードの包括的見直しに関する STW 第 2 回中間作業部会で
作成された STCW 条約の第 II 章及び STCW コードの A 部と B 部の改正草案
を見直し、かつ最終確定すること。

- .2 本会合に提出された総会決議草案を見直し、採択のため会議に提出すべく同本文を最終確定すること。

その報告書を 2010 年 1 月 14 日（木）に開かれる本会議に提出しなければならない。

7.1.8 小委員会は、第 IV 章、VII 章及び VIII 章の包括的な見直しを審議するため、次の付託事項（STW 41/1/2、附属書）のもとに、S・ハッシング氏（オランダ）を委員長とする起草部会 2（DG 2）を正式に設置した。

本会議においてなされたコメントと決議を勘案しつつ、本会議からの付託事項に関して同起草部会は、議事項目 7.4、7.7 及び 7.8 に提出された文書にある関連提案を審議しなければならない。

- .1 STW 40 で作成された STCW 条約第 IV 章及び STCW コードの A 部と B 部の予備改正草案を見直し、最終確定すること。
- .2 STCW 条約及びコードの包括的見直しに関する STW 第 2 回中間作業部会で作成された STCW 条約の第 VII 章と VIII 章、及び STCW コードの A 部と B 部の改正草案を見直し、最終確定すること。

その報告書を 2010 年 1 月 14 日（木）に開かれる本会議に提出しなければならない。

7.1.9 各作業部会の設置に先立ち、小委員会は、後出項の記載にあるように、原則として決議を要する諸提案については当該作業部会に付託する前にそれらを審議した。原則として決議を要しない提案についてはすべて当該作業部会に直接付託した。

7.2 第 1 章 – 一般規定

第 I/1 規則（定義及び解釈）

7.2.1 確定されたすべての定義を一斉に審議できるよう、小委員会は、見直し作業の完了後に本規則を審議することで合意した。

第 I/2 規則（証明書及び裏書き）

7.2.2 小委員会は、第 I/2 規則の第 6、12 項及び 12.1～12.4 項、A-I/2 節の第 8、9、9.4 項及び表 A-I/2、そして B-I/2 節の第 5、5.9 項及び 5.11 項が検討中（「カギ括弧」を「検討中」で表示。以下同じ。）部分を含んでいることを想起した。

第 I/2 規則

7.2.3 小委員会は、第 6 項において検討中の本文を検討した。この点に関連して、他からの支持を受けたイラン・イスラム共和国代表団は、原文はそのまま残し、「**verifying**」（検証すること）ではなく「**ensuring**」（保証すること）という用語を使用すべきだ、との意見を表明した。

7.2.4 他からの支持を受けたインド代表団は、原文にある表現の替わりに「**certificate of competency**」（資格証明書）を使用するよう主張した。

7.2.5 シンガポール代表団は、意図は似ているにしても、「**ensure**」（保証する）という用語は「**verify**」（検証する）に比べると結果としてより煩わしい責務を伴うことになろう、という意見を表明した。さらに、「**verify**」という用語は「正式な確認をすること」を意味するので、主官庁にとってはより実践的であろう、とした。彼らの見解によれば、「**ensure**」という用語を使うと非常に煩わしい責務を課すことになるので、国家が発行する証明書の認可プロセスに遅れを生じさせ、海運業界に困難をもたらす可能性があるという。

7.2.6 小委員会は若干の議論の後、「**certificate of competency**」と「**ensuring**」という用語を使用することと、「**certificate**」と「**verifying**」という用語を削除することで合意した。

7.2.7 第 12 項にある検討中の本文については、小委員会は、第 I/9 規則（第 7.2.58 項を参照）を審議する際に検討することで合意した。

STW 41/7/37 文書

7.2.8 フィリピン（STW 41/7/37（部分））は、真正性の検証と証明書の有効性に関する手続きに遅滞を生じないように、締約国が発行するあらゆる証明書や裏書について電子データベースを保持することを各締約国に要求している第 13 項に対して、改正を提起した。

7.2.9 同提案を原則的に支持しつつも、バハマ代表団は、データベースは提起されたような電子フォーマットである必要はない、との意見を表明した。

7.2.10 他からの支持も受けたドミニカ代表団は、必ずしもすべての主官庁が真正性検証への要請に迅速に対応しているわけではないという理由から、同提案を支持した。

7.2.11 デンマークの支持を受けたベルギー代表団は、個人の権利保護の観点から、提起されたようなデータベースへのアクセスには制限を加えるべきだ、という意見を表明した。

7.2.12 他からの支持を受けたオランダ代表団は、このデータベースは承認に対する裏書を必要とする証明書のみに限定すべきだ、という意見を表明した。

7.2.13 本会議のコメントと決定を考慮しつつ本文を最終確定するため、小委員会は若干の議論の後、この提案を WG 2 に付託してさらに詳しく検討することで合意した。ただし、データベースは承認に対する裏書を必要とする証明書に限定することとした。

STW 41/7/47 (部分) 文書

7.2.14 オーストリアその他 (STW 41/7/47 (部分)) は、第 6 項の改正を提起した。これはタンカー証明書を発行する際に主官庁が関与すること、またそれらの証明書を裏書によって承認することを確実にするためである。

7.2.15 本会議のコメントと決定を考慮しつつ本文を最終確定するため、小委員会は簡潔な議論の後、この提案を WG 2 に付託しさらに詳しく検討することで合意した。

第 A-I/2 節

7.2.16 第 8、9、9.4 項において検討中の本文を検討した結果、小委員会は同本文のまま確定することで合意した。

7.2.17 フィリピン (STW 41/7/35) は、表 A-I/2 と技能証明書様式の改正案を提起した。

7.2.18 第 I/2 規則に基づいた対応提案の結果、証明書の真正性と有効性を検証する

ため、主官庁と会社に供与されるアクセスのレベルに関する第 7 項について、フィリピン（STW 41/7/37（部分））は改正案を提起した。

7.2.19 オーストラリア（STW 41/7/54）は、表 A-I/2 の改正案を提起した。

7.2.20 これらの提案が原則として決議を要しないことに留意しつつ、本文を最終確定するため、小委員会はこれらをさらに詳しく検討することとして WG 1 に付託した。

第 B-I/2 節

7.2.21 小委員会は簡潔な議論の後、第 5、5.9、5.11 項の検討中の本文を検討し、以下の点について合意した。

- .1 第 5 項の本文とカギ括弧を削除すること。
- .2 第 5.9、5.11 項のカギ括弧を削除し、本文はそのまま残すこと。

第 I/3 規則（沿岸航海を規律する原則）

7.2.22 小委員会は、本規則及び STCW コードの関連部分には検討中部分が無いことを想起し、本会合では同規則に対してこれ以上の提案が提出されなかったことに留意した。

第 I/4 規則（監督手続）

第 I/4 規則

7.2.23 小委員会は第 2.1 項にある検討中の本文を検討し、最初のカギ括弧をその本文と一緒に削除し、二番目のカギ括弧箇所については括弧を削除するが本文は残すことで合意した。

第 A-I/4 節

7.2.24 ポート・ステート・コントロール当局及び主官庁が意味をより明確に把握できるように、フィリピン（STW 41/7/36）は第 6 項の改正を提案した。

7.2.25 この提案が原則として決議を要しないことに留意しつつ、本文を最終確定するため、小委員会はさらに詳しく検討することとしてこれを WG 1 に付託した。

第 II 章、第 VI 章、及び甲板部職員のための基本的な安全訓練要件の間の関連性 – 第 B-I/4 節

7.2.26 第 II 章、III 章及び第 VI 章に基づいた対応提案の結果、第 II 章と第 VI 章の間の関連性を明らかにするため、イラン・イスラム共和国 (STW 41/7/21 (部分)) は第 B-I/4 節に対する改正案を提起した。

7.2.27 小委員会は簡潔な議論の後、基本的な安全訓練に取り組む上で表 A-II/1、A-II/3 及び表 A-III/1 に新しい能力要件を加える必要があるということで合意した。しかし、第 II 章、III 章及び VI 章の間の関連性を明らかにするため、第 II/1 規則の第 2.6 項、第 II/3 規則の第 4.5 項及び 6.4 項、第 III/1 規則の第 2.5 項の本文草案を削除することについては合意しなかった。さらに、第 B-I/4 節に対して提起された改正案についても合意しなかった。

第 I/5 規則 (国内規則)

7.2.28 小委員会は第 4.2 項にある検討中の本文を検討し、最初のカギ括弧をその本文と一緒に削除し、二番目のカギ括弧箇所については括弧を削除するが本文は残すことで合意した。

7.2.29 小委員会は、本会合では本規則に対してこれ以上の提案が提出されなかったことに留意した。

第 I/6 規則 (訓練及び評価)

7.2.30 小委員会は、本規則及び STCW コードの関連部分には検討中の本文が無いことを想起し、本会合では同規則に対してこれ以上の提案が提出されなかったことに留意した。

第 I/7 規則 (情報の送付)

検討中部分の本文

7.2.31 小委員会は、第 A-I/7 節の第 4、6.5 及び 12.1 項が検討中の部分を含んでいることを想起し、第 6.5 項のカギ括弧をその本文と一緒に削除し、第 A-I/7 節の第 12.1 項にあるカギ括弧箇所については括弧を削除するが本文は残すことで合意した。

7.2.32 さらに小委員会は、ISWG 2 が事務局に対し、現時点で検討中の第 4 項の本文（[要求があり次第、同報告書は機関（IMO）から締約国に提供される]）が改訂本文に含まれる場合に当機関に及ぼすであろう結果と影響を査定し、STW 41 に提出するよう指示したことを想起した。

7.2.33 事務局（STW 41/7/18）は、STCW 締約国が提出した独自評価の報告が他の締約国からの要求によって提供された場合、機関（IMO）にとってどのような結果と影響をもたらすかを査定し、提供した。

7.2.34 他からの支持を受けたスペイン代表団は、本システムの透明性と管理を高めるため、締約国からの要求があり次第、当該報告書を締約国に提供する必要性がある、との意見を表明した。

7.2.35 他からの支持を受けたイラン・イスラム共和国代表団は、同報告書が締約国に提供された場合は労力の重複につながり、結果として二つのシステムが併存することになる恐れがある、との意見を表明した。

7.2.36 徹底的な議論の後、この段階では意見の相違は解決できないと判断した小委員会は、外交会議での決議を俟つため、同提案を検討中のまま残すことで合意した。

STW 41/7/45 文書

7.2.37 オーストリアその他（STW 41/7/45）は、本報告を事務局長が受領したことを受け、海上安全委員会がとるべき措置をさらに具体的に規定するため、第 I/7 規則の第 3 項の改正を提起した。

7.2.38 他からの支持を受けたアメリカ合衆国代表団は、当該の手続き問題が既に STW 34 において詳細に論議され決議されていることから、提起された改正は不要であるとの意見を表明した。

7.2.39 他からの支持を受けたドイツ代表団は、STCW 条約及びコードの関連条項をすべての締約国が十分に遵守するためには提起された改正は必要である、との意見を表

明した。

7.2.40 徹底的な論議と挙手採決を経て小委員会は同提案に同意し、本会議においてなされたコメントと決議を考慮しつつ本文を最終確定するため、同提案を詳しく検討すべく WG 1 に付託した。

STW 41/7/53 文書

7.2.41 イラン・イスラム共和国 (STW 41/7/53) は、第 A-I/8 節の新第 3.1 項による要件を包含するために、第 A-I/7 節の改正を提起した。

7.2.42 他からの支持を受けたアメリカ合衆国代表団は、第 A-I/8 節の諸原則を第 A-I/7 節に含める必要がある、との見解を表明した。

7.2.43 他からの支持を受けたカナダ代表団は、有識者からなる審査会に指示を出す必要がある、との見解を表明した。これは「著しい不適合を是正するための措置が適時かつ適切にとられるよう」、また適切な指針が策定されることを保証するのが目的である。

7.2.44 簡潔な論議を経て小委員会は、本会議においてなされたコメントと決議を考慮して詳しく検討し、本文を最終確定するため同提案を WG 1 に付託することで合意した。

第 I/8 規則 (資質基準)

7.2.45 小委員会は、本規則及び STCW コードの関連部分には検討中の本文が無いことを想起し、本会合では本規則に対してそれ以上の提案がなされなかったことに留意した。

第 I/9 規則 (身体基準)

7.2.46 小委員会は、本規則及び STCW コードの関連部分には多くの検討中本文があるが、これらは本会議においてなされたコメントと決議及び今会合に提出された諸提案を考慮しつつ、WG 1 で検討することが可能であることを想起した。

STW 41/7/32 文書

7.2.47 オーストラリア (STW 41/7/32) は第 B-I/9 節に対する改正本文を提起した。

7.2.48 小委員会は簡潔な議論の後、本会議においてなされたコメントと決議を考慮して詳しく検討し、本文を最終確定するため、同提案を WG 2 に付託した。

STW 41/7/43 文書

7.2.49 ISF と ITF (STW 41/7/43) は、STW 41/7/2 の規定にある新人に対する実務上の視力基準及び身体基準の最小評価に関する改訂諸表を、第 B-I/9 節の中に指針として含むべきこと、及び STW 41/7/43 の附属書で説明されている新しい一般基準を第 A-I/9 節の中に含めるべきであると提起した。

7.2.50 インド、フィリピン、南アフリカ及びシンガポール代表団は国際クルーズ船協会 (CLIA) のオブザーバーとともに、この提案を支持した。

7.2.51 他からの支持を受けたドイツ代表団は、他国が発行した身体検査証明書を承認するためには、強制的な身体基準を規定する必要性が明らかにある、との意見を表明した。

7.2.52 徹底的な論議の後、小委員会は同提案には同意しなかった。

STW 41/7/46 文書

7.2.53 オーストリアその他 (STW 41/7/46) は、身体基準に関する STW コードの第 A-I/9 節、表 A-I/9-1 及び第 B-I/9 節についての改正を提起した。

7.2.54 他からの支持を受けたアメリカ合衆国代表団は、下記の項目を第 A-I/9 節に含める必要がある、との意見を表明した。

- .1 海上航行業務船員に適用される祖父条項。
- .2 基準を適用する際の医師の自由裁量。

7.2.55 日本代表団は、C.I.E.が策定した色彩識別力基準を用いるべきだ、との意見を表明した。

7.2.56 イラン・イスラム共和国代表団は、色彩識別力基準は甲板部と機関部双方の職員に適用すべきだ、との意見を表明した。

7.2.57 国際海事健康協会（IMHA）のオブザーバーは、さまざまな色彩識別力試験方法がある旨を小委員会に述べ、機能面での要件は視力基準を最終確定する際に検討すべきだ、と勧告した。

第 I/9 規則中の検討中の本文

7.2.58 同規則の第 12 項にある検討中の本文に関して、小委員会は、第 I/9 規則の議論が終わった後で検討することで同意したことを想起した。これに関連して、小委員会は、カギ括弧は削除するが本文は残すことで合意した（第 7.2.7 項を参照のこと）。

7.2.59 徹底的な論議を経て、小委員会は、本会議においてなされたコメントと決議を考慮して詳しく検討し、本文を最終確定するため、同提案を WG 1 に付託した。

第 I/10 規則（証明書の承認）

7.2.60 小委員会は、本規則及び STCW コードの関連部分には検討中の本文が無いことを想起した。

7.2.61 パナマ（STW 41/7/28）は、証明書の承認に関わる本規則に対して、提起された改正本文についてコメントして、提起された修正無しで元通りの原文を残すよう勧告した。

7.2.62 小委員会は、この提案が原則として決議を要しないことに留意しつつ、さらに詳しく検討して本文を最終確定するため、これを WG 1 に付託した。

第 I/11 規則（証明書の更新）

7.2.63 小委員会は、本規則及び STCW コードの関連部分に多くの検討中の本文があるが、これらは本会議においてなされたコメントと決議及び今会合に提出された諸提案を考慮して WG 1 が審議することで合意した。

7.2.64 イラン・イスラム共和国は、下記についての改正を提起した。

- .1 第 I/11 規則に対する改正。これは第 2 項の趣旨を明確にし、異なる解釈 (STW 41/7/19 (部分)) によって問題が生ずることを避けるためである。
- .2 STCW コードの第 A-I/11 節及び第 B-I/11 節に対する改正。これは、専門的能力の継続的な維持を確立するために (STW 41/7/14) 3 カ月間の海上航行業務を行うというオプションの重複を是正するためである。

7.2.65 STW 41/7/14 文書に記載されている同提案は、アメリカ合衆国とバハマの代表団によって支持された。この点に関連して、他からの支持を受けたデンマーク代表団は、そのような重複は無いだけでなく、これに関連したいかなる問題もこれまでに起こったことはない、従って同提案を支持することはできない、との意見を表明した。

7.2.66 STW 41/7/19 文書 (部分) に記載されている同提案について、他からの支持を受けたスペイン代表団は、同提案の内容には矛盾が無いだけでなく、これまでに解釈の相違からくるいかなる問題も起こったことはない、との意見を表明した。

7.2.67 簡潔な議論の後、小委員会はこれらの提案には同意しないこととした。

専門的能力の維持

7.2.68 STCW コード第 VI 章にあるような船上訓練を実施することのできない分野において専門的能力が確実に維持されるよう、イラン・イスラム共和国 (STW 41/7/22 (部分)) は、STCW 条約の第 I/11 規則の改正を提起した。

7.2.69 アメリカ合衆国は同提案を原則として支持しつつも、船長と機関長は提起されたこれらの条項の対象として免除されるべきでない、という趣旨には同意しなかった。

7.2.70 簡潔な議論の後、小委員会は、本会議でのコメントと決議を勘案しつつ本文を最終確定するため、本提案を WG 1 に付託することで合意した。

第 I/12 規則 (シミュレータの使用)

7.2.71 小委員会は、第 B-I/12 節の第 48.3 項、53.2 項、及び 68 項と 72 項の脚注が検討中であることを想起し、第 48.3 項にあるカギ括弧を削除してその本文を脚注として残すことで合意した。

7.2.72 さらに小委員会は、機関によって採用された性能基準が IMO の出版物「船舶無線通信及び航海計器の性能基準」の中で公開されていることに言及しつつ、第 53.2 項、68 項及び 72 項の脚注にある性能基準の詳細を、下記の本文に差し替えることで合意した。

“機関によって採用され、IMO の出版物「船舶無線通信及び航海計器の性能基準」で説明されている関連の性能基準を参照のこと。”

7.2.73 小委員会は、本会合では本規則に対してそれ以上の提案がなされなかったことに留意した。

第 I/13 規則（試験の実施）

7.2.74 小委員会は、本規則及び STCW コードの関連部分には検討中の本文が無いことを想起し、本会合では本規則に対してそれ以上の提案がなされなかったことに留意した。

第 I/14 規則（会社の責任）

7.2.75 国際海事教育機関協会（IMLA）（STW 41/7/51）は、船上での意思疎通の信頼性向上に関連する第 I/14 規則の第 1.7 項についての改正を提起した。

7.2.76 小委員会は、本提案が原則として決議を要しないことに留意しつつ、さらに詳しく審議して本文を最終確定するため、これを WG 1 に付託した。

7.2.77 国際クルーズ船協会（CLIA）のオブザーバーは、客船と Ro-Ro 旅客船の職員に対する訓練要件が一致したことを想起した。従って、客船の職員は第 A-V/2 節の第 3 項に記載の訓練要件を満たす必要がなくなるので、第 A-I/14 節に記載の要件を再検討する必要があるとの意見を述べた。小委員会はこれに関連して、本件を審議して本文を最終確定するよう WG 1 に指示した。

第 I/15 規則（経過規定）

7.2.78 小委員会は、本規則の本文全体が検討中であり、見直し作業の完成を待っていることを想起した。

7.2.79 アメリカ合衆国 (STW 41/7/26) は、STCW 条約及びコードについての 2010 年の改正事項を実行するための経過規定を定めるため、STCW 条約の第 I/15 規則の改正を提起した。

7.2.80 簡潔な議論の後、小委員会は、本会議でのコメントと決議を勘案しつつ本文を最終確定するため、本提案を WG 1 に付託した。

第 I/1 規則（定義及び解釈）

7.2.81 小委員会は第 I/1 規則の第 1.11 項、1.14 項、1.27 項、1.27-1 項、1.29～1.40 項、1.42 項と第 4 項、及び第 A-I/1 節の第 1.5 項に検討中の本文が含まれていることを想起し、またこれらが原則として決議を要しないことから、WG 1 が本会議決議を勘案しつつこれらを審議し本文を最終確定することができる、ということで合意した。その際特に審議の焦点となるのは、第 V 章及び第 VI 章の規定に従って発行される証明に関わる事柄である。

7.2.82 イラン・イスラム共和国 (STW 41/7/19 (部分)) は、「海上航行業務」という用語の定義の改正を提起した。これに関連して小委員会は、本提案が原則として決議を要しないことに留意しつつ、さらに詳しく検討して本文を最終確定するため、これを WG 1 に付託した。

7.2.83 オーストリアその他 (STW 41/7/47 (部分)) は、第 I/1 規則の新しい第 4 項の改正を提起した。これは、第 V/1-1 規則及び V/1-2 規則の規定により、船長と職員への証明が主管庁のみによって発行されることを保証するためである。

7.2.84 小委員会は、イラン・イスラム共和国 (STW 41/7/30 (部分)) が「GMDSS 無線通信士」という用語の新しい定義を提起したことを想起した。本件は今会期中に WG 1 によって審議される必要がある。

7.2.85 簡潔な議論の後、本会議でのコメントと決議を勘案しつつ本文を最終確定するため、小委員会はこれらの提案を WG 1 に付託した。

作業部会への指示

7.2.86 上記に鑑み、小委員会は WG 1 に対し、本会議でのコメントと決議を勘案し

て STCW 条約及びコードの第 I 章の本文を最終確定するよう指示した。

7.3 第 II 章 – 船長及び甲板部

7.3.1 小委員会は、ISWG 2 によって作成された第 II 章 (STW 41/7/3) の改正草案に留意した。

検討中の本文

7.3.2 小委員会は、第 II/1 規則の第 1 項、第 II/2 規則の第 1 項と第 3 項、第 II/3 規則の第 1 項、第 2 項、第 3 項と第 5 項、第 II/5 規則の第 3 項、第 4 項と第 5 項、第 A-II/1 節の第 1.2 項と 1.3 項、そして第 II/3 節の第 1.2 項、第 1.3 項と第 4 項には検討中の本文が含まれていることを想起した。

7.3.3 これに関連して小委員会は、第 III 章の下でなされた対応決議の結果として、下記について合意した。

- .1 第 II/1、第 II/2、第 II/3 規則及び第 A-II/1 節と第 II/3 節の第 1.2 項、第 1.3 項の中の「適切な証明書」という用語をカギ括弧とともに削除し、「資格証明書」という用語を残し、その前後のカギ括弧を削除すること。
- .2 第 A-II/1 節と第 II/3 節の第 1.2 項、第 1.3 項の中の「資格証明書」という用語をカギ括弧とともに削除し、「適切な証明書」という用語を残し、その前後のカギ括弧を削除すること。
- .3 第 II/5 規則の第 3 項と第 4 項にある検討中本文を「発効日」に、そして第 5 項にある検討中の本文を「発効日から 5 年間」に差し替え、外交会議が発効日を決定した後で実際の日付を入れること。
- .4 第 A-II/3 節の第 4 項にあるカギ括弧を削除し、本文は残すこと。

SOLAS 条約の昼間信号灯の搭載に関する第 V/19.2.2.2 規則、COLREG 条約の附属書 4、及び国際信号書のアペンディックス 1 に対する見直し、及び「デッカ」と「ロラン」という用語と差し替えるべき正しい一般用語

7.3.4 小委員会は、NAV 55 からなされた下記に関する勧告を想起した。

- .1 昼間信号灯の搭載、COLREG 条約の附属書 4、及び国際信号書のアペンディックス 1。
- .2 「デッカ」と「ロラン」という用語と差し替えるべき正しい一般用語。

は既に ISWG 2 によって検討されたこと。

リーダーシップ及び管理技能

7.3.5 ISF 及び ICS (STW 41/7/13) は、STCW コード第 II 章の表 A-II/1 と A-II/2 を改正してリーダーシップと管理技能、状況把握、意思決定に関連する要素を含めるよう提起した。

7.3.6 簡潔な議論の後、本文を最終確定するため、小委員会は本提案に同意し、これを DG 1 に付託した。

第 II 章と第 V 章における要件の重複

7.3.7 イラン・イスラム共和国 (STW 41/7/16) は、STCW コードの表 A-II/1 と A-II/2 についての改正を提起した。これは、旅客及びタンカー荷役作業訓練について、当該の表による要件が STCW 条約及びコードの第 V 章のそれと重複しているため、これを是正するためである。

7.3.8 簡潔な議論の後、小委員会は本提案には同意しなかった。

第 II 章と第 VI 章の関連及び甲板部職員に対する基本的な安全訓練要件

7.3.9 イラン・イスラム共和国 (STW 41/7/21) は、第 II/1 規則と第 II/3 規則、及び表 A-II/1 と A-II/3 についての改正を提起した。これは当該の規則及び表と、第 B-I/4 節、B-VI/1 節、B-VI/2 節、B-VI/3 節及び B-VI/4 節との間に見られる不一致を解決し、第 II 章と第 VI 章の関連を図るためである。結果として、彼らはまた、第 III 章についても同様な改正を提起した。これに関連して小委員会は、第 I 章の第 I/4 規則の下で既に本件を検討済みであることを想起した。

7.3.10 小委員会は、基本的な安全訓練の向上を図るため、第 I 章を審議した際に表

A-II/1、A-II/3 及び A-III/1 に新しい能力を一つ追加する必要性があることで合意したことを想起した。しかし、第 II 章、第 III 章及び第 VI 章の間の関連を図るため、第 II/1 規則の第 2.6 項、第 II/3 規則の第 4.5 項と 6.4 項、及び第 III/1 規則の第 2.5 項についての削除には同意しなかった。小委員会は DG 1 に対し、そのように本文を最終確定するよう指示した（第 7.2.27 項を参照のこと）。

7.3.11 簡潔な議論の後、本会議でのコメントと決議を勘案して STCW 条約及びコード第 II 章の本文を最終確定するため、小委員会はこれらの提案を WG 1 に付託した。

7.3.12 オーストラリア代表団は小委員会に対し、海図や出版物上の用語を SOLAS 条約で用いられている用語に一致させることを検討するよう要請した。小委員会は第 I 章、II 章及び VII 章にある用語を一致させることに同意し、その旨を WG 1、DG 1 及び DG 2 に指示した。

起草部会への指示

7.3.13 上記に鑑み、小委員会は DG 2 に対し、本会議でのコメントと決議を勘案して STCW 条約及びコードの第 II 章の本文を最終確定するよう指示した。

7.4 第 III 章 – 機関部

7.4.1 小委員会は、ISWG 2 によって作成された第 III 章（STW 41/7/4）の改正草案に留意した。

検討中の本文

7.4.2 小委員会は、第 III/1 規則の第 1 項と第 2.3 項、第 III/2 規則と第 III/3 規則の第 1 項、第 III/5 規則の第 3 項、第 III/6 規則の第 1 項と第 3 項、第 III/7 規則及び第 A-III/7 節並びに B-III/7 節の全体、第 III/8 規則の 3 項に、検討中の本文が含まれていることを想起した。

7.4.3 これに関連して小委員会は、下記の検討中の本文について次のように合意した。

- .1 第 III/1、第 III/2、第 III/3、第 III/6 規則の第 1 項にある「適切な証明書」という用語をカギ括弧とともに削除し、「資格証明書」という用語を残し、その

前後のカギ括弧を削除すること。

- .2 第 III/5、第 III/6、第 III/8 規則の第 3 項にあるカギ括弧内の本文を「発効日」に差し替え、外交会議が発効日を決定した後で実際の日付を入れられるようにすること。
- .3 第 III/1 規則の第 2.3 項にある「職員」という用語をカギ括弧内とともに削除し、「技術者」という用語を「機関士」に差し替えるとともにその前後のカギ括弧を削除すること。

そして本会議において決議するため、第 III-7 規則及び A-III/7 節、B-III/7 節の本文全体を詳しく検討することで同意した。

第 A-III/1 節

7.4.4 イラン・イスラム共和国 (STW 41/7/15) は、異なるタイプの推進機関に関する資格証明要件について第 A-III/1 節と第 A-III/2 節及び第 A-III/3 節の間に見られる不一致の是正を図るため、第 A-III/1 節の本文についての改正を提起した。

7.4.5 小委員会はこの提案が原則として決議を要しないことに留意して本文を最終確定するため、これを WG 1 に付託しさらに詳しく審議することにした。

沿岸航海規定の推進出力制限についての変更の検討

7.4.6 インドその他 (STW 41/7/41) は、沿岸航海のための限界推進出力を 6,000kW に増やすよう提起した。さらに彼らは、第 A-III/1 節の沿岸航海規定を第 A-III/2 節と一致させるための修正も提起した。

7.4.7 これに関連して小委員会は、第 A-III/1 節と第 A-III/2 節において現行の推進出力制限を残すことで合意がなされた時に、本件が STW 40 と ISWG 2 において既に論議されていることを想起した。

7.4.8 若干の議論の後、小委員会は本提案に同意しないこととした。

最新技術 – 表 A-III/1 及び A-III/2

7.4.9 STW 40 及び ISWG 2 に対する彼らの提案に沿って、日本その他 (STW 41/7/17) は、STCW コードの表 A-III/1 及び A-III/2 に対する改正案の修正を提起した。これは、これらの表の本文を改正し、かつ第 B-III/1 節の 1 項を大幅に削除することで最新技術に対応するためである。

7.4.10 簡潔な議論の後、他の諸案件がすべて審議された後で十分な時間的余裕があった場合に詳しく検討するために、小委員会は本提案を WG 1 に付託した。

チームワーク及び人員管理

7.4.11 国際海運集会所 (ICS) と国際海運連盟 (ISF) (STW 41/7/31) は、チームワーク及び人材管理に関する STCW コード第 III 章の表 A-III/1 及び A-III/2 についての改正を提起した。

7.4.12 この提案が原則として決議を要しないことに留意しつつ、本文を最終確定するため、小委員会はこれを WG 1 に付託しさらに詳しく審議することにした。

電気技士 (職員) (ETOs)

第 III/6 規則

7.4.13 新しく提起された非強制的な資格である「電気技士 (職員)」に関する規定によって、電気技士 (職員) を雇用したり機関士を船上である種の電気関係業務に就かせるというこれまでの慣行が将来的に影響を受けることがないように、国際海運集会所 (ICS) とバルチック国際海運連盟 (BIMCO) は新たに第 5 項を提起した。

7.4.14 他の支持を受けたバハマ代表団は、次のような見解を表明した。

- .1 すべての船が十分な資格を持った ETO を必要とする訳ではないから、柔軟な対応措置が必要であること。
- .2 複雑な機器を搭載した大型船は十分な資格を持った ETO を必要とすること。
- .3 柔軟な対応措置を施しつつも、能力基準を維持するための注意は払うべきこと。

この点に関連して、彼らは本提案を支持した。

7.4.15 イラン・イスラム共和国の支持を受けたロシア連邦代表団は、本提案の趣旨に疑問を呈し、本件は作業部会によって極めて注意深く審議されるべきである、との見解を表明した。

7.4.16 若干の議論の後、本文を最終確定するため、小委員会は本提案を WG 1 に付託した。

第 III/7 規則

7.4.17 小委員会は ISWG 2 が徹底的な議論の後、以下のことに同意していたことを想起した。

- .1 訓練には二つのレベル、即ち支援レベルと運用レベルが必要であること。
- .2 前回の中間作業部会で策定された管理レベルでの ETO 訓練案は、STW 41 でのさらなる審議と決議に付するため、検討中として残すべきであること。

そこで ISWG 2 は、支援レベルと運用レベルでの資格要件のみを最終確定した。

7.4.18 他の支持を受けたノルウェー代表団は、訓練は二つのレベル、即ち支援レベルと運用レベルのみにすべきであるとの見解を表明した。

7.4.19 他の支持を受けた中国代表団は、訓練には三つのレベル、即ち支援レベルと運用レベル及び管理レベルを設けるべきであるとの見解を表明した。彼らの意見では、こうすることで ETO として入った人たちに専門職キャリアの途を開くだけでなく、この職を目指そうと考える人たちを引きつけるインセンティブとなるからである。

7.4.20 もし二つの訓練レベルだけが採用された場合は、提起された管理レベル訓練の対象となる能力のいくつかは運用レベルに移すべきである、との見解を多くの代表団が表明した。

7.4.21 小委員会は詳細な議論の後、管理レベルでの ETO 訓練が必要ないこと、そして管理レベル訓練の対象となる能力のいくつかは運用レベルに移すべきことで合意した。小委員会はその旨を WG 1 に指示した。

第 III/8 規則

7.4.22 イラン・イスラム共和国 (STW 41/7/23) は、電気技士 (有能海員 (機関)) のための訓練及び資格証明要件に関して新たに提起された第 III/8 規則及び第 A-III/8 節についてコメントした。

7.4.23 他の支持を受けたインド代表团は、支援レベルの ETO はさまざまな分野から登用可能であることに鑑み、本提案に同意した。

7.4.24 ドイツ代表团は、提起された第 III/8 規則のタイトルを変更する必要があること、及び当直に関連する強制的要件は削除する必要があることに同意した。彼らはさらに、乗船業務に関する要件は必要であるとの見解を表明した。

7.4.25 若干の議論の後、本文を最終確定するため、小委員会は本提案を WG 1 に付託した。

第 III 章と第 VI 章との関連及び甲板部職員に対する基本安全訓練の要件

7.4.26 小委員会は、第 II 章と第 VI 章との関連に関わる諸決議は第 III 章にも適用可能であり、本章の最終確定本文に含まれるべきものであることを想起し、その旨を WG 1 に指示した (第 7.2.27 項を参照のこと)。

作業部会への指示

7.4.27 上記に鑑み、小委員会は WG 1 に対し、本会議でのコメントと決議を勘案しつつ STCW 条約及びコードの第 III 章の本文を最終確定するよう指示した。

7.5 第 IV 章 – 無線通信及び無線通信要員

7.5.1 小委員会は、STW 40 によって作成された第 IV 章 (STW 41/7) の予備改正草案には検討中の本文が無いことを想起した。

7.5.2 これに関連して小委員会は、いくつかの脚注が修正を要すること、そして他章との一貫性を維持するため「適切な証明書」という用語を「資格証明書」という用語に差し替える必要があることを認めた。そこで小委員会は DG 2 に対し、脚注を修正す

るとともに、STCW 条約及びコードの第 IV 章の本文を最終確定するよう指示した。

7.6 第 V 章 – 特定の種類の船舶の乗組員に対する特別な訓練の要件

7.6.1 小委員会は、ISWG 2 によって作成された第 V 章 (STW 41/7/5) の改正草案に留意した。

検討中の本文

7.6.2 小委員会は、第 V/1-1 規則の第 4.2.2.2 項、第 6.2.2.2 項と第 7 項、第 V/1-2 規則の第 4.2.2.2 項と項 5 項、第 B-V/1-2 節の第 14 項そして第 B-V/f 節の第 7.2.2.6 項には検討中の本文が含まれていることを想起した。さらに、一か月間の船上訓練プログラムの指針に関する本文全体が検討中であることを想起した。

7.6.3 これに関連して小委員会は、第 B-V/f 節の第 7.2.2.6 項の中の検討中の本文をこの段階で検討することで合意し、それ以外の検討中の本文については今会合で提出される関連諸提案と一緒に検討することにした。

7.6.4 第 B-V/f 節の第 7.2.2.6 項の中のカギ括弧でくくられた本文を検討した小委員会は、カギ括弧を削除し、かつその本文は残すことで合意した。

タンカー訓練

閉鎖区画への立入

7.6.5 FP 53 がケミカル・タンカーの裏書きのための訓練について個々の積荷の種類に固有な要素を議論した旨の情報を受けた小委員会 (STW 41/2/2 (部分)) は、引火点の低い積荷をはじめとする危険な化学薬品の具体的取扱いについては、さらなる訓練が必要だということで合意した。小委員会はこれを踏まえて、STCW 条約改正の観点から STW/ISWG 1/5/12 文書を再検討することとした。これは特に、タンクへの立入及び荷役作業手順に関する訓練の向上を目的として同文書で提起された第 V 章改正草案を改正に含めることができるようにするためである。これに関連して小委員会は、適切な訓練要件を検討する際に ISWG 1 が同文書を検討したことを想起した。

7.6.6 クック諸島代表团は、閉鎖区画への立入に関連した訓練要件に対して小委員会が十分な考慮を払わなかったとして、深い憂慮を表明した。その他多くの代表团も同様な危惧を表明した。

7.6.7 小委員会に対してバハマ代表团は、彼らが DSC 小委員会に対して閉鎖区画への進入に関連した操練を SOLAS 条約の下での強制事項とするように提起した、と伝えた。さらに彼らは、閉鎖区画への進入に関連した訓練要件が既に表 A-V/1-1 及び A-VI/1-4 において対処されている事実、小委員会の注意を喚起した。

7.6.8 ノルウェー代表团は、DSC 小委員会に提出された本提案をもって本件に取り組むべきである、との見解を表明した。

7.6.9 閉鎖区画への進入に関する勧告の改正については多くの小委員会が関わっており、また MSC 87 まで会合を重ねることに鑑み、国際独立タンカー船主協会 (INTERTANKO) のオブザーバーは、当該の各小委員会の報告を検討する際にもし必要なら、委員会は STCW 外交会議に対し、閉鎖区画への立入に関する適切な訓練要件を含めるよう促すこともできる、と勧告した。

7.6.10 小委員会は上記に鑑み、本件に関わる各小委員会の報告を検討した後、閉鎖区画への立入について何らかの追加訓練が必要か否かを決めるよう委員会に要請することで合意した。もし追加訓練が必要な場合は、第 V 章と第 VI 章で提起された本文で閉鎖区画への進入に関する基本的な知識要件が既に盛り込まれていることを勘案しつつ、STCW 条約及びコード改正案に追加訓練措置を含めるよう STCW 外交会議に要請することになる。

船上訓練

7.6.11 イラン・イスラム共和国 (STW 41/7/20) は、タンカー荷役作業の上級訓練資格証明のため、第 V/1-1 規則の第 4.2.2 項と第 6.2.2 項及び第 V/1-2 規則の第 4.2.2 項に記載されている一か月間の船上訓練に関して、指針を提起した。

7.6.12 オーストラリア (STW 41/7/33) は、第 V/1-1 規則の第 4.2.2 項と第 6.2.2 項及び第 V/1-2 規則の第 4.2.2 項に見られる「定員外乗船者」に代わる代替用語を提起した。

7.6.13 連合王国と石油会社国際海事評議会 (OCIMF) (STW 41/7/40) は、一か月と三か月のタンカー船上訓練期間の相違を明らかにし、タンカー船上訓練に関する指針の修正案を提起した。

7.6.14 これらの提案が原則として決議を要しないことに留意しつつ、本文を最終確定するため、小委員会はこれらを WG 2 に付託しさらに詳しく審議することにした。

「直接的な責任」という用語に関連した指針

7.6.15 OCIMF、INTERTANKO 及び国際ガスタンカー及びターミナル管理者協会 (SIGTTO) (STW 41/7/27) は、「直接的な責任」という用語に関する指針を提起した。

7.6.16 本提案が原則として決議を要しないことに留意しつつ、本文を最終確定するため、小委員会はこれを WG 2 に付託しさらに詳しく審議することにした。

氷海を航行する船舶要員のための訓練要件

7.6.17 小委員会は ISWG 2 が徹底的な論議を尽くし、この点に関する STW 40 の指示と MSC 86 の決議を勘案しつつ、以下の点について合意したことを想起した。

- 1 提起された訓練要件を指針として第 V 章の B 部に含むべきこと。
- 2 MSC 86 で承認された極地海域を航行する船舶に対する指針に盛り込まれた要件を勘案しつつ、コレスポndenンス・グループ（以下、「CG」という。）はその作業を継続し、最終報告書を STW 41 に提出すべきこと。

7.6.18 小委員会はさらに次のことを想起した。即ち、訓練要件は強制的なものにすべきだという多くの代表団の見解を勘案しつつ、ISWG 2 の場でドイツ代表団が、関心を持つ各国政府は次回の外交会議に決議案を提出することができる、と提起したことがある。その決議案とは、機関 (IMO) は極地海域を航行する船舶に関する強制コードが採択され次第、直ちに強制的訓練基準を策定すべきである、というものである。この提案を受けて、ISWG 2 は関心を持つ各国政府に対し、同会議で採択するため、そのような決議案を STW 41 に提出するよう促した。

7.6.19 ノルウェー代表団 (STW 41/7/39) は、訓練指針は極地海域に対する改訂指針と同様に適用されるべきだということに、STW 41 の承認を条件として ISWG 2 が同意したことにコレスポndenンス・グループ（以下、「CG」という。）が留意した旨を伝えた。この点に関連して CG は、将来のコード要件と一致させるため、後日、当該の訓練指針を再検討する必要がある、という点で合意した。

ISWG 2 において表明された諸見解を勘案しつつ、CG は甲板部と機関部双方の要員の

訓練についての指針草案を策定した。さらに CG は、指針案の第 1.3 項にあるように、原則として、適正な経験の重要性を強調する条項を盛り込むことに同意した。しかし時間不足のため、最終確定本文について合意に達することができなかったため、これについては今会合でさらに検討することが必要となった。

上記に鑑み、CG は以下の点について小委員会に要請した。

- .1 極地海域を航行する船舶に対する指針（第 3 項～第 8 項）の定義にあるように、氷海を航行する船舶の乗組員の訓練要件に関連した指針を適用することに合意すること。
- .2 甲板部と機関部双方の訓練の要件を盛り込むことに合意すること（第 9 項）。
- .3 原則として、指針の草案の第 1.3 項を盛り込み、本文（第 10 項）を最終確定するよう作業部会に指示することで合意すること。
- .4 STW 41/7/39 文書の記載にあるような極地海域を航行する船舶の乗組員の訓練要件に関する指針の草案を、STCW コードの第 V 章 B 部（第 11 項及び附属書）に盛り込むことを承認すること。

7.6.20 ロシア連邦代表団は、提起された指針がまちまちに解釈されないよう、同報告書で用いられているさまざまな定義を解決する必要がある、という見解を表明した。

7.6.21 デンマークとノルウェーの代表団は、強制規定を支持しつつも、CG が策定した指針を支持する、との見解を表明した。

7.6.22 若干の議論の後、総会でのコメントと決議を勘案しつつ、本文を最終確定するため、小委員会は同報告を WG 2 に付託した。

曳航・はしけ運航要員の訓練に関する指針

7.6.23 韓国（STW 41/7/12）は、曳航・はしけ運航要員の訓練と資格についての指針に関する STCW コードの第 B-V 節についての改正を提起した。

7.6.24 イラン・イスラム共和国代表団は同提案を支持するとともに、その適用範囲は船長と職員に限定すべきだ、との意見を表明した。

7.6.25 他からの支持を受けたドイツの代表団は、本件については多くの産業界の基準が関わっていることに鑑み、用語の統一を含め、本提案を徹底的に検討する必要があるとの意見を表明した。

7.6.26 若干の議論の後、小委員会は、時間的制約に加えて本新提案が包括的見直しの最終段階になって提出されたことに言及しつつ、他の案件がすべて審議された後に時間的余裕があれば詳細に検討すべく、同提案を WG 2 に付託した。

作業部会に対する指示

7.6.27 上記に鑑み、小委員会は WG 2 に対し、本会議でのコメントと決議を勘案して STCW 条約及びコードの第 V 章の本文を最終確定するよう指示した。

7.7 第 VI 章 – 非常事態、職業上の安全、保安、医療及び生存に関する職務細目

7.7.1 小委員会は、ISWG 2 によって作成された第 VI 章 (STW 41/7/6) の改正草案に留意した。

検討中の本文

7.7.2 小委員会は、第 VI/1 規則の第 3 項、第 A-VI/1 節の第 2-2 項、第 4 項と第 5 項、第 A-VI/2 節の第 5 項、第 6 項、第 9 項と第 10 項、第 A-VI/3 節の第 5 項、第 A-VI/6 節の第 4 項、そして第 B-VI/2 節の第 3 項及び第 4 項には検討中の本文が含まれていることを想起した。

7.7.3 これに関連して小委員会は、第 A-VI/1 節の第 2-2 項及び第 A-VI/6 第 4 項の検討中の本文を残すとともに、実際の日付は外交会議が発効日を決定した後で入れることで合意した。検討中のその他の本文はすべて、船上で訓練を実施することができない分野の専門的能力を維持することについての諸提案を議論する際に検討されることになる。

第 II 章と第 VI 章の関連及び甲板部職員に対する基本的な安全訓練要件

7.7.4 イラン・イスラム共和国 (STW 41/7/21 (部分)) は、第 B-I/4 節、第 B-VI/1 節、第 B-VI/2 節、第 B-VI/3 節及び第 B-VI/4 節についての改正を提起した。これは第

II/1 規則と第 II/3 規則及び表 A-II/1 と表 A-II/3 の間に見られる不一致を解決し、第 II 章と第 VI 章の関連を図るためである。

7.7.5 これに関連して小委員会は、第 1 章を検討した際、基本的な安全訓練に対処するため表 A-II/1、表 A-II/3 及び表 A-III/1 に新しい能力を盛り込む必要があるとして合意したことを想起した。しかし小委員会は、第 II 章、第 III 章及び第 VI 章の間に関連を持たせるため、第 II/1 規則の第 2.6 項、第 II/3 規則の第 4.5 項、第 6.4 項及び第 III/1 規則の第 2.5 項の本文草案を削除することについては合意しなかった。このことから小委員会は、第 B-VI/1 節、第 B-VI/2 節及び第 B-VI/3 節を改正する必要はないということとで合意した（第 7.2.27 項を参照のこと）。

専門的能力の維持

7.7.6 第 I/11 規則についての改正提案を踏まえてイラン・イスラム共和国（STW 41/7/22（部分））は、STCW コードの第 VI 章でいう分野、即ち船上で訓練を実施することができない分野、において専門的能力が維持できるよう、STCW 条約及びコードの第 VI 章についての改正を提起した。これに関連して小委員会は、本件に関わる第 I 章の第 I/11 規則に対して提起された改正案を審議したことを想起した。

7.7.7 アメリカ合衆国（STW 41/7/25）は、同条約の第 VI 章及び STCW コードの関連部分に対して、能力表に記載されているような船上で訓練を実施することができない分野においては能力評価が必要である旨の改正案を提起した。

7.7.8 フィリピン（STW 41/7/34）は、船上で訓練を実施することができないいくつかの分野においては何らかの形での再教育訓練が必要であること、そしてそのような再教育訓練は以下の点を盛り込むべきである、との意見を表明した。

- .1 救命胴衣着用時の反転した救命いかだの復正並びに救命胴衣を着用して船舶及び水中から救命艇及び救命いかだに乗り込むこと。
- .2 小規模火災の消火（例えば、電氣的な火災、油火災、プロパン火災）及び煙の充満した閉鎖区画における自蔵式呼吸具を装着しての消火活動（第 VI/1 規則）。
- .3 反転した救命いかだの復正（第 VI/2 規則）。

7.7.9 ノルウェー代表团はイラン・イスラム共和国の提案を支持した。

7.7.10 他の支持を受けたスペイン代表团は、アメリカ合衆国の提案に対する賛意を表明した。

7.7.11 いくつかの代表团は提起された再教育訓練について懸念を表明し、能力を維持するためには強制的な再教育訓練でなく他の方法を採用すべきだ、との見解を表明した。能力を維持するための船上訓練と経験に関する主官庁・締約国の融通性をさらに認めるべきというのが彼らの意見であった。必要とされる能力の全体的範囲も、陸上での再教育訓練を条件として、議論された。特に焦点となったのは、傷害を受ける危険性を含めた既存の船員の年齢と経験についてであった。小委員会は、本件はアメリカ合衆国の提案との関連で作業部会によって議論すべきである、ということで合意した。

7.7.12 小委員会は、フィリピンからの提案の検討過程で、それがどの提案とも合わないと認識し、同提案をそれ以上審議しないことで合意した。

7.7.13 小委員会は若干の議論の後、検討中のアメリカ合衆国の提案の本文を最終確定するため、そのまま WG 2 に付託することで合意した。

海賊防止訓練

7.7.14 アメリカ合衆国 (STW 41/7/24) は、STCW コードの表 A-VI/1-5、表 A-VI/5 及び表 A-VI/6 についての改正として、船舶に対する海賊及び武装強盗行為の防止・鎮圧に関連する事柄についての船員訓練を盛り込むよう提起した。このことから彼らは、現行のモデル課程 3.19 (船舶保安職員) と 3.20 (会社保安職員) もそのように改訂するよう勧告した。

7.7.15 オーストリアその他 (STW 41/7/48) は、第 A-VI/1 節と第 A-VI/6 節及び表 A-VI/1-5、表 A-VI/5 と表 A-VI/6 について、海賊及び武装強盗行為対策について船員の意識を高めるための改正を提起した。

7.7.16 他の支持を受けたバハマ代表团は、アメリカ合衆国の提案に対する賛意を表明した。

7.7.17 他の支持を受けたデンマーク代表团は、オーストリアその他の提案に対する賛意を表明した。

7.7.18 徹底的な論議の後、小委員会は両提案にそれぞれ長所があると認め、本会議においてなされたコメントと決議を考慮し、かつ基本文書としての STW 41/7/48 文書に盛り込まれている提案を用いて、本文を最終確定するため両提案を WG 2 に付託した。

船舶が海賊の攻撃に遭遇した状況に対処するための船員の意識醸成を図るモデル課程の策定

7.7.19 小委員会は、船舶への海賊行為や武装強盗行為についての船員の意識醸成を図るモデル課程の策定と、海賊の攻撃に遭遇した場合の対処法に関して事務局から口頭で情報提供を受けたことに、感謝をもって留意した。

保安関連訓練

7.7.20 ISF と ITF (STW 41/7/52) は、保安関連訓練は現行の第 VI/1 規則の中に含めるべきではなく、別の規則の下で取り扱うべきであるとの意見を表明した。そこで彼らは、第 VI/1 規則及び第 VI/6 規則を STCW コードの関連節とともに再編するよう提起した。

7.7.21 これに関連して小委員会は、ISF がかつて STW 40 (STW 40/7/39) に対し同様の提案をしたことを想起した。本件は STW 38 によって策定された予備草案を用いて作業部会によって審議され、MSC 83 によって是認されたのち、保安に関連する訓練の草案は STW 40 によって是認された。

7.7.22 他の支持を受けたイラン・イスラム共和国代表団は、安全と保安問題をそれぞれの規則で規定する同提案に同意した。

7.7.23 他の支持を受けたスペイン代表団は、起草された本文はそのまま残すべきだ、との見解を表明した。

7.7.24 小委員会は徹底的な議論の後、他の案件がすべて審議された後に時間的余裕があったら詳細に検討するため、同提案を WG 2 に付託した。

作業部会に対する指示

7.7.25 上記に鑑み、小委員会は WG 2 に対し、本会議総会でのコメントと決議を勘

案しつつ STCW 条約及びコードの第 VI 章の本文を最終確定するよう指示した。

7.8 第 VII 章 – 選択的資格証明

7.8.1 小委員会は、ISWG 2 によって作成された第 VII 章 (STW 41/7/7) の改正草案に留意した。

7.8.2 小委員会は、第 VII/2 規則の第 1 項及び第 A-VII/2 節の第 4.2 項と第 4.2.2.1 項に検討中本文が含まれていることを想起した。これに関連して小委員会は、第 VII/2 規則の第 1 項にあるカギ括弧を削除して本文は残し、それ以外のカギ括弧でくくられた本文はすべて今会合に提出される関連提案とともに審議することで合意した。

STW 41/7/10 文書

7.8.3 イラン・イスラム共和国 (STW 41/7/10) は、STCW 条約及びコードの第 VII 章についての改正を提起した。これは新しい第 II/5 規則と第 III/5 規則の要件を含めることと、選択的資格証明のための訓練及び海上航行業務の要件について異なる解釈から生ずる問題を軽減させることを目的としたものである。

7.8.4 ITF のオブザーバーは、本提案が選択的資格証明の基本原則に反していることから、これを支持しなかった。

7.8.5 他の支持を受けたベルギー代表団は、本提案は基準の小規模化につながり、融通性を損なうであろう、との見解を表明した。

7.8.6 簡潔な議論の後、小委員会は本提案に同意しなかった。

STW 41/7/49 文書

7.8.7 オーストリアその他 (STW 41/7/49) は、STW/ISWG 2/7 文書に記載の第 A-VII/2 節第 4 項にある有能海員の資格証明のために、第三のオプションを導入することを提起した。またその提案をさらに明確化するため、彼らは第 BVII/2 節に具体的な指針を盛り込むことも提起した。

7.8.8 アメリカ合衆国代表団は、部員に対する総合訓練を可能とする同本文を改正する必要はない、との見解を表明した。

7.8.9 他の支持を受けた連合王国代表団は、本提案に対する支持を表明した。

7.8.10 小委員会は簡潔な議論の後、STCW 条約及びコードの第 II 章の本文を最終確定するため、本提案を DG 2 に付託した。

起草部会に対する指示

7.8.11 上記に鑑み、小委員会は DG 2 に対し、本会議でのコメントと決議を勧案して STCW 条約及びコードの第 VII 章の本文を最終確定するよう指示した。

7.9 第 VIII 章 – 当直

7.9.1 小委員会は、ISWG 2 によって作成された第 VIII 章 (STW 41/7/8) の改正草案に留意した。

7.9.2 小委員会は、第 A-VIII/1 節の第 9 項に検討中本文が含まれていることを想起し、今会合に提出された関連提案とともにそれらを審議することで合意した。

7.9.3 ノルウェー (STW 41/7/38) は、任務への適合を確保するため、現在検討中の第 A-VIII/1 節の新しい第 9 項についての改正を提起した。

7.9.4 オーストリアその他 (STW 41/7/50) は、勤務時間制限に対する例外条項に関して説明し、その結果として第 A-VIII/1 節と第 B-VIII/1 節についての改正を提起した。

7.9.5 ITF (STW 41/7/55) は、STW 41/7/38 文書及び STW 41/7/50 文書についてコメントし、第 A-VIII/1 節の第 1 項と第 2 項の規定について削除・除外・免除を求めるいかなる提案も排除すべきである、との意見を表明した。これは提起された第 4 項が 14 時間勤務の範囲内で十分な融通性を認めているからである。さらに、提起された第 9 項あるいは第 B-VIII 節に含まれている他の非 IMO 条約の下での免除規定についての言及は不適切であるから含めるべきではない、との意見も表明した。

7.9.6 他の支持を受けたアメリカ合衆国代表団は、ノルウェー提案に賛意を表明した。

7.9.7 バハマ代表団は、主官庁が矛盾する要件を実施することで困難に陥らないよ

う、これらの規則は MLC 2006 の規則と整合性を持つべきである、との意見を表明した。

7.9.8 他の支持を受けたギリシャ代表团は、オーストリアその他の提案が異なる国際条約の要件に一致するだけでなく必要な融通性をも定めていることから、その提案に賛意を表明した。

7.9.9 小委員会は徹底的な議論の後、現段階では意見の相違は解決できないと判断し、外交会議での決議に付するため検討中として両提案を残すことで合意した。

起草部会に対する指示

7.9.10 上記に鑑み、小委員会は DG 2 に対し、本会議でのコメントと決議を勘案して STCW 条約及びコードの第 VIII 章の本文を最終確定するよう指示した。

7.10 その他の問題

7.10.1 小委員会は、採択のため STCW 条約締約国会議に提出されるべき以下の決議案を ISWG 2 が確認したことを想起した：

- .1 国際労働機関の貢献。
- .2 船員に対する国際的な身体適正基準の実施に関する指針の策定。
- .3 国際海事機関が作成したモデル訓練課程の改訂。
- .4 船員の技術的知識、技能及び専門性の促進。
- .5 海事関連職への新参入者の勧誘。
- .6 技術協力の振興。
- .7 経過規定と早期の実施。
- .8 海事産業への女性進出の促進。

また小委員会は事務局に対し、前述の決議案を審議のため作成し今会合に提出するよう指示した。これを受けて事務局は、STW 41/7/9 文書の記載にあるように、8本の決議草案を作成し、小委員会の検討に付した。

海事関連職への新参入者の勧誘

7.10.2 ノルウェー代表团は、訓練生のために新造船での適正な宿泊設備を提供するよう前文第 .6 項が勧告している事実に、小委員会の注意を喚起した。これは STW 41/7/11 文書に記載の決議草案にも含まれている点である。さらにスペイン代表团は、海上人員を確保するために、船主が迅速かつ効果的な措置を講ずる必要がある旨の言及を決議案に盛り込むべきだ、との見解を表明した。これに加えてイタリア代表团は、インターネットへのアクセスも与える旨の言及も盛り込むべきだと提案した。

7.10.3 フランス代表团は、他の運送形態との比較は不適切である、との意見を表明した。これに関連してアメリカ合衆国代表团は、それを「環境に優しい方法で」という表現に差し替えるよう提起した。

7.10.4 小委員会は簡潔な議論の後、提起された第 .6 項を削除すること、スペイン代表团が提起した言及、及び船主諸機関と船舶管理会社についての言及を決議案に盛り込むことで同意し、その旨を DG 1 に指示した。

訓練生の宿泊設備

7.10.5 インド代表团（STW 41/7/11）は、訓練生・候補生のための適正な公認宿泊設備の整備を船主に働きかけるよう加盟各国政府に促す決議草案を提起した。

7.10.6 小委員会は簡潔な議論の後、本会議でのコメントと決議を勘案しつつ本文を最終確定するため、本提案を DG 1 に付託した。

「資格証明書の真正性と有効性の証明と裏書」及び「訓練と資格証明の基準と配員レベル」

7.10.7 パナマ（STW 41/7/29）は、「資格証明書の真正性と有効性の証明と裏書」及び「訓練と資格証明の基準と配員レベル」に関連する二つの外交会議の決議草案を提起した。

7.10.8 ITF のオブザーバーは、「訓練と資格証明の基準と配員レベル」について提起された決議案には、IMO の安全配員決議をはじめ MLC 2006 などその他の関連国際条約についての言及も盛り込むべきである、との見解を表明した。

7.10.9 いくつかの代表団は、本決議案は言わずもがなのことを言っており STCW 条約の目的が明確であることから、本決議案の必要性は無いとの見解を表明した。

7.10.10 小委員会は簡潔な議論の後、本会議でのコメントと決議を勘案して本文を最終確定するため、本提案を DG 1 に付託した。

STCW 条約及びコード改正の将来的採択

7.10.11 国際船長協会連盟 (IFSMA) と ITF (STW 41/7/30) は、STCW 条約及びコードの改正を将来的に 5 年サイクルで採択し、10 年毎に包括的見直しを行うことに関する外交会議の決議草案を提起した。これはベリーズとクロアチアによって正式に支持された。

7.10.12 他の支持を受けたギリシャ代表団は、提起された決議案に理解を示しながらも、やむにやまれぬ事情により 5 年サイクルに固執できない場合には、必要となる何らかの修正を考慮するための規定があつてしかるべきだ、との見解を表明した。

7.10.13 他の支持を受けたバハマ代表団は、要件の計画実行面で、提起された決議案は海運業界だけでなく訓練諸機関に対しても安定をもたらしている、との見解を表明した。

7.10.14 小委員会は若干の議論の後、本会議でのコメントと決議を勘案しつつ本文を最終確定するため、本提案を DG 1 に付託した。

極地海域を航行する船舶に乗組む船長や職員の能力を確保するための措置に関する勧告

7.10.15 アルゼンチンとチリ (STW 41/7/42) は、極地海域を航行する船舶、特に客船、の船橋での航海当直責任者の能力を確実なものとするため、しかるべき措置を講ずるよう各国政府を促す外交会議決議草案を提起した。

7.10.16 他の支持を受けたノルウェー代表団は、極地海域を航行する船舶への指針

についての総会決議 A.1024(26)についての言及を盛り込むべきである、との意見を表明した。さらに、極地コードが強制的なものとなった場合には、それに見合う適切な強制的訓練要件も策定すべきである旨にも言及すべきである、との意見も表明した。

7.10.17 連合王国代表団は、必ずしもすべての職員に対して提起されたような訓練を義務付ける必要はない、との意見を表明した。これは、船舶に水先人が乗船している場合には、当直職員は一人、場合によっては甲板部と機関部に各一人でも充分間に合うので、そのように訓練し資格証明すればよいからである。

7.10.18 小委員会は若干の議論の後、本会議でのコメントと決議を勘案しつつ本文を最終確定するため、本提案を DG 1 に付託した。

7.11 作業部会と起草部会からの報告

第 I 章及び第 III 章の包括的見直しを審議するための作業部会報告

7.11.1 作業部会からの報告 (STW 41/WP.2, Add.1, Add.2, Add.3) を受領した小委員会は、以下の項で要約されているような措置をとった。

第 I 章

身体適正問題

7.11.2 ISF のオブザーバーは、今回起草されたような身体適正基準の強制的な適用を正当化するのは困難であり、平等を謳う国家の法律に抵触する不法な差別として損害請求を招く恐れがある、との懸念を表明した。この観点から、加盟各国政府に対し、それぞれの国内においてしかるべき部門で本件を見直すよう促した。この点については、船員の身体検査に関する指針についての ILO/IMO/WHO 合同作業部会の検討結果を待つのが賢明である、というのが彼らの意見であった。さらに、船主は身体検査を実施するという考えを歓迎したが、それは信頼でき、法的に正当で社会的にも受け入れられるやり方で実施する必要がある、と述べた。

7.11.3 他の支持を受けたバハマ代表団は、表 A-I/9-2 で記載されているような要件について懸念を表明し、本表は STCW コードの B 部における指針として記載するのが望ましいとした。

7.11.4 他の支持を受けた連合王国代表団は、表 A-I/9-2 は STCW コードの A 部に残すべきだ、との意見を表明した。

7.11.5 小委員会は若干の議論の後、外交会議での議決を待つため、同本文を検討中として A 部に残すことで合意した。これに関連して小委員会は、本文をより適切で強制力のある表現にするため、同会議にコメント及び提案を寄せるよう加盟各国政府を促した。

更新問題

7.11.6 小委員会はタンカー証明の更新要件について審議し、簡潔な議論の後、改正 STCW 41/WP.2/Add.3 文書の附属書の記載で提起されているような本文に同意した。

7.11.7 ISF のオブザーバーは、第 VI 章の下で提起された専門的能力維持の要件が単独プロセスであることから、それが I/11 の更新プロセスに適合しない可能性がある、との意見を表明した。もしそうだとしたら、資格証明書はもはや船長や職員が基本的な安全訓練要件を満たしていることの文書的な証拠ではなくなる訳であるから、彼らは関連した証拠文書を携帯しなければならないことになる。さらに、もしこの改正が実行された場合には、MSC/Circ.1030 は合法性を失うであろう、という彼らの意見を述べた。

7.11.8 小委員会は外交会議への提出・採択を念頭に、修正された STCW 41/WP.2/Add.1 文書の附属書 1、2、3 に記載した、第 I 章の改正草案を承認した。

第 III 章

「締約国」または「主管庁」という用語の使用

7.11.9 「締約国」または「主管庁」という用語それぞれの定義は条約の第 II 条でなされているが、これらは入れ替え可能な同義語のように使用されているように思われる。小委員会は、いくつかの代表団がこれらの用語の使い方について懸念を示したことに留意した。これに関連して法律渉外部 (Legal Office) の代表は、「締約国」という用語はウィーン条約法条約において次のように定義されている：『締約国』とは、ある特定の条約によって拘束されることに同意した国家であり、同条約は締約国に対して有効性を持つことを想起した。法律渉外部の代表によれば、この用語は当該条約に関わる義務と責任を引き受けることを約した政治的実体としての広義の国家を言う。一方『主管庁』

とは、STCW 条約の第 II 条において次のように定義されている：『主管庁』とは締約国の政府を指し、その国の船舶は同国の国旗を掲げる権利を有する。法律渉外部の代表は、これが SOLAS 条約の第 I 条第 2 規則にある定義と一致することに言及し、『主管庁』は『締約国』に比べて狭義の用語であり、旗国に課せられた職務を引き受ける際の、締約国に替わるものとしての組織体あるいは政府機構を指す、と言及した。

7.11.10 他の支持を受けたアメリカ合衆国代表团は、1995 年 STCW 条約締約国会議が本件を詳細に検討し、本件に対処するため、それを第 3 項として第 I/1 規則に盛り込んだことを想起した。

7.11.11 小委員会は若干の議論の後、これらの用語を 1995 年 STCW 条約締約国会議が定義したように用い、かつ STCW 条約及びコードの全章に適用することで合意し、また基本的本文を審議のため会議に提出する際には、本件について遺漏なきよう事務局に指示した。

7.11.12 小委員会はまた、第 I/1.1 規則に盛り込む「電気技士（部員）（electro-technical rating）」という用語の定義についても合意した。

電気技士（職員）（Electro-technical officers）

7.11.13 他の支持を受けたフランス代表团は、管理レベルでの電気技士（ETOs）の訓練要件は必要ないとの小委員会決議に言及しつつ、この専門職にキャリアの途を開き、この職を目指そうと考える人たちを引きつけるためにも、これらの要件を STCW コードの B 部に指針として記載してもよいのではないかと、その意見を表明した。これに対する反応として、他の支持を受けたドイツ代表团は、これは同要件を定めたいと考える国々がそれぞれの国内法の中に盛り込めばよい、との意見を表明した。

7.11.14 小委員会は外交会議への提出・採択を念頭に、改正 STCW 41/WP.2/Add.2 文書の附属書 4、5、6 に記載した、第 III 章の改正草案を承認した。

第 V 章及び第 VI 章の包括的見直しを審議するための作業部会報告

7.11.15 作業部会からの報告（STW 41/WP.3 及び Add.1）を受領した小委員会は、以下の項で要約されているような措置をとった。

第 V 章

7.11.16 小委員会は第 V 章の改正本文の検討過程で、1000 ボルト以上の動力設備の運転と安全に対して管理責任のある機関要員の訓練に関する指針を、提起された第 B-V/e 節から第 B-III/1 節へ移し、各項の番号を変更することで合意した。

7.11.17 小委員会は外交会議への提出・採択を目的として、STCW 41/WP.3/Add.1 文書の附属書 1、2、3 に記載した、第 V 章の改正草案を承認した。

第 VI 章

7.11.18 他の支持を受けた日本代表団は、提起された再教育訓練に関し、年配の船員に対する免除条項が規定されていないことに懸念を表明し、免除条項が無ければ多くの年配船員が引退を余儀なくされるので、本件の取り組みには融通性を盛り込む必要があるとの意見を表明した。

7.11.19 さらに小委員会は、提起された第 A-VI/1 節の第 4 項にあるように、項目表に照らして再教育訓練問題を検討した。いくつかの代表団は、作業部会の作業開始に先立って表明された懸念について念を押して繰り返した。彼らはまた、同作業部会の議長が明らかにした、船上訓練の候補となっている項目一覧は STW 39 で合意され MSC 84 で承認されたものであることについても念を押した。その点を明らかにすることについては他の代表団も同意した。小委員会は若干の議論の後、A-VI/1 の第 4.1 項及び第 4.2 項に記載の訓練項目一覧を検討中にするという提案には同意しなかった。

7.11.20 これに関連してノルウェー代表団は、船上で訓練を実施できない分野に関する議論の結果については態度を保留した。彼らの意見によれば、本件について委員会から小委員会宛てに出された指示に小委員会が従わなかったからだ、とのことである。

7.11.21 小委員会は外交会議への提出・採択を念頭に、STCW 41/WP.3 文書の附属書 4、5、6 に記載した、第 VI 章の改正草案を承認した。

第 II 章及び外交会議決議案草案の包括的見直しを審議するための起草部会報告

7.11.22 起草部会からの報告（STW 41/WP.4 及び Add.1）を受領した小委員会は、以下の項で要約されているような措置をとった。

第 II 章

7.11.23 小委員会は、MSC 86 によって是認されている外交会議での採択を念頭に
した提出のため、STW 41/WP.4/Add.1 文書の附属書 1～3 に記載されている STCW 条
約及びコード第 II 章の改正草案を承認した。

外交会議決議案草案

7.11.24 小委員会は、STW 41/WP.4 文書に記載した下記の事柄に関する外交会議決
議案草案を承認した。

- .1 国際労働機関の貢献。
- .2 船員に対する国際的な身体適正基準の実施に関する指針の策定。
- .3 国際海事機関が作成したモデル訓練課程の改訂。
- .4 船員の技術的知識、技能及び専門性の促進。
- .5 海事関連職への新参入者の勧誘。
- .6 技術協力の振興。
- .7 経過規定と早期の実施。
- .8 海事産業への女性進出の促進。
- .9 訓練生のための宿泊設備。
- .10 資格証明書の証明と裏書。
- .11 訓練と資格証明の基準と配員レベル。
- .12 STCW 条約及びコードの将来的修正及び見直し。
- .13 極地海域を航行する船舶に乗組む船長や職員の能力を確保するための措置
に関する勧告。

小委員会はまた事務局に対し、適宜編集上の改良を加え、それらを採択のため会議に提出するよう指示した。

第 IV 章、第 VII 章及び第 VIII 章の包括的見直しを審議するための起草部会報告

7.11.25 起草部会からの報告（STW 41/WP.5 及び Add.1）を受領した小委員会は、以下の項で要約されているような措置を採った。

第 IV 章

7.11.26 小委員会は、MSC 86 によって是認されている外交会議での採択を念頭にした提出のため、STW 41/WP.5/Add.1 文書の附属書 1～3 に記載されている STCW 条約及びコード第 IV 章の改正草案を承認した。

第 VII 章

7.11.27 小委員会は、MSC 86 によって是認されている外交会議での採択を念頭にした提出のため、STW 41/WP.5/Add.1 文書の附属書 4～6 に記載した、STCW 条約及びコード第 VII 章の改正草案を承認した。

第 VIII 章

7.11.28 小委員会は、MSC 86 によって是認されている外交会議での採択を念頭にした提出のため、STW 41/WP.4/Add.1 文書の附属書 7～9 に記載した STCW 条約及びコード第 VIII 章の改正草案を承認した。

7.12 結論

7.12.1 上記に鑑み、小委員会は、

.1 以下についての改正を承認した。

.1 1978 年の船員の訓練及び資格証明並びに当直の基準に関する国際条約（STCW）（附属書 1）。

.2 船員の訓練及び資格証明並びに当直のコードの A 部（附属書 2）。

.3 船員の訓練及び資格証明並びに当直のコードの B 部（附属書 3）。

これらは採択のため STCW 条約締約国会議に提出することを、MSC 86 によって是認されている。

.2 採択のため STCW 条約締約国会議に提出される 13 本の外交会議決議草案を承認した（附属書 4）。

.3 事務局長に対し、STCW 条約及びコードの改正草案を関連する外交会議決議案とともに、2010 年 6 月 21 日～25 日にマニラで開催予定の STCW 条約締約国会議に提出・採択するため、配布するよう要請した。

.4 以下について委員会を促した。

.1 上記の第 7.12.1.1 項及び第 7.12.1.2 項において言及されている改正草案及び関連の外交会議決議草案を承認すること。

これらは採択のため STCW 条約締約国会議に提出することを、MSC 86 によって是認されている。

.2 作業が完了したので（第 13.3.2.1 項を参照のこと）、本項目を作業プログラムから削除すること。

8 安全配員の決定のための強制要件を含む船舶の安全配員レベルの決定に関する原則の見直し

8.1 小委員会は下記のことを想起した。

.1 STW 39 は、改正 A.890(21)決議に具体化されているように、船舶の最小安全配員レベルを決定するための意図と目的を定義し明確化するため、作業部会を設置した。これには、人的システムの統合、船舶の建造、訓練、船舶の運航、疲労調査などの分野における科学的知識と専門能力に基づいて、職務遂行に関わる有効性と効率を検討する枠組みを構築する必要性が含まれている。同作業部会はまた、安全配員の原則に関する改正 A.890(21)決議の予備改正草

案を作成する。

- .2 STW 40 は、STW 40/14 文書の附属書 5 に記載されている安全配員の原則（改正 A.890(21)決議）に関する総会決議の予備改正草案を作成した。これについては NAV 55 が予備的な見直しを行うことを要請された。
- .3 STW 40 はまた、議題「船舶の安全配員レベルの決定に関する原則の見直し」と「安全配員を決定するための強制要件」には共通の内容があるので、全体的見地から一つの議事項目に集約することで合意し、両項目を統一して「安全配員の決定のための強制要件を含む船舶の安全配員レベルの決定に関する原則の見直し」とするよう MSC 86 に要請した。MSC 86 は本提案に同意した（MSC 86/26、第 9.10 項）。

8.2 小委員会は、NAV 55（STW 41/8）が安全配員の原則に関する総会決議（改正決議 A.890(21)）の予備改正決議草案を見直し、うまく起草されているようだ、との意見であったとの知らせを受けた。しかしアペンディックスと附属書 5 については、NAV 55 は次のような改正に同意した。

- .1 「アペンディックス：第 V/1.2 規則の規定により公布」
- .2 「附属書 5、第 1.2 項：提出に当たっては、船舶の安全、保安及び海洋環境保護機能管理の観点から、附属書 2 及び 3 の要件を勘案する必要がある。」
- .3 「附属書 5、第 2.2 項：本提案を審査し承認した主官庁は、特別な要件及び条件【最小安全配員評価によって立証されたもの】を含む安全配員文書を発行すべきである。」

8.3 NAV 55 はさらに、NAV 56 の暫定議題の中に「安全配員の決定のための強制要件を含む船舶の安全配員レベルの決定に関する原則の見直し」を含めた。

8.4 連合王国とフランス（STW 41/8/1）は、安全配員の決定手続きを強制的なものとするため、SOLAS の第 V/14 規則の改正を提起した。

8.5 他の支持を受けたアイルランド代表団は、本提案に同意した。

8.6 他の支持を受けたデンマーク代表団は、本提案に原則として同意したが、手続

きのみが強制的なものとなるので、彼らは、改正決議のどの部分が強制的になるのか、また関連した部分もしかるべく強制的な表現にする必要がある、という点でいくらかの懸念を持った。さらに、デンマーク代表团とオランダ代表团は、STW 41/8/1 文書にあるような議論や見解には全面的に同意できない、との意見を表明した。

8.7 ITF のオブザーバーとスウェーデン代表团の支持を受けた国際船長協会連盟 (IFSMA) のオブザーバーは、このプロセスは本提案の第 2.2 項の改正を通じて監査可能かつ透明なものにすべきであり、また提起された第 2.1 項の改正も必要である、との意見を表明した。

8.8 他の支持を受けたベルギー代表团は、連合王国やフランスと同じ懸念を持ち、IMO 締約国による自発的監査制度と ISM コードについての手続きと枠組に関する決議 A.974(24)の規定を考慮に入れた総体的なアプローチが必要である、との意見を表明した。

8.9 他の支持を受けたバハマ代表团は、船舶の安全配員を常に監視・決定・維持することは、それが航路・積荷・気候ごとにより変わらなければならないことを考えると、旗国にとっては極めて困難なことであるとの意見を表明した。さらに、安全配員文書を発行する責任が旗国にあることを認めつつも、ISM コードの規定によれば、常に変化する通商条件や運航条件に応じて船舶に対して適正な配員を維持することは船主の責任である、との意見も表明した。

8.10 小委員会は徹底的な議論の後、同文書をこの議題の下でさらに詳細に検討して確定するため、作業部会に付託した。

8.11 オーストラリア代表团は、安全配員の原則に関する改正決議草案の附属書 5 の第 2.2 節が検討中であることに対して小委員会の注意を喚起した。小委員会は簡潔な議論の後、当該のカギ括弧をその本文とともに削除することで合意した。

作業部会の設置

8.12 小委員会は、安全配員レベル確立のための原則の見直しについて、検討中文書を削除する (STW 40/14 文書、附属書 5) という決議を含む以下のような付託事項を審議するため、作業部会を設置した。

本会議でのコメントと決議を勘案しつつ、以下の事柄について、作業部会は STW

41/8 文書及び STW 41/8/1 文書（連合王国及びフランス）を審議しなければならない。

.1 STW 40（STW 40/14、附属書 5）で策定された安全配員の原則に関する決議 A.890(21)の予備改訂草案に基づき、安全配員の原則に関する決議の改正草案を作成すること。

.2 SOLAS 第 V/14 規則に対する改正草案を作成すること。

そしてその報告書を 2010 年 1 月 14 日（木曜）の本会議に提出しなければならない。

作業部会報告

8.13 作業部会からの報告（STW 41/WP.6）を受領した小委員会は、以下の項で要約されているような措置をとった。

8.14 小委員会は、NAV 56 によるコメントに従い、MSC 88 による承認と A 27 への提出・採択のため、附属書 5 に記載されている最小安全配員の原則に関する総会決議草案を是認した。

8.15 小委員会は、NAV 56 によるコメントに従い、MSC 88 による承認と MSC 89 による採択のため、附属書 6 に記載されている改正 1974 年 SOLAS 条約第 V/14 規則についての改正草案を是認した。

8.16 連合王国とフランスの代表団は、小委員会が安全配員の決定に関わる本質的な問題に取り組まなかったこと、特に「監査可能な」という用語の削除を決議したことは、疲労に関する事務局長の開会挨拶に照らして特に遺憾である、との意見を表明した。

8.17 小委員会は NAV 小委員会に対し、2010 年 7 月に開かれるその第 56 回会合において最小安全配員の原則に関する総会決議草案と SOLAS 第 V/14 規則の改正草案を審議し、もし何らかのコメントがあれば、しかるべき措置を採るため、それを MSC 88 に送付するよう要請した。

8.18 小委員会は委員会に対し、本議題についての作業が完了した（第 13.3.2.2 項を参照のこと）ので、それを作業プログラムから削除するよう要請した。これに関連して

マルタ代表团は、強制的手続きの策定が終了したとは信じられないとの意見から、当該作業プログラムから本議題を削除することに反対した。

9 海事保安を高める措置

9.1 小委員会は、MSC 75 (MSC 75/24、第 22.9 項) が小委員会の作業プログラム及び STW 34 の暫定議題の中に、優先度の高い項目として「海事保安を高める措置」を含めたことを想起した。

9.2 小委員会はまた、下記のことも想起した。

- .1 MSC 81 は、保安関連条項を盛り込むため、小委員会が STCW 条約及びコードに対する適切な改正案の策定に取り掛かることを認可した。これは、同委員会に通告することを条件に、小委員会は何らかの段階における議論の結果として生じた他の関連問題を検討すべき諸問題のリストに盛り込む融通性を持っているであろう、との理解に基づいたことである。
- .2 STW 38 は、適切な保安関連条項を盛り込むために必要とされる第 I 章と第 VIII 章の見直しは、STCW 条約及びコードの包括的見直しの過程で検討すべきだということで合意した。

9.3 小委員会は、STCW 条約及びコードの該当部分に追加的な保安関連条項を盛り込むことに関する事項が、STW 40 の議題 7 (STCW 条約及びコードの包括的見直し) で既に論議されたことを想起した。

9.4 最後に小委員会は、本件が既に議題 7 (STCW 条約及びコードの包括的見直し) で既に論議されたことを想起した。

9.5 上記に鑑み、小委員会は委員会に対し、作業が完了した (第 13.3.2.4 項を参照のこと) ことから、当該作業プログラムから本議題を削除するよう要請した。

10 e-Navigation 戦略実行計画の展開

10.1 小委員会は、MSC 86 が e-Navigation 戦略実行に向けた COMSAR、NAV 及び STW の各小委員会による 2009～2012 年期間の作業に関する合同計画を提起している MSC 86/23/4 (事務局) 文書を審議したこと、そして NAV 55 に対し COMSAR 及

び STW の各小委員会と協力して調整・計画された e-Navigation 戦略実行策定のための合同計画を実施に移すよう承認したことを想起した。

10.2 小委員会は、NAV 55/WP.5 文書の附属書 2 の記載にある付託事項についてノルウェーの調整の下で、作業を会期間に前進させるためのコレスポнденス・グループを NAV 55 (STW 41/2/2 (部分)) が設置したことに留意した。これに関連して NAV 55 は、STW 41 への文書の提出期限が 2009 年 11 月 6 日であることを銘記しつつ、コレスポнденス・グループが STW 41 に対してなんらかの意義ある質問を提出するのは無理であろう、と認めた。従って、COMSAR 14 と NAV56 が確認するかもしれない質問に答えることを、コレスポнденス・グループが STW 42 に要請することの方がより適切であろう。

10.3 小委員会は上記に鑑み、本件のさらなる検討を STW 42 まで延期することで同意した。

11 船上の閉鎖区画に立入る際の勧告事項の改正

11.1 小委員会は、船上の閉鎖区画に立入る際の勧告事項 (A.864(20)決議) の具体的規定を見直し、必要に応じて改正するよう勧告している DSC 13 の提案を MSC 85 が検討したことを想起した。他の船種をカバーするため作業範囲を拡大する必要性についての議論に引き続いて、小委員会はまた、BLG、DSC、FP 及び STW の各小委員会の作業プログラム、DSC 14 と STW 41 は、優先度の高い議題として暫定議題「船上の閉鎖区画に立入る際の勧告事項の改正」を、DSC 小委員会をコーディネーターとして 2010 年の完成を目途に作業プログラムに含めることで合意した。

11.2 小委員会は、DSC 14 (STW 41/2/2 (部分)) が、国際海難調査官会議 (MAIIF) (DSC 14/INF.9) によって提供された情報の重要性を認め同情報に留意し、それを A.864(20)決議を改正する際に勘案することで合意したことに留意した。さらに DSC 14 は事務局に対し、DSC 14/INF.9 を DSC 15 用の作業文書として発行し、BLG 15、FP 54 及び STW 41 での審議に適時に間に合わせるよう要請した。

11.3 小委員会はさらに、事務局がその後 DSC 15/10 文書を発行し、また本件を会期間に前進させるためコレスポнденス・グループを設置することにより、DSC が A.864(20)決議の改正に関連する作業を開始したばかりであることに留意した。そこで小委員会は、DSC 14 が設置したコレスポнденス・グループによって現在作成中の A.864(20)決議の改正案を詳細に見直すことなしに本情報を検討し勧告を出すことは時

機尚早である、との意見で合意した。

11.4 これに関連して小委員会は、閉鎖区画への立入のための訓練要件に関わる事柄は議題 7 (第 7.6.5 項～7.6.10 項を参照のこと) の下で既に議論されたことを想起した。

11.5 上記に鑑み、小委員会は、

- .1 DSC 15 による A.864 (20)決議の見直し待ちの情報に留意し
- .2 さらなる審議を STW 42 まで延期し
- .3 完了目標を 2011 年 (第 13.3.1.2 項を参照) まで延期するよう委員会に要請した。

12 船内の非常事態に関する対応策実施モデルの策定

12.1 小委員会は、次のことを想起した。

- .1 MSC 84 が、作業完了には 2 会合を要する「船内緊急事態への対応策実施モデル手続きの策定」を優先度の低い項目として、STW 小委員会の作業プログラムに含めることに同意したこと。
- .2 STW 40 が本項目を会合の議題としたこと。

12.2 韓国 (STW 41/12、STW 41/12/1、STW 41/12/2 及び STW 41/12/3) は、船員、外国船舶監督 (PSC) 官 (以下、「PSC 官」という。) その他のため、下記に関する操練の手続きを提起した。

- .1 退船。
- .2 消火。
- .3 非常操舵。
- .4 船外転落者救助。

12.3 ISF のオブザーバーは、新しい作業プログラム項目確立のための基準の一つは、業界の指針が充分にあるかどうかということであり、この場合は ICS 船橋手続き指針など多くの指針がいつでも利用できる、との見解を表明した。さらに、韓国が想定した

のは船舶、機器、旗国、会社及び運航に特化したシナリオであった。彼らの意見によれば、退船操練のための一般的手続きの策定は危険を伴い、マイナス効果をもたらす可能性がある。また、異なった各種の機器を搭載した船舶を検査する際、PSC 官は同じものを用いる場合もありうる。いずれにしても、ISM コード第 8 節の規定を受ける船社は既に、船舶及び会社ごとに起こりうる船内非常事態を確認し、説明し、これに対応するための手続きを確立する責任を負っている。従って、もし必要となれば、船社が自社独自の手続きを確立するのを助けるため、一般的な指針を策定することができる。

12.4 他の支持を受けたデンマーク代表団は、非常事態に対応するための手続きを確立することは船社の責任であるから、そのようなレベルの詳細は受け入れかねる、との意見を表明した。

12.5 マルタ代表団は、これらの提案に関して小委員会がこれ以上本件に立ち入らないよう促すかもしれない重大な懸念があったとしても、それにも関わらず本会議でなされるコメントを勘案しつつ、韓国には、改正提案を次期会合に提出して欲しい、との見解を表明した。

12.6 若干の議論の後、小委員会は韓国に対し、改正提案を STW 42 に提出するよう要請するとともに、関連業界の現存基準で同会合で検討可能なものがあれば、それについての情報を提供するよう諸国際機関に対して要請した。これに関連して、ISF のオブザーバーは、他の業界団体に連絡をとって、要請された情報を STW 42 に提出することを提案した。

13 作業プログラム及び STW 42 の議題(改称された 2 年間の議題、2年後の議題及び STW 42 の暫定議題)

13.1 小委員会は、機関 (IMO) の高レベル活動計画と 2010～2011 二年間の優先事項 (A.1012(26)決議) の採択に留意した。さらに、戦略計画と高レベル活動計画を機関全体に適用し、かつ改善された計画・管理手続きを規定することによって現存の作業慣行を強化するには一定の基準が必要だということを認めた総会が、戦略計画と高レベル活動計画の適用に関する指針を採択した (A.1013(26)決議) ことにも、小委員会は留意した。小委員会は特に、2010～2011 の二年間に戦略計画と高レベル活動計画の適用に関する指針に適合させるため、機関及び作業方法についての委員会の指針 (MSC-MEPC.1/Circ.2) を見直し、改正するよう総会が委員会に対して要請したことに留意した。

13.2 小委員会は、事務局が上記の要請をうけて MSC と MEPC の委員長と協議の上、MSC 87 による審議のため委員会指針の改正草案を作成した旨の報告を受けた。なお本草案は、総会の認可を受けた Migration Plan の規定も考慮に入れたものであった。この点について小委員会は、本項目との関連では以前の「作業プログラム」様式は既に「二年間議題」と「二年後の議題」という新しい様式に差し替えられたが、所期活動の現状についての現行の報告様式が新しい様式に差し替えられることに留意した。また、STW 41/WP.1 文書の附属書 1 と 4 の記載にあるように、前述の新様式の使用を 2010 年初頭から実施することに委員会議長が同意したことにも留意した。

13.3 今会合における MSC 86 の決議及び議事管理手続き規定の進展を勘案しつつ、小委員会は、二年間及び二年後の議題及び STW 42 の暫定的議題についての草案を作成した。これらは、委員会での審議・承認のため MSC 86 (STW 41/2、附属書 2) によって承認され附属書 7 に記載されたものに基づいている。作業プログラムを見直しつつ、小委員会は以下の事柄について委員会に要請することで合意した。

- .1 二年間の議題の完了目標日を次のように延期すること。
 - .1 5.1.1.9 「リカバリー・システムの訓練基準策定」を 2012 年へ。
 - .2 5.2.1.25 「船上の閉鎖区画に立入る際の勧告事項の改訂」を 2011 年（第 11.5 項）へ。
- .2 以下の二年間の議題を削除すること。
 - .1 5.2.2.1 「STCW 条約及びコードの包括的見直し」（第 7.12.4.2 項）。
 - .2 5.2.2.6 「船員安全代表者の訓練」（第 5.4 項）。
 - .3 5.2.2.3 及び 12.1.2.3 「安全配員の決定に関する強制要件を含む船舶の安全配員レベルの決定に関する原則の見直し」（第 8.18 項）。
 - .4 6.3.2.1 「海事保安を高める措置」（第 9.5 項）。

次の会合に向けての準備

13.4 小委員会は、下記のテーマに関する作業部会と起草部会が STW 42 において設

置られるかもしれないと予測した。

.1 e-Navigation 戦略実行計画の策定。

.2 モデル訓練課程の承認。

機関の高レベル活動計画と 2010～2011 年 2 年間の優先事項

13.5 小委員会は、機関の高レベル活動計画の所期活動の現状及び小委員会に関わる 2010～2011 年の優先事項についての情報に留意した。この情報は附属書 8 に記載されており、委員会が審議と適宜な実行を求められているものである。

次の会合の日程

13.6 小委員会は、第 42 回 STW 小委員会が暫定日時 2011 年 1 月 24 日～28 日の間、IMO 本部で開かれる予定であることに留意した。

14 2011 年の議長及び副議長選出

14.1 海上安全委員会の手続き規則に準じ、小委員会は満場一致でピーター・ブレイディ海軍少将（ジャマイカ）を 2011 年の議長に、A.H. カイッシィ氏（レバノン）を副議長に再選した。

15 その他の議題

STCW 条約第 VIII 条の下で提出された臨時業務許可書

15.1 小委員会は、STCW 条約第 VIII 条に従って 2008 年に締約国から提出された臨時業務許可書についての情報（STW 41/15 及び付録）を検討し、留意した。

救命艇に関する安全意識

15.2 小委員会（STW 41/2/2（部分））は、国際救命装置製造業協会（ILAMA）が作成し DE 52/6/4 文書に記載されている、救命艇を降下する際の危険に対する船員の意識を喚起することで船員の安全を高めるための救命艇安全ポスターに関する情報に留意した。

海事訓練シミュレータに関する情報

15.3 小委員会は、MSC 81 が海事訓練シミュレータに関する情報の提供を加盟各国政府に要請する MSC.1/Circ.1209 を承認したことを受けて、事務局がいくつかの政府から情報を受領したことに留意し、その情報を「読み取り専用」ベースで一般大衆が見ることのできる GISIS データベースに追加した。その結果小委員会は、事務局が GISIS データベースを更新できるよう、情報を未提供の加盟各国政府に対し早い時機に情報を提供するように要請した。

STCW 第 I/8 規則に従った独立評価報告書の第 2 サイクルの締切日に関する情報

15.4 小委員会は、STCW コード第 A-I/8 節の要件に従って STCW 締約国が知識、理解、技能及び能力の獲得と評価並びに資格証明制度の管理についての独立した評価を、5 年を超えない一定期間ごとに確実に実施することを要求されていることを想起した。さらに、STCW 締約国が STCW 第 I/8 規則に従って、当該評価に関する情報を評価作業の完了から 6 カ月以内に事務局長に送付することを要求されていることも想起した。本日現在、102 の STCW 締約国が各々の独立評価報告書を事務局長に送付済みである。これに関連して、MSC.1/Circ.1164/Rev.5 に添付のリストには、委員会のさまざまな会合で確認された STCW 締約国名が記載されている。第 I/7 規則に準じて情報を送付した訳であるが、これは彼らが STCW 条約の関連規定を充分かつ完全に実行していることを明示しており、次のことを示している。

1. 独立評価報告書が事務局長（当てはまる場合）に送付された日付。
2. STCW 締約国が引き続き STCW 条約の関連規定を充分かつ完全に実行していることを明示する、STCW 締約国によって送付された独立評価報告書の評価プロセスの結果は既に多くの STCW 締約国が第二回の独立評価報告書を提出済みである。独立評価報告の第 2 サイクルの締切りは、前回の締切日から 5 年以内である。

15.5 そこで小委員会は、STCW 条約の関連要件を「充分かつ完全に」実行していると海上安全委員会によって確認されたすべての STCW 締約国に対し、第一回または第二回の独立評価を締切日までに完了させるために必要な措置を講じ、その情報を独立評価の完了 6 カ月以内に事務局長に送付するように要請した。

ISF/BIMCO の 2010 年人員調査

15.6 ISF のオブザーバーは加盟各国政府に対し、全代表団に配布される予定の、ISF/BIMCO の 2010 年人員調査アンケートに回答するよう要請した。本調査は適時かつ正確な人員需給予測に役立つものと思われる。さらに、この調査アンケートをオンラインで完了させれば、結論や提起された措置に関するフィードバックを可能とするデータ分析を迅速に行う上でも役立つと思われる。

謝意の表明

15.7 小委員会は、最近職を辞し、引退し、あるいは他の職に異動となった下記の代表に対し、彼らがこれまで小委員会の作業のために行った貴重な貢献についての謝意を表明するとともに、彼らの新任務の成功を祈った。

- ブラジルのカルロス・サライバ・ヒベイロニ海将（間近かな引退に対して）
- チリのオットー・ムルガルスキー船長（帰国に対して）
- キプロスのパナヨティス・パクタータス船長（引退に対して）

弔意の表明

15.8 小委員会は、ハイチを襲った壊滅的な大地震について悲しみをもって言及するとともに、この悲劇的な災害で死亡または重大な被害を被った犠牲者の家族や友人たちに対し、心からの弔意を表明した。

16 海上安全委員会への報告

16.1 第 87 回海上安全委員会は、次のような措置をとるよう要請されている。

- .1 本件に関する小委員会報告を検討した後で、閉鎖区画への立入について何らかの追加的訓練が必要か否かを明らかにする。もし必要な場合は、閉鎖区画への立入についての基本的知識要件（第 7.6.10 項）が既に第 V 章と第 VI 章で規定されていることを勘案しつつ、STCW 条約及びコードの改正案に追加訓練手段を盛り込むことを STCW 外交会議に要請する。
- .2 採択（第 7.12.4.1 項及び附属書 1～3）のため STCW 条約締約国会議に提出することを MSC 86 是認された、下記についての改正草案を承認する。

- .1 1978 年の船員の訓練及び資格証明並びに当直の基準に関する国際条約 (STCW)。
- .2 船員の訓練及び資格証明並びに当直の基準に関するコードの”A”部。
- .3 船員の訓練及び資格証明並びに当直の基準に関するコードの”B”部。
- .3 採択 (第 17.12.4.1 項及び附属書 4) のため STCW 条約締約国会議に提出された 13 本の外交会議決議草案を承認する。

16.2 委員会は小委員会の二年間及び二年後の議題の見直しを行うに際し、小委員会によって提起された条項全般を審議するよう要請されているが、特に以下の点について留意するよう要請されている。

- .1 下記の二年間の議題の完了目標日を延期すること。
 - .1 5.1.1.9 「リカバリー・システムの訓練基準策定」を 2012 年へ。
 - .2 5.2.1.25 「船上の閉鎖区画に立入る際の勧告事項の改訂」を 2012 年 (第 11.5 項) へ。
- .2 以下の二年間及び二年後の議題を削除すること。
 - .1 5.2.2.1 「STCW 条約及びコードの包括的見直し」 (第 7.12.4.2 項)。
 - .2 5.2.2.6 「船員安全代表者の訓練」 (第 5.4 項)。
 - .3 5.2.2.3 及び 12.1.2.3 「安全配員の決定に関する強制要件を含めた船舶の安全配員レベルの決定に関する原則の見直し」 (第 8.18 項)。
 - .4 6.3.2.1 「海事保安を高める措置」 (第 9.5 項)。
 - .5 STW 3 「STCW 第 VII 章の実施の見直し」。

16.3 委員会はまた、第 42 回小委員会の暫定議題草案 (第 13.3 項及び附属書 8) を承認するよう要請されている。

16.4 委員会はさらに、小委員会に関わる高レベル行動計画の所期活動の現状（第 13.5 項及び附属書 8）に留意するよう要請されている。

16.5 第 86 回海上安全委員会は以下の事柄を要請されている。

- .1 A 27 への提出・採択のため、最小安全配員の原則に関する総会決議草案を、NAV56（第 8.14 項及び附属書 5）によるコメントを条件に、承認すること。
- .2 MSC 89 における採択のため、改正 1974 年海上人命安全条約の第 V/14 規則についての改正草案を、NAV 56（第 8.15 項及び附属書 6）によるコメントを条件に、承認すること。

附属書 1

改正 1978 年の船員の訓練及び資格証明並びに当直の基準に関する 国際条約の改正草案

改正箇所を網掛けで示す。また、未決部分については【 】で示す。

第 I 章

一般規定

第 I/1 規則

定義及び解釈

1. この条約の適用上、別段の明文の規定がない限り、

1～1.11 (省略)

.12 「GMDSS 無線通信士」とは、条約の第 IV 章の規定に基づいて資格を有する者をいう。

.13～.19 (省略)

.20 「旅客船」とは、改正 1974 年海上人命安全条約において定義された船舶をいう。

.21～.28 (省略)

.29 「資格証明書」とは、この附属書の第 II 章、第 III 章、第 IV 章または第 VII 章の規定による船長、職員及び GMDSS 無線通信士であつて、その正当な受有者が、その職務区分において業務を行いかつ証明書に明記された責任水準の職務を遂行するために発行され、裏書された証明書をいう。

.30 「技能証明書」とは、船員に発給される「資格証明書」以外の証明書であつて、条約で規定されている訓練、能力または海上航行業務に係る関連要件が満たされたことを示す証明書をいう。

.31 「保安任務」とは、改正 1974 年の海上における人命の安全のための国際条約第 XI-2 条及び国際船舶及び港湾施設保安 (ISPS) コードにおいて定義された船上でのあらゆる保安職務と任務を含む。

.32 「電気技士 (職員)」とは、条約第 III 章の規定に基づいて資格を有する職員をいう。

.33 「有能海員 (甲板部)」とは、条約第 II 章の規定に基づいて資格を有する部員をいう。

.34 「有能海員 (機関部)」とは、条約第 III 章の規定に基づいて資格を有する部

員をいう。

.35 「電気技士（部員）」とは、条約第Ⅲ章の規定に基づいて資格を有する部員をいう。

.36 「文書証拠」とは、資格証明書または技能証明書以外で条約の関連要件が満たされていることを立証するために使われる文書をいう。

2 及び 3 （省略）

第 I/2 規則 証明書及び裏書

1 資格証明書は、必要な全ての文書証拠の真正性と有効性が検証された後、主管庁によってのみ発行されなければならない。

2 第 V/1-1 規則及び第 V/1-2 規則の規定に従って船長及び職員に対して発行される証明書は、主管庁によってのみ発行されなければならない。

3～6 （省略）

7 第 I-10 規則の規定に基づいて主管庁は、真正性と有効性を必ず確認した後、その承認を証明する裏書をしなければならない。

.1 資格証明書、または

.2 第 V/1-1 規則及び V/1-2 規則の規定に基づいて船長及び職員に対して発行される技能証明書

裏書は、この条約のすべての要件が満たされる場合にのみ発給されなければならない。使用される裏書の様式は、STCW コード A-I/2 節 3 に定めるものとする。

8 第 5、6 及び 7 項に規定する裏書は、次のことを満たすものとする。

.1 （省略）

.2 主管庁によってのみ発行されること。

.3 （省略）

.4 （省略）

9～11 （省略）

12 締約国は、証明書がこの本規則の要件を遵守する、資格を得ようとする者に対し

てのみ発行されることを確保しなければならない。

13 証明書を得ようとする者は、以下の事柄についての十分な証拠を提示しなければならない。

- .1 本人自身の身分証明。
- .2 自分の年齢が、申し込む証明書に関わる規則で定める年齢以上であること。
- .3 STCW コード A-I/9 節で規定された身体適性基準を満たしていること。
- .4 申請する証明書に係る規則で要求される海上航行業務及び関連する強制訓練を修了していること。
- .5 当該証明書に対する裏書において確認されるべき職務区分、職務、水準に関する規則で規定されている能力基準を満たしていること。

14 締約国は、船長、職員及び部員に対して発給された全ての証明書、裏書で期限切れ又は更新、停止、無効又は紛失又はまたは破損の報告のあったもの及び発行された臨時業務許可書の登録簿を保管する。

15 締約国は、第 I/10 規則に基づき証明書の認証を求めるあるいは乗船雇用を求める船員が他の締約国及び会社提示した証明書について、有効性及び真正性の証明を要請する締約国及び会社に対して、それらの資格証明書、裏書及び臨時業務許可書の状況に関する情報を提供する。

16 [発効日+[.]年間] 現在、本規則の第 14 項に従って提供を要請されている情報の状況についての情報は、英語により電子データベースを通じて提供されなければならない。

第 I/3 規則

沿岸航海を規律する原則

1 (省略)

2 締約国は、他の締約国が定義する沿岸海域内において、当該沿岸国の沿岸航海を含み条約の沿岸航海を規律する条項によって便宜を受ける船舶に関して、関与する航行海域及び他の関連条件の詳細を当該関係国と締結しなければならない。

3～4 (省略)

5 自ら規定した沿岸航海の境界に関して、その締約国が発給した船員の証明書は、他の締約国が、規定する沿岸航海の境界内における航海についても他の締約国によって

承認されることがある。ただし、この場合は関係締約国が、関与する航行海域及び他の関連する条件について詳細を取り決める契約を締結しなければならない。

6 本規則に従って沿岸航海を規定している締約国は、以下のことを守らなければならない。

- .1 A-I/3 節に規定されている沿岸航海を規制する原則を満たしていること。
- .2 第 I/7 規則の要件に従って、採択された規定の詳細を事務局長に送付すること。
そして、
- .3 第 I/2 規則の 5、6 または 7 項に従って発行された裏書の中に、沿岸航海の境界を盛り込むこと。

7 (省略)

第 I/4 規則 監督手続

1 正当に権限を与えられた監督官が第 10 条の規定に基づき行うことのできる監督は、次の事項に限る。

- .1～.2 (省略)
- .3 船舶が次の事態のいずれかを引き起こしたことにより、当該船舶においてこの条約により要求される基準の当直及び保安が適切に維持されていないと認める明確な根拠がある場合に、当該船舶の船員が当該当直を維持する能力を有しているかいないかを STCW コード A 部第 I/4 節の規定に従って確認すること。
 - .3.1～.3.3 (省略)
 - .3.4 人命、財産又は環境に危険をもたらし、または保安を損なう恐れのある方法で運航されていること。

2～3 (省略)

第 I/5 規則 国内規則

1 締約国は、自国が発給した証明書又は裏書の受有者による証明書に係る任務の遂行に関し、海上における人命若しくは財産の安全又は海洋環境に直接脅威をもたらす可能性のある当該受有者の不適格、作為又は不作為又は保安の侵害についての報告に関する

る公平な調査並びにそれらを理由とし及び不正の防止を目的とする証明書の撤回、停止及び取消しのため、必要な措置及び手続きを確立する。

2 発給した証明書及び裏書に関わる不正行為その他の違法な慣行を防止するため、締約国は適切な措置を講じ、施行する。

3～5 (省略)

第 I/6 規則 訓練及び評価

(省略)

第 I/7 規則 情報の送付

1～2 (省略)

3 海上安全委員会が同委員会の採択する手続に基づき、提出された情報がこの条約の十分かつ完全な実施を証明するものであると確認した後、

.1 (省略)

.2 条約の関連する条項に対して十分かつ完全な実施を立証する情報を伝えた締約国のリストに関して、そのような締約国だけをこのリストに残すためにリストを見直すこと。

.3 (省略)

4 第 1 項の規定に従って事務局長に送付され又は送付されるであろう日付よりも遅い発効日の STCW 条約及びコードの改正は、A-I/7 節 1 及び 2 の規定を条件とはしない。

第 I/8 規則 資質基準

1 締約国は、次のことを確保する。

.1 STCW コード A 部第 I-8 節の規定に基づき、定められた目的を達成するため、権限を与えられた非政府機関又は団体により実施されるすべての訓練、能力の評価、STCW コード A-I/9 節に基く身体検査証明書の発給手続きを含む資

格証明、裏書及び更新を、指導者及び評価者の能力及び経験に関する事項を含めて、資質基準制度に基づき継続的に監視すること。

- .2 政府機関又は政府団体が 1.1 に規定する行為を行う場合には、資質基準制度を設けること。

2 締約国は、STCW コード A 部第 I/8 節の規定に基づき、関連する行為に関係していない有資格者により評価が定期的に行われることを確保する。この評価は、事務局長に送付された日付よりも遅い発効日の条約及び STCW コードの改正に準拠する国内規定及び手続に対する全ての変更を含むこと。

3 第 2 項で要求される評価の結果を含む報告は、STCW コード A-I/7 節で規定された様式に基づいて、事務局長に送付すること。

第 I/9 規則

身体基準

1 締約国は、船員の身体適性基準及び本規則と STCW コード A-I/9 節の規定に基づく身体検査証明書の発給手続きを確立しなければならない。

2 締約国は、STCW コード A-I/9 節の規定に基づき、身体検査証明書のために締約国によって承認された医師が船員の身体適性評価に責任を持つことを確保しなければならない。

3 条約の規定に基づいて発給された証明書を受有する海上勤務の船員は、また、本規則及び STCW コード A-I/9 節の規定に従い発給された有効な身体検査証明書を所持しなければならない。

4 証明書を得ようとする全ての者は、次の事項を満たさなければならない。

- .1 16 歳以上であること。
- .2 自らの身分を証明する十分な証拠書類を提出すること。そして、
- .3 締約国が定めた適用される身体適性基準を満たすこと。

5 船員の年齢が 18 歳未満でなければ身体検査証明書の有効期間は 2 年間であるが、18 歳未満であれば、最長 1 年間である。

6 もし航海中に船員の身体検査証明書の有効期限が切れた場合は、締約国によって承認された医師のいる次の寄港地に着くまでの間当該の身体検査証明書は有効とされる。ただし、その期間は3ヶ月を超えないものとする。

第 I/10 規則

証明書の承認

1 主管庁は、第 1/2 規則 5 の規定に基づく裏書により他の締約国又は締約国から権限を与えられた者が船長、職員又は無線通信士に対して発給した証明書を承認するため、この第 1/10 規則の規定が遵守されること及び次のことを確保する。

.1 主管庁は、施設及び手続の点検を含む締約国の審査を通じて、能力基準、訓練、証明書及び資質基準に関する条約の要件が十分に満たされていることを確認すること。

.2 (省略)

2～4 (省略)

5 主管庁は、第 I/2 規則 5 の要件にかかわらず、第 1 項の規定を条件として、他の締約国の船舶において使用するため、当該他の締約国が発給し及び裏書をした適当かつ有効な証明書であつて自国を旗国とする船舶において業務を行うために適当であるとの裏書がされていないものを受有する船員に対し、自国を旗国とする船舶において、いずれかの職務区分（無線通信規則に別段の定めがない限り、無線通信士を除く。）において3箇月を超えない期間業務を行うことを必要に応じて認めることができる。裏書の申請を主管庁に提出したことに係る文書による証拠は、必要なときはいつでも提示することができるようにしておく。

6 (省略)

第 I/11 規則

証明書の更新

1～2 (省略)

3 タンカーでの海上航行業務を継続するためには、すべての船長及び職員は、本規則の第 1 項の要件を満たすとともに、STCW コード A-I/11 節 3 の規定に基づき、5 年を超えない一定期間ごとにタンカーに対する専門能力の維持を立証することが求められなければならない。

4 各締約国は、〔発効日+5年間〕前に発給される証明書を得ようとする者に要求される能力基準と STCW コード A 部に規定される適当な証明書のための能力基準とを比較し、当該証明書を受有する者に再教育及び最新の知識の習得のための適当な訓練又は評価を受けるよう要求する必要性を決定する。

5 (省略)

6 船長、職員及び無線通信士が最新の知識を習得するため、主管庁は、自国を旗国とする船舶が海上における人命の安全、保安及び海洋環境の保護に関する国内法令及び国際規則の最新の改正文書を入手することができるようにする。

第 I/12 規則 シミュレーターの使用

(省略)

第 I/13 規則 試験の実施

(省略)

第 I/14 規則 会社の責任

1～.1.2 (省略)

.3 同社の船舶に配乗される船員が、条約の求める再教育及び更新訓練を受けていること。

.4～.6 (省略)

.7 SOLAS 条約の第 V 章第 14 規則の 3 項及び 4 項に基づき、同社の船舶では常に効果的な口頭によるコミュニケーションが行われなければならない。

第 I/15 規則 経過規定

1 〔発効日+5年間〕までは、締約国は、〔発効日〕前に承認された海上航行業務、承認された教育及び訓練計画又は承認された訓練課程を開始した船員に関しては、〔発効日+1年6ヶ月〕直前に適用されるこの条約の規定に従い、証明書を発給し、承認し、裏書をすることができる。

2 〔発効日+5年間〕までは、締約国は、〔発効日〕直前に適用されるこの条約に従い、証明書及び裏書を書き換え及び更新することができる。

第 II 章 船長及び甲板部

第 II-1 規則

総トン数 500 トン以上の船舶において甲板部の当直を担当する 職員の資格証明のための最小限の要件

- 1 総トン数 500 トン以上の海上航行船舶において甲板部の当直を担当する職員は、**資格証明書**を受有していなければならない。
- 2 資格証明を得ようとする者は、次の要件を満たさなければならない。
 - .1 (省略)
 - .2 STCW コード A-II/1 節の要件を満たす船内における訓練を含む承認された訓練計画の一部として **12 ヶ月**以上の期間承認された海上航行業務を行い、かつ、承認された記録簿に記載されること。訓練計画がない場合には、**36 ヶ月**以上の期間承認された海上航行業務を行ったことがあること。
 - .3～.5 (省略)
 - .6 STCW コード A-VI/1 節 2、A-VI/2 節 1 から 4、A-VI/3 節 1 から 4 及び A-VI/4 節 1 から 3 に規定する能力基準を満たすこと。

第 II/2 規則

総トン数 500 トン以上の船舶の船長及び一等航海士の資格証明 のための最小限の要件

(総トン数 3,000 トン以上の船舶の船長及び一等航海士)

- 1 総トン数 3,000 トン以上の海上航行船舶の船長及び一等航海士は、**資格証明書**を受有していなければならない。
- 2 (省略)

(総トン数 500 トン以上 3,000 トン未満の船舶の船長及び一等航海士)

- 3 総トン数 500 トン以上総トン数 3,000 トン未満の海上航行船舶の船長及び一等航海士は、**資格証明書**を受有していなければならない。
- 4 (省略)

第 II/3 規則

総トン数 500 トン未満の船舶の船長及び甲板部の当直を担当する職員の 資格証明のための最小限の要件

沿岸航海に従事しない船舶

1 沿岸航海に従事しない総トン数 500 トン未満の海上航行船舶において甲板部の当直を担当する職員は、総トン数 500 トン以上の船舶のための資格証明書を受有していなければならない。

2 (省略)

沿岸航海に従事する船舶

(甲板部の当直を担当する職員)

3 沿岸航海に従事する総トン数 500 トン未満の海上航行船舶において航海当直を担当する職員は、資格証明書を受有していなければならない。

4 沿岸航海に従事する総トン数 500 トン未満の海上航行船舶において航海当直を担当する職員として資格証明を得ようとする者は、次の要件を満たさなければならない。

.1 (省略)

.2 次のいずれかのものを終了していること。

.2.1 (省略)

.2.2 36 ヶ月以上の期間の甲板部における承認された海上航行業務。

.3～.4 (省略)

.5 STCW コード A-VI/1 節 2、A-VI/2 節 1 から 4、A-VI/3 節 1 から 4 及び A-VI/4 節 1 から 3 に規定する能力基準を満たすこと。

(船 長)

5 沿岸航海に従事する総トン数 500 トン未満の海上航行船舶の船長は、資格証明書を受有していなければならない。

6 沿岸航海に従事する総トン数 500 トン未満の海上航行船舶の船長として資格証明を得ようとする者は、次の要件を満たさなければならない。

.1～.3 (省略)

.4 STCW コード A-VI/1 節 2、A-VI/2 節 1 から 4、A-VI/3 節 1 から 4 及び A-VI/4 節 1 から 3 に規定する能力基準を満たすこと。

免 除

7 (省略)

第 II/4 規則

甲板部の当直を担当する部員の資格証明のための最小限の要件

1～3 (省略)

第 II/5 規則

甲板部の当直を担当する有能海員の資格証明のための最小限の要件

- 1 総トン数 500 トン以上の海上航行船舶に乗組む有能海員（甲板部）は、正当に証明書を与えられなければならない。
- 2 資格証明を得ようとする者は、次の要件を満たさなければならない。
 - .1 18 歳以上であること。
 - .2 航海当直を担当する部員としての資格証明のための要件を満たしていること。
 - .3 航海当直を担当する部員としての資格を有し、かつ、甲板部において承認された次の海上航行業務を有すること。
 - .3.1 18 ヶ月以上の海上航行業務、または
 - .3.2 12 ヶ月以上の海上航行業務及び承認された訓練を終了していること。
 - .4 STCW コード A-II/5 節に規定する能力基準を満たしていること。
- 3 各締約国は、〔発効日〕より前に発給された証明書で有能海員（甲板部）に要求されている能力基準を STCW コード A-II/5 節に規定される証明書の能力基準と比較し、当該証明書を受有する者に能力の更新を求める必要性の有無を決定しなければならない。
- 4 〔発効日〕までは、締約国は、本規則が発効する直前に適用されていた条約*の規定に従い、証明書を発給し、承認し、裏書することを継続できる。
- 5 〔発効日+5 年間〕までは、締約国は、本規則が発効する直前に適用されていた条約*の規定に従い、証明書及び裏書を更新し、再認証することを継続できる。
- 6 締約国は、自国についてこの規則の効力が生じる前 60 ヶ月に 12 ヶ月以上の期間甲板部の適当な職務区分において業務を行ったことのある船員については、この第 2-5 規則の要件を満たしているとみなすことができる。

第Ⅲ章 機関部

第Ⅲ/1 規則

人員の配置がされる機関区域の機関部の当直を担当する職員又は定期的に無人の状態に置かれる機関区域の当番に指名される職員の資格証明のための最小限の要件

- 1 750 キロワット以上の推進出力の主推進機関を備えた海上航行船舶において、人員の配置がされる機関区域の機関部の当直を担当する職員又は定期的に無人の状態に置かれる機関区域の当番に指名される職員は、資格証明書を受有していなければならない。
- 2 資格証明を得ようとする者は、次の要件を満たさなければならない。
 - .1 18 歳以上であること。
 - .2 STCW コード A-Ⅲ/1 節の要件を満たし、承認された訓練記録簿に記録される船上訓練を含む承認された訓練プログラムの一部として、工作技能訓練及び承認された海上航行業務を合わせた 12 ヶ月以上の訓練を修了していること、または、36 ヶ月以上の承認された海上航行業務を有すること。
 - .3 要求される海上航行業務の期間中に、機関長または資格を有する機関部職員の監督下で 6 ヶ月以上の機関当直業務を遂行していること。
 - .4 承認された教育・訓練を修了し、STCW コード A-Ⅲ/1 節に規定する能力基準を満たしていること。そして
 - .5 STCW コード A-VI/1 節 2、A-VI/2 節 1 から 4、A-VI/3 節 1 から 4 及び A-VI/4 節 1 から 3 に規定する能力基準を満たすこと。

第Ⅲ/2 規則

3,000 キロワット以上の推進出力の主推進機関を備えた船舶の
機関長及び一等機関士の資格証明のための最小限の要件

- 1 3,000 キロワット以上の推進出力の主推進機関を備えた海上航行船舶の機関長及び一等機関士は、資格証明書を受有していなければならない。
- 2 資格証明を得ようとする者は、次の要件を満たさなければならない。
 - .1 750 キロワット以上の推進出力の主推進機関を備えた海上航行船舶において機関部の当直を担当する職員の資格証明のための要件を満たし、かつ、定員として以下のような承認される海上航行業務を有すること。

- .1.1 一等機関士の資格証明の場合には、有資格の機関部職員として 12 ヶ月以上の海上航行業務。そして
- .1.2 機関長の資格証明の場合には、36 ヶ月以上の海上航行業務。ただし、もし一等機関士として 12 ヶ月以上の海上航行業務がある場合は、この期間を 24 ヶ月以上に短縮することができる。そして

第Ⅲ/3 規則

750 キロワット以上 3,000 キロワット未満の推進出力の主推進機関を備えた船舶の機関長及び一等機関士の資格証明のための最小限の要件

- 1 750 キロワット以上 3,000 キロワット未満の推進出力の主推進機関を備えた海上航行船舶の機関長及び一等機関士は、資格証明書を受有していなければならない。
- 2 (省略)
- 3 3,000 キロワット以上の推進出力の主推進機関を備えた船舶の一等機関士として業務を行う資格を有する機関部職員は、その証明書にしかるべく裏書されていれば、推進出力 3,000 キロワット未満の主推進機関を備えた船舶において機関長として業務を行うことができる。

第Ⅲ/4 規則

人員の配置がされる機関区域の当直を担当する部員又は定期的に無人の状態に置かれる機関区域の当番に指名される部員の資格証明のための最小限の要件

- 1～3 (省略)

第Ⅲ/5 規則

人員の配置がされる機関区域又は定期的に無人の状態に置かれる機関区域の当番に指名される有能海員（機関部）の資格証明のための最小限の要件

- 1 750 キロワット以上の推進出力の主推進機関を備えた海上航行船舶に勤務する有能海員（機関部）は、正当に証明書が与えられなければならない。
- 2 資格証明を得ようとする者は、次の要件を満たさなければならない。
 - .1 18 歳以上であること。

- .2 人員が配置される機関区域の当直を担当する部員あるいは定期的に無人の状態に置かれる機関区域の当番に指名される部員としての資格要件を満たしていること。
- .3 機関部の当直を担当する部員としての資格を有し、かつ、機関部において承認された次の海上航行業務を有すること。
 - .3.1 12 ヶ月以上の海上航行業務、または
 - .3.2 6 ヶ月以上の海上航行業務及び承認された訓練を修了していること。
そして
- .4 STCW コード A-Ⅲ/5 節に規定する能力基準を満たしていること。

3 各締約国は、〔発効日〕より前に機関部員に対して発給された証明書の能力基準を STCW コード A-Ⅲ/5 節に規定される証明書の能力基準と比較し、必要なら当該証明書を受有する者に資格を更新することを求める必要性の有無を決定しなければならない。

4 締約国は、自国についてこの規則の効力が生じる前 60 ヶ月に 12 ヶ月以上の期間、機関部において関連する職務区分において 業務を行ったことのある船員については、この第 3-5 規則の要件を満たしているとみなすことができる。

第Ⅲ/6 規則

電気技士（職員）の資格証明のための最小限の要件

- 1 750 キロワット以上の推進出力の主推進機関を備えた海上航行船舶に勤務する電気技士（職員）は、資格証明書を受有していなければならない。
- 2 資格証明を得ようとする者は、次の要件を満たさなければならない。
 - .1 18 歳以上であること。
 - .2 STCW コード A-Ⅲ/6 節の要件を満たし、承認された訓練記録簿に記録される承認された訓練プログラムの一部として、6 ヶ月以上の海上航行業務を含み工作技能訓練と合わせた 12 ヶ月以上の承認された海上航行業務を修了していること、または、機関部における 30 ヶ月以上の海上航行業務を含み工作技能訓練と合わせた 36 ヶ月以上の承認された海上航行業務を完了していること。
そして
 - .3 承認された教育と訓練を修了し、かつ STCW コード A-Ⅲ/6 節に規定する能力基準を満たしていること。
- 3 各締約国は、〔発効日〕より前に発給された証明書で電気技士（職員）に要求され

ている能力基準と、STCW コード A-Ⅲ/6 節に規定される証明書の能力基準とを比較し、当該証明書を受有する者に能力の更新を求める必要性の有無を決定しなければならない。

4 締約国は、自国についてこの規則の効力が生じる前 60 ヶ月に 12 ヶ月以上の期間、関連する職務区分において業務を行ったことのある船員については、この規則で規定する要件を満たしていると思なすことができ、また、STCW コード A-Ⅲ/6 節で規定する能力基準を満たしていると思なすことができる。

5 締約国は、上記第 1 から 4 項の要件にかかわらず、しかるべき資格を有する者については、STCW コード A-Ⅲ/6 節に規定される職務を遂行する能力を持つ者として見なすことができる。

第Ⅲ/7 規則

電気技士（部員）の資格証明のための最小限の要件

1 750 キロワット以上の推進出力の主推進機関を備えた海上航行船舶に勤務する電気技士（部員）は、正当に証明書が与えられなければならない。

2 資格証明を得ようとする者は、次の要件を満たさなければならない。

.1 18 歳以上であること。

.2 次の要件を満たしていること。

.2.1 12 ヶ月以上の訓練と経験を含む、承認された海上航行業務を修了していること。または

.2.2 6 ヶ月以上の承認された海上航行業務を含む、承認された訓練を修了していること。または

.2.3 A-Ⅲ/7 節に規定された技術能力と 3 ヶ月以上の承認された海上航行業務を満たしていること。そして、

.3 STCW コード A-Ⅲ/7 節に規定する能力基準を満たしていること。

3 各締約国は、〔発効日〕より前に発給された証明書で電気技士（部員）に要求されている能力基準と、STCW コード A-Ⅲ/7 節に規定される証明書の能力基準とを比較し、必要なら当該証明書を受有する者に資格の更新を求める必要性の有無を決定しなければならない。

4 締約国は、自国についてこの規則の効力が生じる前 60 ヶ月に 12 ヶ月以上の期間、

関連する職務区分において業務を行ったことのある船員については、この規則で規定する要件を満たしていると思なすことができ、また、STCW コード A-Ⅲ/7 節で規定する能力基準を満たしていると思なすことができる。

5 締約国は、上記 1 から 4 項の要件にかかわらず、しかるべき資格を有する者については STCW コード A-Ⅲ/7 節に規定される職務を遂行する能力を持つ者として思なすことができる。

第 IV 章 無線通信及び無線通信士

注釈 (省略)

第 IV/1 規則 適用

1 この章の規定は、2 の規定を除くほか、1974 年の海上における人命の安全のための国際条約（改正を含む。）に定める海上における遭難及び安全に関する世界的な制度（GMDSS）の下で運航される船舶の無線通信士について適用する。

2 1974 年の海上における人命の安全のための国際条約第 IV 章に規定する全世界的な海上遭難安全制度（GMDSS）に従うことを要求されない船舶の無線通信士は、この章の規定を満たすことを要しない。ただし、当該船舶の無線通信士は無線通信規則を遵守することを要求される。主管庁は、当該無線通信士について、無線通信規則に規定する適当な証明書が発給され、又は承認されることを確保する。

第 IV/2 規則 全世界的な海上遭難安全制度（GMDSS）の下での無線通信士の 資格証明のための最小限の要件

1 (省略)

2 1974 年の海上における人命の安全のための国際条約（改正を含む。）により無線設備を備えることが要求される船舶において業務を行うため、この第 IV-2 規則の規定に基づき資格証明を得ようとする者は、更に次の要件を満たさなければならない。

.1～.2 (省略)

第 V 章

特定の種類の船舶の乗組員に対する特別な訓練の要件の基準

第 V/1-1 規則

石油及びケミカル・タンカーの船長、職員及び部員の訓練及び資格に関する 最小限の要件

- 1 石油又はケミカル・タンカーの貨物及び荷役設備に関する特定の任務及び責任を割り当てられる職員及び部員は、石油及びケミカル・タンカー荷役作業の基本訓練の証明書を受有していなければならない。
- 2 石油及びケミカル・タンカー荷役作業の基本訓練証明書を得ようとする者は、STCW コード A-VI/1 節の規定に基づく安全訓練を修了し、かつ、次のいずれかを修了していなければならない。
 - .1 少なくとも 3 ヶ月、石油又はケミカル・タンカーにおいて承認された海上航行業務を行い、STCW コード A-V/1-1 節 1 に規定する能力基準を満たしていること。または
 - .2 石油及びケミカル・タンカー荷役作業の承認された基本訓練を修了し、かつ、STCW コード A-V/1-1 節 1 に規定する能力基準を満たしていること。
- 3 石油タンカーに乗組む船長、機関長、一等航海士、一等機関士及びその他の人員で貨物の積込み及び荷揚げ並びに貨物の輸送中の管理、貨物の取扱い、タンク・クリーニングその他貨物に関連する作業について直接の責任を有する者は、石油タンカー貨物取扱い上級訓練証明書を受有していなければならない。
- 4 石油タンカー荷役作業の上級訓練証明書を得ようとする者は、以下の要件を満たさなければならない。
 - .1 石油及びケミカル・タンカー荷役作業の基本訓練証明書の要件を満たしていること。及び
 - .2 石油及びケミカル・タンカー荷役作業の基本訓練証明書の要件を満たし、かつ、次の要件を満たしていること。
 - .2.1 石油タンカーにおいて少なくとも 3 ヶ月の承認された海上航行業務があること。または
 - .2.2 定員外で、石油タンカーにおいて少なくとも 1 ヶ月の承認された船上訓練を受けていること。これには、少なくとも 3 回の積荷作業及び 3 回の荷揚げ作業を含み、B-V/1 節に記載の指針を考慮した承認された訓練記

録簿に記録されるものであること。そして

- .3 承認された石油タンカー荷役作業の上級訓練を修了し、かつ、STCW コード A-V/1-1 節 2 に規定する能力基準を満たしていること。

5 ケミカル・タンカーに乗組む船長、機関長、一等航海士、一等機関士及びその他の人員で貨物の積込み及び荷揚げ並びに貨物の輸送中の管理、貨物の取扱い、タンク・クリーニングその他貨物に関連する作業について直接の責任を有する者は、ケミカル・タンカー貨物取扱い上級訓練証明書を受有していなければならない。

6 ケミカル・タンカー荷役作業の上級訓練証明書を得ようとする者は、以下の要件を満たさなければならない。

- .1 石油及びケミカル・タンカー荷役作業の基本訓練証明書の要件を満たしていること。及び
- .2 石油及びケミカル・タンカー荷役作業の基本訓練証明書の要件を満たし、かつ次の要件を満たしていること。
 - .2.1 ケミカル・タンカーにおいて少なくとも 3 ヶ月の承認された海上航行業務があること。または
 - .2.2 定員外で、ケミカル・タンカーにおいて少なくとも 1 ヶ月の承認された船上訓練を受けていること。これには、少なくとも 3 回の積荷作業及び 3 回の荷揚げ作業を含み、第 B-V/1 節に記載の指針を考慮した承認された訓練記録簿に記録されるものであること。そして
- .3 承認されたケミカル・タンカー荷役作業の上級訓練を修了し、かつ、STCW コード A-V/1-1 節 3 の規定する能力基準を満たしていること。

7 主管庁は、技能証明書が、2、4 又は 6 項の規定に従って適切に資格を有する船員に対して発給されること、あるいは、現行の資格証明書が正当に裏書されることを確保しなければならない。

第 V/1-2 規則

液化ガス・タンカーの船長、職員及び部員の訓練及び資格に関する最小限の要件

1 液化ガス・タンカーの貨物及び荷役設備に関する特定の任務及び責任を割り当てられた職員及び部員は、液化ガス・タンカー荷役作業の基本訓練証明書を受有していなければならない。

2 液化ガス・タンカー荷役作業の基本訓練証明書を得ようとする者は、STCW コード A-VI/1 節の規定に基づく基本訓練を修了し、かつ、次のいずれかを修了していなければならない。

- .1 少なくとも 3 ヶ月、液化ガス・タンカーにおいて承認された海上航行業務を行い、STCW コード A-V/1-2 節 1 に規定する能力基準を満たしていること。
または
- .2 液化ガス・タンカー荷役作業の承認された基本訓練を修了し、かつ、STCW コード A-V/1-2 節 1 に規定する能力基準を満たしていること。

3 液化ガス・タンカーに乗組む船長、機関長、一等航海士、一等機関士及びその他の人員で貨物の積込み及び荷揚げ並びに貨物の輸送中の管理、貨物の取扱い、タンク・クリーニングその他貨物に関連する作業について直接の責任を有する者は、液化ガス・タンカー貨物取扱い上級訓練証明書を受有していなければならない。

4 液化ガス・タンカー荷役作業の上級訓練証明書を得ようとする者は、以下の要件を満たさなければならない。

- .1 液化ガス・タンカー荷役作業の基本訓練証明書の要件を満たしていること。
及び
- .2 液化ガス・タンカー荷役作業の基本訓練証明書の要件を満たし、かつ、次の要件を満たしていること。
 - .2.1 液化ガス・タンカーにおいて少なくとも 3 ヶ月の承認された海上航行業務があること。または
 - .2.2 定員外で、液化ガス・タンカーにおいて少なくとも 1 ヶ月の承認された船上訓練を受けていること。これには、少なくとも 3 回の積荷作業及び 3 回の荷揚げ作業を含み、B-V/1 節に記載の指針を考慮した承認された訓練記録簿に記録されるものである。そして
- .3 承認された液化ガス・タンカー荷役作業の上級訓練を修了し、かつ、STCW コード A-V/1-2 節 2 に規定する能力基準を満たしていること。

5 主管庁は、技能証明書が、2 または 4 項の規定に従って適切に資格を有する船員に対して発給されること、あるいは、現行の資格証明書が正当に裏書されることを確保しなければならない。

第 V/2 規則

旅客船の船長、職員及び部員その他の乗組員の訓練及び能力に関する最小限の要件

1 (省略)

2 船員は、旅客船における任務を割り当てられる前に、自己の職務区分、任務及び責任に従って 4 から 7 までの規定により要求される訓練を修了していなければならない。

3 4、6 及び 7 の規定に基づく訓練を要求される船員は、5 年を超えない期間ごとに、適当な再教育のための訓練を受けるか、又は過去 5 年以内に要求される水準の能力に達していたことを証明しなければならない。

4 (省略)

5 旅客船の旅客区域において旅客に接する業務を行う乗組員は、STCW コード A-V/2 節 2 に規定する安全に関する訓練を修了していなければならない。

6 旅客船に乗り組む船長、機関長、一等航海士、一等機関士及びその他の人員で非常事態において旅客の安全に責任を有する者として非常配置表に指定された者は、STCW コード A-V/2 節 3 に規定する危機管理及び人間行動に関する承認された訓練を修了していなければならない。

7 ロールオン・ロールオフ旅客船に乗り組む船長、一等航海士、機関長、一等機関士並びに旅客の乗降、貨物の積込み、取卸し又は保全及び船体の開口の閉鎖について直接的な責任を割り当てられるすべての者は、STCW コード A-V/2 節 4 に規定する旅客の安全、貨物の安全及び船体の保全に関する承認された訓練を修了していなければならない。

8 主管庁は、この規則の規定に従って、能力を有すると認められるすべての者に対し修了した訓練についての文書による証拠を発給することを確保する。

第 VI 章

非常事態、職業上の安全、医療及び生存に関する職務細目

第 VI/1 規則

すべての船員に対する安全についての精通するための訓練並びに 基本訓練及び教育のための最小限の要件

- 1 船員は STCW コード A-VI/1 節に基づいて安全についての精通するための訓練、基本訓練又は教育を受け、かつ、同節に規定する適当な能力の基準を満たさなければならない。
- 2 基本訓練が、発給される証明書の資格に含まれない場合には、受有者が基本訓練に参加したことを示す技能証明書が発給されなければならない。

第 VI/2 規則

救命艇及び救命いかだ、救助艇並びに高速の救助艇に関する 技能証明書の発給のための最小限の要件

- 1 (省略)
- 2 .1～.2 (省略)
- .3 STCW コード A-VI/2 節 7 から 10 に規定する高速救助艇に関する技能証明書のための能力の基準を満たすこと。

第 VI/3 規則

上級消火訓練のための最小限の要件

- 1 消火活動を指揮することを指名される船員は、STCW コード A-VI/3 節 1 から 4 の規定に基づいて消火のための技術に関する上級訓練（特に組織、戦術及び指揮に重点を置いた訓練）を良好に修了し、同節に規定する能力の基準を満たさなければならない。
- 2 上級消火訓練が、発給される証明書の能力に含まれない場合には、受有者が上級消火訓練に参加したことを示す技能証明書が発給されなければならない。

第 VI/4 規則

応急医療及び医療のための最小限の要件

1～2 (省略)

3 応急医療又は医療の訓練が発給される証明書の能力に含まれない場合には、受有者が応急医療又は医療の訓練に参加したことを示す技能証明書を発給する。

第 VI/5 規則

(省略)

第 VI/6 規則

すべての船員に対する保安に関連した訓練及び教育のための最小限の要件

1 船員は STCW コード A-VI/6 節 1 から 4 に基づいて、保安に関連した精通、保安意識訓練又は教育を受講し、同節に規定する適切な能力基準を満たさなければならない。

2 保安意識が、発給される証明書の能力に含まれない場合には、受有者が保安意識訓練に参加したことを示す技能証明書が発給されなければならない。

3 すべての締約国は、本規則の発効前の資格を有する、又は証明できる船員が必要とされた保安関連訓練又は教育と、STCW コード A-VI/6 節 4 に規定された保安関連訓練又は教育を比較し、当該者に資格の更新を求める必要があるかどうか判断しなければならない。

保安任務を指定される船員

4 保安任務を指定される船員は、STCW コード A-VI/6 節 6 から 8 に規定する能力基準を満たさなければならない。

5 指定される保安任務についての訓練が、発給される証明書の能力に含まれない場合には、受有者が指定される保安任務についての訓練に参加したことを示す技能証明書が発給されなければならない。

6 すべての締約国は、本規則の発効前の資格を有する、又は証明できる船員が必要とされた保安訓練基準と、STCW コード A-VI/6 節 8 に規定された保安訓練基準を比較し、当該者に資格の更新を求める必要があるかどうか判断しなければならない。

第 VII 章 選択的証明

第 VII/1 規則 選択的証明書の発給

1 この附属書の第 2 章及び第 3 章に定める証明書に係る要件にかかわらず、締約国は、次のことを条件として、これらの章に規定する証明書以外の証明書を発給すること又は発給の権限を与えることを選択することができる。

.1 証明書及び裏書に記載される関連する職務細目及び責任の水準が、STCW コード A-II/1 節、A-II/2 節、A-II/3 節、A-II/4 節、A-II/5 節、A-III/1 節、A-III/2 節、A-III/3 節、A-III/4 節、A-III/5 節及び A-IV/2 節に定めるものから選択され、かつ、同一であること。

.2～.5 (省略)

2 (省略)

第 VII/2 規則 船員の資格証明

1 STCW コード第 II 章の表 A-II/1、A-II/2、A-II/3、A-II/4 又は A-II/5、あるいは第 III 章の表 A-III/1、A-III/2、A-III/3、A-III/4 又は A-III/5、あるいは第 IV 章の表 A-IV/2 に規定されるどの職務細目又は職務細目群でもそれらの職務を行う船員は、規定に従い資格証明書又は技能証明書を受有しなければならない。

第 VII/3 規則 選択的証明書の発給を規律する原則

(省略)

第Ⅷ章 当 直

第Ⅷ/1 規則 任意への適合

- 1 主管庁は、疲労の予防のため、次の措置をとる。
 - .1 当直を担当する者及びその職務が STCW コード A・Ⅷ/1 節の規定に従って指定される安全、汚染防止及び保安業務に関与している者のために、休息時間を設け、実施すること。
 - .2 (省略)
- 2 主管庁は、薬物及びアルコールの乱用を防ぐため、STCW コード B・Ⅷ/1 節に記載の指針を勘案して、A・Ⅷ/1 節の規定に従って適切な措置が講じられることを確保しなければならない。

第Ⅷ/2 規則 当直体制及び遵守すべき原則

- 1 (省略)
- 2 (省略)
 - .1～.4 (省略)
 - .5 保安のため、適切かつ効果的な当直を維持すること。

Ⅱ 部

REPORT TO THE MARITIME SAFETY COMMITTEE

ANNEX 1



SUB-COMMITTEE ON STANDARDS OF
TRAINING AND WATCHKEEPING
41st session
Agenda item 16

STW 41/16
22 January 2010
Original: ENGLISH

REPORT TO THE MARITIME SAFETY COMMITTEE

Table of contents

	Page
1 GENERAL	3
2 DECISIONS OF OTHER IMO BODIES	5
3 VALIDATION OF MODEL TRAINING COURSES	8
4 UNLAWFUL PRACTICES ASSOCIATED WITH CERTIFICATES OF COMPETENCY	8
5 TRAINING FOR SEAFARER SAFETY REPRESENTATIVES	9
6 CASUALTY ANALYSIS	10
7 COMPREHENSIVE REVIEW OF THE STCW CONVENTION AND CODE	10
8 REVIEW OF THE PRINCIPLES FOR ESTABLISHING THE SAFE MANNING LEVEL OF SHIPS, INCLUDING MANDATORY REQUIREMENTS FOR DETERMINING SAFE MANNING	42
9 MEASURES TO ENHANCE MARITIME SECURITY	44
10 DEVELOPMENT OF AN E-NAVIGATION STRATEGY IMPLEMENTATION PLAN	45
11 REVISION OF THE RECOMMENDATIONS FOR ENTERING ENCLOSED SPACES ABOARD SHIPS	46
12 DEVELOPMENT OF MODEL PROCEDURES FOR EXECUTING SHIPBOARD EMERGENCY MEASURES	46
13 WORK PROGRAMME AND AGENDA FOR STW 42	47

	Page
14 ELECTION OF CHAIRMAN AND VICE-CHAIRMAN FOR 2011	49
15 ANY OTHER BUSINESS	49
16 REPORT TO THE MARITIME SAFETY COMMITTEE	51

LIST OF ANNEXES

ANNEX 1	DRAFT AMENDMENTS TO THE INTERNATIONAL CONVENTION ON STANDARDS OF TRAINING, CERTIFICATION AND WATCHKEEPING FOR SEAFARERS (STCW), 1978, AS AMENDED
ANNEX 2	DRAFT AMENDMENTS TO PART A OF THE SEAFARERS' TRAINING, CERTIFICATION AND WATCHKEEPING (STCW) CODE
ANNEX 3	DRAFT AMENDMENTS TO PART B OF THE SEAFARERS' TRAINING, CERTIFICATION AND WATCHKEEPING (STCW) CODE
ANNEX 4	DRAFT CONFERENCE RESOLUTIONS
ANNEX 5	DRAFT ASSEMBLY RESOLUTION ON PRINCIPLES OF MINIMUM SAFE MANNING
ANNEX 6	DRAFT AMENDMENTS TO THE INTERNATIONAL CONVENTION FOR THE SAFETY OF LIFE AT SEA, 1974, AS AMENDED (REGULATION V/14)
ANNEX 7	DRAFT BIENNIAL AGENDA AND POST-BIENNIAL AGENDA OF THE SUB-COMMITTEE AND PROVISIONAL AGENDA FOR STW 42
ANNEX 8	STATUS OF PLANNED OUTPUT OF THE HIGH-LEVEL ACTION PLAN OF THE ORGANIZATION AND PRIORITIES FOR THE 2010-2011 BIENNIUM RELEVANT TO THE SUB-COMMITTEE

1 GENERAL

1.1 The Sub-Committee on Standards of Training and Watchkeeping (STW) held its forty-first session from 11 to 15 January 2010 under the chairmanship of Rear Admiral Peter Brady (Jamaica). The Vice-Chairman, Mr. A.H. Kayssi (Lebanon), was also present.

1.2 The session was attended by representatives from the following countries:

ALGERIA	LIBERIA
ANTIGUA AND BARBUDA	LIBYAN ARAB JAMAHIRIYA (THE)
ARGENTINA	LUXEMBOURG
AUSTRALIA	MADAGASCAR
BAHAMAS	MALAWI
BELGIUM	MALAYSIA
BELIZE	MALTA
BOLIVIA (PLURINATIONAL STATE OF)	MARSHALL ISLANDS
BRAZIL	MEXICO
CANADA	MOROCCO
CHILE	NETHERLANDS
CHINA	NIGERIA
COOK ISLANDS	NORWAY
CROATIA	PANAMA
CUBA	PAPUA NEW GUINEA
CYPRUS	PHILIPPINES
DEMOCRATIC PEOPLE'S REPUBLIC OF KOREA	POLAND
DENMARK	PORTUGAL
DOMINICA	QATAR
ECUADOR	REPUBLIC OF KOREA
EGYPT	ROMANIA
ESTONIA	RUSSIAN FEDERATION
FINLAND	SAINT KITTS AND NEVIS
FRANCE	SAUDI ARABIA
GERMANY	SINGAPORE
GREECE	SOUTH AFRICA
ICELAND	SPAIN
INDIA	SURINAME
INDONESIA	SWEDEN
IRAN (ISLAMIC REPUBLIC OF)	SWITZERLAND
IRELAND	THAILAND
ISRAEL	TURKEY
ITALY	TUVALU
JAMAICA	UKRAINE
JAPAN	UNITED KINGDOM
KENYA	UNITED STATES
KUWAIT	URUGUAY
LATVIA	VANUATU
LEBANON	VENEZUELA (BOLIVARIAN REPUBLIC OF)

and the following Associate Members of IMO:

FAROE ISLANDS (DENMARK)
HONG KONG, CHINA

1.3 The following specialized agencies and intergovernmental and non-governmental organizations were also represented:

INTERNATIONAL LABOUR ORGANIZATION (ILO)
EUROPEAN COMMISSION (EC)
LEAGUE OF ARAB STATES
INTERNATIONAL CHAMBER OF SHIPPING (ICS)
INTERNATIONAL MOBILE SATELLITE ORGANIZATION (IMSO)
INTERNATIONAL SHIPPING FEDERATION (ISF)
INTERNATIONAL UNION OF MARINE INSURANCE (IUMI)
INTERNATIONAL TRANSPORT WORKERS' FEDERATION (ITF)
INTERNATIONAL RADIO MARITIME COMMITTEE (CIRM)
BIMCO
INTERNATIONAL ASSOCIATION OF CLASSIFICATION SOCIETIES (IACS)
OIL COMPANIES INTERNATIONAL MARINE FORUM (OCIMF)
INTERNATIONAL MARITIME PILOTS' ASSOCIATION (IMPA)
INTERNATIONAL ASSOCIATION OF DRILLING CONTRACTORS (IADC)
INTERNATIONAL ASSOCIATION OF MARITIME UNIVERSITIES (IAMU)
INTERNATIONAL FEDERATION OF SHIPMASTERS' ASSOCIATIONS (IFSMA)
INTERNATIONAL ASSOCIATION OF INDEPENDENT TANKER OWNERS
(INTERTANKO)
SOCIETY OF INTERNATIONAL GAS TANKER AND TERMINAL OPERATORS
LIMITED (SIGTTO)
CRUISE LINES INTERNATIONAL ASSOCIATION (CLIA)
INTERNATIONAL ASSOCIATION OF DRY CARGO SHIPOWNERS
(INTERCARGO)
INTERNATIONAL MARITIME LECTURERS ASSOCIATION (IMLA)
THE INSTITUTE OF MARINE ENGINEERING, SCIENCE AND TECHNOLOGY
(IMarEST)
INTERNATIONAL SHIP MANAGERS' ASSOCIATION (InterManager)
INTERNATIONAL PARCEL TANKERS ASSOCIATION (IPTA)
THE INTERNATIONAL MARINE CONTRACTORS ASSOCIATION (IMCA)
INTERNATIONAL HARBOUR MASTERS' ASSOCIATION (IHMA)
INTERNATIONAL MARITIME HEALTH ASSOCIATION (IMHA)
GLOBAL MARITIME EDUCATION AND TRAINING ASSOCIATION (GlobalMET)
THE NAUTICAL INSTITUTE (NI)

Secretary-General's opening address

1.4 The Secretary-General welcomed the participants and delivered his opening address, the full text of which is reproduced in document STW 41/INF.2.

Chairman's remarks

1.5 In response, the Chairman thanked the Secretary-General for his words of guidance, encouragement and advice. He further assured the Secretary-General that his advice and requests

on other matters would also be given every consideration in the deliberations of the Sub-Committee and its working groups.

He stressed that the Sub-Committee had before it a demanding and challenging session. In spite of that, and given the successful history of the Sub-Committee in producing sound and robust international legislation and guidance pertinent to training, certification and watchkeeping in an efficient way, he was confident that the same spirit would prevail at this session, at which the comprehensive review of the STCW Convention and Code had to be finalized.

Adoption of the agenda and related matters

1.6 The Sub-Committee adopted the agenda (STW 41/1) and agreed, in general, that the work of the Sub-Committee should be guided by the annotations to the provisional agenda and the timetable (STW 41/1/1), as amended. The agenda of the session, including a list of documents submitted under each agenda item, is given in STW 41/INF.3.

2 DECISIONS OF OTHER IMO BODIES

OUTCOME OF THE EIGHTY-SIXTH SESSION OF THE MARITIME SAFETY COMMITTEE

2.1 The Sub-Committee was informed (STW 41/2) of the decisions and comments pertaining to its work of the eighty-sixth session of the Maritime Safety Committee and took action thereon as under the relevant agenda items.

Communication of information

2.2 The Sub-Committee noted, in particular, that the Committee had received the Secretary-General's report on two STCW Parties pursuant to STCW regulation I/7; had confirmed that the procedures for assessment of information had been followed correctly in respect of those Parties, and had issued MSC/Circ.1163/Rev.4 on Parties to the STCW Convention confirmed by MSC 86 as having demonstrated to be giving "full and complete effect" to the relevant provisions of the STCW Convention, as amended.

2.3 The Committee had also received the Secretary-General's reports on eight STCW Parties pursuant to STCW regulation I/8; had confirmed that the procedures for assessment of information had been followed correctly and had issued MSC/Circ.1164/Rev.6 on Promulgation of information related to reports of independent evaluation submitted by Parties to the International Convention on Standards of Training, Certification and Watchkeeping for Seafarers (STCW), 1978, as amended, confirmed by the Committee to have communicated information which demonstrated that Parties are giving full and complete effect to the relevant provisions of the Convention.

Approval of competent persons

2.4 The Sub-Committee noted that the Committee had approved additional competent persons nominated by Governments, as listed in the annex to MSC/Circ.797/Rev.18.

APPLICATION OF THE COMMITTEE'S GUIDELINES

Guidelines on the application of the Strategic Plan and the High-level Action Plan

2.5 The Sub-Committee further noted that MSC 86 had recalled the agreement of MSC 85 that the sub-committees should focus their deliberations on the technical or operational aspects of the work assigned. Furthermore, the Committee had agreed that the Chairmen's meeting should consider amending the Guidelines on the organization and method of work of the Maritime Safety Committee and the Marine Environment Protection Committee and their subsidiary bodies (MSC-MEPC.1/Circ.2) to address the issue to avoid repetition of similar cases in future and to encourage submitters of new work programme items to submit relevant information and data to support their proposals at the sub-committee level (MSC 85/26, paragraph 23.40).

2.6 MSC 86 has also discussed the draft amendments set out in annex 3 to document MSC 86/WP.11 and remained evenly divided between the option to keep the text of the two new paragraphs 2.12.1 and 2.12.2, as proposed, and the option to introduce a certain degree of flexibility allowing, in certain cases, discussion on the need for the work programme item, and a more stringent guidance on the provision of information by proponent(s) to facilitate the technical work of the subsidiary body.

2.7 The following guiding principles had been highlighted in the course of the discussion to serve as the basis for further consideration of the matter:

- .1 the consideration of the need and compelling need for new work programme items remains entirely with the Committees and should not be reopened by sub-committees, as such;
- .2 the Committees filter the proposals and decide on the inclusion of new items in the work programme and agenda of the sub-committees, without pre-deciding on the outcome of the technical or operational consideration, which may bring the sub-committees to recommend that the work cannot be completed;
- .3 sub-committees should carry out the work on substance and should not deviate from the instructions received from Committees; and
- .4 as much information as possible should be gathered by the proponent(s) when putting forward proposals for new work programme items but it should not be assumed that sufficient information is always available at the time of the proposals.

2.8 Following the above discussion, MSC 86 had agreed to revisit the matter at its next session and invited interested Member Governments to consider how the text of the draft amendments could be improved to address the above views. In this context, the Committee had requested the Secretariat to inform MEPC 59 accordingly.

STATUS OF PLANNED OUTPUTS FOR THE 2008-2009 BIENNIUM AND PROPOSALS FOR THE HIGH-LEVEL ACTION PLAN OF THE ORGANIZATION AND PRIORITIES FOR PLANNED OUTPUTS OF THE COMMITTEES FOR THE 2010-2011 BIENNIUM

2.9 MSC 86 had recalled that, in the context of the requests of the Assembly made in resolution A.989(25) on the Strategic Plan for the Organization (for the six-year period 2008 to 2013) and resolution A.990(25) on the High-level Action Plan of the Organization and priorities for the 2008-2009 biennium, MSC 84 had instructed the Secretariat to submit the information concerning review of progress made in implementing the High-level Action Plan and priorities for the 2008-2009 biennium and prepare proposals for the High-level Action Plan for the 2010-2011 biennium, as may be updated following the outcome of MSC 86, for submission to C 102.

2.10 Having considered document MSC 86/23/5 (Secretariat) on the status of the Committees' planned outputs for the 2008-2009 biennium, in the context of the outputs listed in resolution A.990(25), and recommendations made by the Chairmen's meeting (MSC 86/WP.11), MSC 86 had endorsed the status of the MSC planned outputs for the current biennium, which included updates by the Chairman and the Secretariat, as authorized by the Committee, taking into account the outcome of MSC 86, for submission to C 102.

2.11 MSC 86, having considered document MSC 86/23/16 (Secretariat), proposing modifications to the planned output of the Committees for the 2010-2011 biennium, which took into account the progress made by the sub-committees during the 2008-2009 biennium, and the recommendations made by the Chairmen's meeting (MSC 86/WP.11), had endorsed the proposals for High-level Action Plan of the Organization and priorities for the 2010-2011 biennium, which included updates by the Chairman and the Secretariat, as authorized by the Committee, taking into account the outcome of MSC 86, for submission to C 102, and requested the Secretariat to submit any changes to the annexed proposals emanating from NAV 55 and DSC 14 to CWGSP 9 or C/ES.25, as appropriate.

OUTCOME OF THE FIFTY-NINTH SESSION OF THE MARINE ENVIRONMENT PROTECTION COMMITTEE

2.12 The Sub-Committee was informed (STW 41/2/1) of the decisions and comments pertaining to its work of the fifty-ninth session of the Marine Environment Protection Committee and took action thereon as reported under the relevant agenda items.

DECISIONS OF SUB-COMMITTEES

2.13 The Sub-Committee was also informed (STW 41/2/2) of the decisions and comments pertaining to its work of FP 52, DE 51, NAV 55 and DSC 14 and took action thereon as reported under the relevant agenda items.

OUTCOME OF THE TWENTY-SIXTH SESSION OF THE ASSEMBLY

2.14 The Sub-Committee was informed orally by the Secretariat that the twenty-sixth session of the Assembly had approved:

- .1 the Strategic Plan for the Organization (for the six-year period 2010 to 2015), as set out in resolution A.1011(26);

- .2 the High-level Action Plan of the Organization and priorities for the 2010-2011 biennium, as set out in resolution A.1012(26); and
- .3 the Guidelines on the application of the Strategic Plan and the High-level Action Plan of the Organization, as set out in resolution A.1013(26).

3 VALIDATION OF MODEL TRAINING COURSES

3.1 The Sub-Committee noted the information provided by the Secretariat (STW 41/3) on the status of production of model courses and the progress made with their translation into French and Spanish. According to updated information provided by the Secretariat, 34 model courses had been translated into French and 38 model courses had been translated into Spanish. Of these translated model courses, 31 had been published in French and 34 in Spanish. The rest were in the process of production and would be available shortly. The translation of the other courses was being undertaken in a phased manner as previously reported.

Review of model courses related to the implementation of the STCW Convention and Code

3.2 GlobalMET (STW 41/3/1) reiterated its offer to undertake the review of, and update, the model courses related to the STCW Convention and Code following the completion of the ongoing review in co-operation with International Association of Maritime Institutions, International Association of Maritime Universities, International Maritime Lecturers' Association and International Maritime Simulation Forum. They also proposed a new model course on Leadership and management training for ships' officers.

3.3 The observer from ISF appreciated the continued work done in the production of model courses and in the efforts being made to provide these in the working languages of the Organization. They also appreciated the proposal by GlobalMET to develop model courses on Leadership and management training for ships' officers as this was one of the essential components of the proposed revised STCW Convention. However, they urged caution to put quality control measures into place to ensure that all new courses were properly evaluated and reviewed to accurately reflect the intent of the revised Convention.

3.4 The Sub-Committee appreciated the renewed offer and instructed the Secretariat to liaise with GlobalMET and others, to review and update the STCW model courses in a phased manner, as set out in annex 2 to document STW 40/WP.5, and to submit them in due course to the Sub-Committee for validation.

4 UNLAWFUL PRACTICES ASSOCIATED WITH CERTIFICATES OF COMPETENCY

Reports on fraudulent certificates as reported to the Secretariat

4.1 The Sub-Committee noted the information provided by the Secretariat (STW 41/4 and addenda), detailing fraudulent certificates found on board ships during inspections or reportedly being used, as reported to the Secretariat for the year 2008, and urged Member Governments to report details of fraudulent certificates detected in the revised reporting format (STW 38/17, annex 1).

4.2 The Sub-Committee also noted the oral information provided by the Secretariat that the certification verification facility through the IMO website had been used 13,142 times during the year 2009.

4.3 The delegation of Denmark requested that statistics were also provided by the Secretariat in addition to the information on fraudulent certificates detected to enable the Sub-Committee to determine if any trend could be detected to facilitate any further action that may be considered necessary. Furthermore, the observer from ITF, supported by the delegation of Nigeria, urged Member Governments to prosecute those individuals holding fraudulent certificates which, in their view, would discourage fraudulent practices.

5 TRAINING FOR SEAFARER SAFETY REPRESENTATIVES

5.1 The Sub-Committee recalled that STW 39 had agreed to await the outcome of the Joint MSC/MEPC Working Group on Human Element relating to amendments to the ISM Code before finalizing the training requirements for a ship's seafarer safety representative. In this context, the Sub-Committee noted that MSC 84 had noted that several delegations expressed the view that, although there might be a need for including the requirements for a seafarer safety representative in the ISM Code, they had concerns relating to:

- .1 small ships with small crews;
- .2 ships with multi-ethnic crews;
- .3 training;
- .4 the relationship with the role of shipboard safety officer; and
- .5 the relationship with the master.

Accordingly, MSC 84 had agreed that the proposal should be reconsidered at the next session of the Joint MSC/MEPC Working Group on Human Element.

5.2 The Sub-Committee further recalled that STW 40 had agreed to await the outcome of the Joint MSC/MEPC Working Group on the Human Element scheduled to be convened at MEPC 59 and invited both Committees to note the Sub-Committee's ongoing discussions on the issue with a view to MEPC 59 referring the outcome of the consideration of that group on the matter and its own decision thereon directly to STW 41 to enable the Sub-Committee to consider relevant training requirements for SSR, if required, and extend the target completion date to 2010.

5.3 MEPC 59 decided that there was no need to include the requirements for a seafarer safety representative in the ISM Code and invited Member Governments and international organizations to submit comments and proposals relating to the revision of existing guidelines to include consideration of the seafarer safety representative to the next session of the group, scheduled to be convened during MSC 87. In the context of training for the SSR, MEPC 59 noted STW 40's ongoing discussions regarding training for a seafarers' safety representative (SSR). After an in-depth discussion, MEPC 59 agreed to develop guidance to address the training requirements for the SSR and disseminate it by means of an MSC-MEPC.7 circular to be finalized by the Joint MSC/MEPC Working Group on the Human Element, subject to the concurrent decision of MSC 87. Accordingly, MEPC 59 instructed the Sub-Committee not to consider this issue further.

5.4 In light of the instructions of MEPC 59, the Sub-Committee noted that there was no need for further action by the Sub-Committee and invited the Committee to delete this item from the work programme (see paragraph 13.3.2.2).

6 CASUALTY ANALYSIS

6.1 The Sub-Committee recalled that MSC 77 (MSC 77/26, paragraph 18.10) had decided that the item on “Casualty analysis” should remain on the work programme of the sub-committees. This decision was reaffirmed by MSC 78 (MSC 78/26, paragraph 24.8).

6.2 The Sub-Committee (STW 41/6) noted that MSC 86, having considered the recommendations of FSI 17 based on its review of the investigation report on the fire on the fishing factory vessel **Hercules**, agreed to refer the report to this session for consideration.

6.3 The delegation of the Faroe Islands informed the Sub-Committee that the causes of the accidents were due to electric lamp fixtures of poor quality that got overheated as a consequence of their design which ignited large amounts of combustible cardboard stored on board for packaging purposes. Furthermore, the report had also highlighted the fact that, if a compressor for refilling air bottles had been carried on board **Hercules**, some lives might have been saved. The need for a common working language to ensure effective communication on board was also highlighted. Subsequently MSC 86, on submissions by Denmark and the Faroe Islands, had included new items on “Means for recharging air bottles for air breathing apparatus” and “General requirements on electrical installations” on the work programmes of the FP and DE Sub-Committees.

6.4 The delegation of Denmark, referring to the Secretary-General’s opening remarks and supported by the delegation of Spain, highlighted the need for Member Governments to ratify the Torremolinos Protocol and the STCW-F Convention which, in their opinion, would contribute to the enhancement of the safety of the personnel and vessels engaged in the fishing industry. They also highlighted the fact that, should a Convention not enter into force within a reasonable time, it could then be outdated.

6.5 In this context, the Sub-Committee noted that the reported global loss of some 24,000 fishermen every year continued to be a cause of concern and that the entry into force of the **Torremolinos Protocol** and the **STCW-F Convention** would be helpful in this respect. Accordingly, the Sub-Committee urged Member Governments that have not yet done so to ratify these instruments at the earliest possible time.

7 COMPREHENSIVE REVIEW OF THE STCW CONVENTION AND THE STCW CODE

7.1 GENERAL

7.1.1 The Sub-Committee recalled that:

- .1 MSC 81, following the invitation of STW 37, included a high-priority item on “Comprehensive review of the STCW Convention and the STCW Code”, with a target completion date of 2008, instructing the Sub-Committee to define, as a first step, the issues to be reviewed and to advise the Committee accordingly, before embarking on the actual work, for the Committee to endorse the scope of the review of the instruments; and, as a second step, following the Committee’s

endorsement, the Sub-Committee would undertake the authorized review in a systematic and organized manner; and

- .2 MSC 83 approved the list of areas in the STCW Convention and the STCW Code that STW 38 had identified for the comprehensive review, and instructed the Sub-Committee to undertake the proposed review accordingly in a systematic and organized manner and extended the target completion date to 2010.

7.1.2 The Sub-Committee further recalled that MSC 86 had:

- .1 approved the convening of an *ad hoc* intersessional meeting of the STW Working Group on the Comprehensive review of the STCW Convention and Code from 7 to 11 September 2009 in accordance with the terms of reference, as set out in annex 4 to document STW 40/14;
- .2 approved, in principle, the preliminary draft revised text of the STCW Convention and Code, as set out in annexes 1 to 3 to document STW 40/14, developed by the Sub-Committee, and authorized STW 41 to finalize the draft revised text of amendments with a view to their circulation by the Secretary-General for consideration by the Diplomatic Conference;
- .3 having noted the consultations of the Secretary-General with the Director-General of ILO and the latter's concurrence thereof, requested the Secretary-General to take appropriate action to convene the Diplomatic Conference in the Philippines in June 2010 to adopt the amendments to the STCW Convention and Code, pending decisions by the Council and Assembly on the budget for the biennium 2010-2011; and
- .4 requested the Secretary-General to circulate the text of the proposed amendments, finalized by STW 41, to the conference for consideration with a view to adoption and to issue, at the appropriate time, a note verbale inviting representation at the conference, and all other relevant documentation.

7.1.3 In this context, the Sub-Committee noted that the Secretariat had issued the notes verbales inviting representation at the Conference of Parties to the International Convention on Standards of Training, Certification and Watchkeeping (STCW), 1978 scheduled to be held in Manila, The Philippines, from 21 to 25 June 2010.

Report of the second *Ad hoc* Intersessional meeting of the STW Working Group on the comprehensive review of the STCW Convention and Code

7.1.4 The Sub-Committee approved the report of the second *Ad hoc* Intersessional meeting of the STW Working Group (ISWG 2) on the comprehensive review of the STCW Convention and Code (STW 41/7/1) in general and, in particular:

- .1 noted that the Group had agreed the draft amended text of chapters I, II, III, V, VI, VII and VIII of the STCW Convention and Code should be submitted for further consideration under the corresponding sub-item of the agenda (paragraph 9.1);

- .2 approved the terms of reference for the working and drafting groups to be established at this session, as amended by document STW 41/1/2, after taking into account the progress of work relating to the ongoing comprehensive review; and
- .3 agreed that the plenary should only consider issues which require a decision in principle, so that the working groups could start their work using the draft amended text prepared by ISWG 2, so as to provide them maximum working time.

Establishment of the working and drafting groups

7.1.5 The Sub-Committee formally established Working Group 1 (WG 1) to consider the comprehensive review of chapters I and III of the STCW Convention and the STCW Code under the chairmanship of Ms. Mayte Medina (United States) with the following amended terms of reference (STW 41/1/2, annex):

Taking into account the comments and decisions made in the plenary, in particular on issues of principle, the Working Group should consider relevant proposals in documents submitted under agenda items 7.1 and 7.3 referred to it by the plenary and:

- .1 review the amended draft text of chapters I and III of the STCW Convention and part A and part B of the STCW Code, as prepared by the second *Ad hoc* intersessional STW Working Group on the comprehensive review of the STCW Convention and Code and finalize the text;

and submit its report to the plenary on Thursday, 14 January 2010.

7.1.6 The Sub-Committee formally established Working Group 2 (WG 2) to consider the comprehensive review of chapters V and VI under the chairmanship of Capt. M.A. Shahba (Islamic Republic of Iran) with the following terms of reference (STW 41/1/2, annex):

Taking into account the comments and decisions made in the plenary, in particular on issues of principle, the Working Group should consider relevant proposals in documents submitted under agenda items 7.5 and 7.6 referred to it by the plenary and:

- .1 review the draft amended text of chapters V and VI of the STCW Convention and part A and part B of the STCW Code, as prepared by the second *Ad hoc* intersessional STW Working Group on the comprehensive review of the STCW Convention and Code and finalize the text;

and submit its report to the plenary on Thursday, 14 January 2010.

7.1.7 The Sub-Committee formally established Drafting Group 1 (DG 1) to consider the comprehensive review of chapter II and draft Conference resolutions under the chairmanship of Mr. A.H. Kayssi (Lebanon) with the following terms of reference (STW 41/1/2, annex):

Taking into account the comments and decisions made in the plenary, the Drafting Group should consider relevant proposals in documents referred to it by the plenary submitted under agenda item 7 relating to draft Conference resolutions and agenda item 7.2:

- .1 review the draft amended text of chapter II of the STCW Convention and part A and part B of the STCW Code, as prepared by the second *Ad hoc* intersessional STW Working Group on the comprehensive review of the STCW Convention and Code and finalize the text;
- .2 review the draft Conference resolutions submitted to this session and finalize the text with a view to submission to the Conference for adoption;

and submit its report to the plenary on Thursday, 14 January 2010.

7.1.8 The Sub-Committee formally established Drafting Group 2 (DG 2) to consider the comprehensive review of chapters IV, VII and VIII under the chairmanship of Mr. S. Hassing (Netherlands) with the following terms of reference (STW 41/1/2, annex):

Taking into account the comments and decisions made in the plenary, the Drafting Group should consider relevant proposals in documents referred to it by the plenary submitted under agenda items 7.4, 7.7 and 7.8:

- .1 review the preliminary revised draft text of chapter IV of the STCW Convention, part A and part B of the STCW Code, as prepared by STW 40 and finalize the text;
- .2 review the draft amended text of chapters VII and VIII of the STCW Convention and part A and part B of the STCW Code, as prepared by the second *Ad hoc* intersessional STW Working Group on the comprehensive review of the STCW Convention and Code and finalize the text;

and submit its report to the plenary on Thursday, 14 January 2010.

7.1.9 Before releasing the working groups, the Sub-Committee considered those proposals which needed a decision in principle before referring them to the relevant working group, as set out in the ensuing paragraphs. All those proposals which did not require a decision in principle were referred directly to the relevant working group.

7.2 CHAPTER I – GENERAL PROVISIONS

Regulation I/1 (Definitions and clarifications)

7.2.1 The Sub-Committee agreed that this regulation should be considered after the completion of the review so that all the definitions identified could be considered together.

Regulation I/2 (Certificates and endorsements)

7.2.2 The Sub-Committee recalled that paragraphs 6, 12 and 12.1 to 12.4 in regulation I/2, paragraphs 8, 9 and 9.4, and table A-I/2 in section A-I/2 and paragraphs 5, 5.9 and 5.11 in section B-I/2 contained square brackets.

Regulation I/2

7.2.3 The Sub-Committee considered the text in square brackets in paragraph 6. In this context, the delegation of the Islamic Republic of Iran, supported by others, expressed the opinion to retain the original text and to use the term “ensuring” instead of the term “verifying”.

7.2.4 The delegation of India, supported by others, supported the use of the term “certificate of competency” instead of the original text.

7.2.5 The delegation of Singapore expressed the opinion that the term “ensure” would result in a more onerous obligation than the term “verify” although the intentions may appear similar. Furthermore, the term “verify” meant “to make a formal affirmation” and would be more pragmatic for Administrations. In their view the use of the term “ensure” would impose very onerous obligations which could delay the process of recognition of certificates issued by any country and impose hardship on the shipping community.

7.2.6 After some discussion, the Sub-Committee agreed to the use of the terms “certificate of competency” and “ensuring” and to delete the terms “certificate” and “verifying”.

7.2.7 With respect to the text in square brackets in paragraph 12, the Sub-Committee agreed to address it when considering regulation I/9 (see paragraph 7.2.58).

Document STW 41/7/37

7.2.8 The Philippines (STW 41/7/37 (part)) proposed amendments to paragraph 13 requiring Parties to maintain electronic databases of all certificates and endorsements issued by them to eliminate delays relating to verification of the authenticity and validity of certificates.

7.2.9 The delegation of the Bahamas, while supporting the proposal in principle, expressed the opinion that the proposed database did not need to be in electronic format.

7.2.10 The delegation of Dominica, supported by others, supported the proposal because not all Administrations were prompt in responding to requests for verification of authenticity.

7.2.11 The delegation of Belgium, supported by Denmark, expressed the opinion that the access to the proposed database should be limited to ensure that the individual rights were protected.

7.2.12 The delegation of the Netherlands, supported by others, expressed the opinion that the database should be limited to only those certificates which required to be endorsed for recognition.

7.2.13 After some discussion, the Sub-Committee agreed to refer this proposal to WG 2 for detailed consideration but limited to certificates which require endorsement for recognition, with a view to finalize the text, taking into account comments and decisions in plenary.

Document STW 41/7/47 (part)

7.2.14 Austria *et al.* (STW 41/7/47 (part)) proposed amendments to paragraph 6 in order to ensure the involvement of the Administration at the time of issuance for tanker certificates and that such certificates are recognized by endorsement.

7.2.15 After a brief discussion, the Sub-Committee agreed to refer the proposal to WG 2 for detailed consideration with a view to finalize the text, taking into account comments and decisions in plenary.

Section A-I/2

7.2.16 The Sub-Committee considered the text in square brackets in paragraphs 8, 9 and 9.4 and agreed to retain the text and delete the square brackets.

7.2.17 The Philippines (STW 41/7/35) proposed amended table A-I/2 and a format for the certificate of proficiency.

7.2.18 Consequent to a corresponding proposal under regulation I/2, the Philippines (STW 41/7/37 (part)) proposed amendments to paragraph 7 relating to the level of access to be provided to Administrations and companies to verify the authenticity and validity of certificates.

7.2.19 Australia (STW 41/7/54) proposed an amended table A-I/2.

7.2.20 The Sub-Committee, noting that these proposals did not require any decision in principle, referred them to WG 1 for consideration in detail with a view to finalizing the text.

Section B-I/2

7.2.21 The Sub-Committee considered the text in square brackets in paragraphs 5, 5.9 and 5.11 and after a brief discussion agreed to:

- .1 delete the text and square brackets in paragraph 5; and
- .2 delete the square brackets and retain the text in paragraphs 5.9 and 5.11.

Regulation I/3 (Principles governing near-coastal voyages)

7.2.22 The Sub-Committee recalled that there were no square brackets in this regulation and the associated parts of the STCW Code and noted that no further proposals had been submitted for this regulation to the current session.

Regulation I/4 (Control procedures)

Regulation I/4

7.2.23 The Sub-Committee considered the text in square brackets in paragraph 2.1 and agreed to delete the first set of square brackets together with the text and the second set of square brackets while retaining that text.

Section A-I/4

7.2.24 The Philippines (STW 41/7/36) proposed amendments to the proposed paragraph 6 to provide clarifications to port State control authorities and Administrations.

7.2.25 The Sub-Committee, noting that this proposal did not require any decision in principle, referred it to WG 1 for detailed consideration with a view to finalize the text.

Linkages between chapters II and VI and basic safety training requirements for deck officers – Section B-I/4

7.2.26 Consequent to their corresponding proposals under chapters II, III and VI, the Islamic Republic of Iran (STW 41/7/21 (part)) proposed amendments to section B-I/4 in order to clarify the linkage between chapters II and VI.

7.2.27 After a brief discussion, the Sub-Committee agreed that there was a need to include a new competence in tables A-II/1, A-II/3 and A-III/1 to address basic safety training. However, it did not agree to the deletion of the draft text in paragraph 2.6 of regulation II/1, paragraphs 4.5 and 6.4 of regulation II/3 and paragraph 2.5 of regulation III/1 to address linkages between chapters II and III, and chapter VI. Furthermore, it also did not agree to the proposed amendments to section B-I/4.

Regulation I/5 (National provisions)

7.2.28 The Sub-Committee considered the text in square brackets in paragraph 4.2 and agreed to delete the first set of square brackets together with the text and the second set of square brackets while retaining that text.

7.2.29 The Sub-Committee noted that no further proposals had been submitted for this regulation to the current session.

Regulation I/6 (Training and assessment)

7.2.30 The Sub-Committee recalled that there were no square brackets in this regulation and the associated parts of the STCW Code and noted that no further proposals had been submitted for this regulation to the current session.

Regulation I/7 (Communication of information)

Text in square brackets

7.2.31 The Sub-Committee recalled that paragraphs 4, 6.5 and 12.1 of section A-I/7 contained square brackets and agreed to delete the square brackets together with the text in paragraph 6.5 and the square brackets in paragraph 12.1 of section A-I/7 while retaining the text.

7.2.32 The Sub-Committee further recalled that ISWG 2 had instructed the Secretariat to evaluate the consequences and the implications for the Organization in case the text of paragraph 4, presently in square brackets ([The report is made available by the Organization to the Parties upon request.]), was included in the revised text and submit it to STW 41.

7.2.33 The Secretariat (STW 41/7/18) provided its evaluation of the consequences and the implications for the Organization in case the reports of independent evaluation submitted by STCW Parties were to be provided to other STCW Parties on request.

7.2.34 The delegation of Spain, supported by others, expressed the opinion that, in the interest of transparency and to improve the supervision of the system, it was necessary to make the reports available to Parties on request.

7.2.35 The delegation of the Islamic Republic of Iran, supported by others, expressed the opinion that, in case the report was made available to Parties, it could lead to duplication of efforts and may result in two parallel systems in place.

7.2.36 After an in-depth discussion, the Sub-Committee, recognizing that the divergence of opinions could not be resolved at this stage, agreed to retain the proposal in square brackets for a decision by the Conference.

Document STW 41/7/45

7.2.37 Austria *et al.* (STW 41/7/45) proposed amendments to paragraph 3 of regulation I/7 to further specify the action that the Maritime Safety Committee should take, following receipt of the report by the Secretary-General.

7.2.38 The delegation of the United States, supported by others, expressed the view that there was no need for the proposed amendments as the procedural issue had been discussed in detail and resolved at STW 34.

7.2.39 The delegation of Germany, supported by others, expressed the opinion that the proposed amendments were necessary to ensure full compliance by all Parties with the relevant provisions of the STCW Convention and Code.

7.2.40 After an in-depth discussion and an indicative vote, the Sub-Committee agreed to the proposal and referred it to WG 1 for detailed consideration with a view to finalize the text, taking into account comments and decisions in plenary.

Document STW 41/7/53

7.2.41 The Islamic Republic of Iran (STW 41/7/53) proposed amendments to section A-I/7 in order to encompass the requirements emanating from the new paragraph 3.1 of section A-I/8.

7.2.42 The delegation of the United States, supported by others, expressed the view that there was a need to include the principles of section A-I/8 in section A-I/7.

7.2.43 The delegation of Canada, supported by others, expressed the view that there was a need to provide instructions to the panel of competent persons to ensure that “the actions being taken to correct any noted non-conformities are timely and appropriate” and that appropriate guidance should be developed.

7.2.44 After a brief discussion, the Sub-Committee agreed to refer the proposal to WG 1 for detailed consideration with a view to finalize the text, taking into account comments and decisions in plenary.

Regulation I/8 (Quality standards)

7.2.45 The Sub-Committee recalled that there were no square brackets in this regulation and the associated parts of the STCW Code and noted that no further proposals had been submitted for this regulation to the current session.

Regulation I/9 (Medical standards)

7.2.46 The Sub-Committee recalled that this regulation together with the associated parts of the STCW Code contained a number of square brackets which could be considered by WG 1, taking into account the comments and decision in plenary and proposals submitted for this regulation to the current session.

Document STW 41/7/32

7.2.47 Australia (STW 41/7/32) proposed amended text for section B-I/9.

7.2.48 After a brief discussion, the Sub-Committee referred this proposal to WG 2 for detailed consideration with a view to finalize the text, taking into account comments and decisions in plenary.

Document STW 41/7/43

7.2.49 ISF and ITF (STW 41/7/43) proposed that the revised tables for assessment of minimum entry levels in service eyesight standards and physical abilities, as specified in STW 41/7/2, should be included as guidance in section B-I/9 and that new generic standards, as set out in the annex to document STW 41/7/43, should be included in section A-I/9.

7.2.50 The delegations of India, the Philippines, South Africa and Singapore along with the observer from CLIA supported the proposal.

7.2.51 The delegation of Germany, supported by others, expressed the opinion that there was a clear need for specific mandatory medical standards in order to recognize medical certificates issued by other countries.

7.2.52 After an in-depth discussion, the Sub-Committee did not agree with the proposal.

Document STW 41/7/46

7.2.53 Austria *et al.* (STW 41/7/46) proposed amendments to section A-I/9, table A-I/9-1 and section B-I/9 of the STCW Code relating to medical standards.

7.2.54 The delegation of the United States, supported by others, expressed the view that there was a need to include in section A-I/9:

- .1 a grandfather clause applicable to serving seafarers; and
- .2 discretion for medical practitioners when applying the standards.

7.2.55 The delegation of Japan expressed the view that the colour vision standards developed by C.I.E. should be used.

7.2.56 The delegation of the Islamic Republic of Iran expressed the view that colour vision standards should be adopted for both deck and engineer officers.

7.2.57 The observer from IMHA informed the Sub-Committee that various colour vision testing methods were available and advised that functional requirements should be considered when finalizing the eyesight standards.

Text in square brackets in regulation I/9

7.2.58 With reference to the text in square brackets in paragraph 12 of the regulation, the Sub-Committee recalled that it had agreed to consider it after discussing regulation I/9. In this context, the Sub-Committee agreed to delete the square brackets and retain the text (see paragraph 7.2.7).

7.2.59 After an in-depth discussion, the Sub-Committee referred this proposal to WG 1 to finalize the text, taking into account comments and decisions in plenary.

Regulation I/10 (Recognition of certificates)

7.2.60 The Sub-Committee recalled that there were no square brackets in this regulation and the associated parts of the STCW Code.

7.2.61 Panama (STW 41/7/28), commenting on the proposed text of this regulation relating to recognition of certificates, recommended that the original text without the proposed amendments should be retained.

7.2.62 The Sub-Committee, noting that this proposal did not require any decision in principle, referred it to WG 1 for detailed consideration with a view to finalizing the text.

Regulation I/11 (Revalidation of certificates)

7.2.63 The Sub-Committee recalled that this regulation together with the associated parts of the STCW Code contained a number of square brackets and agreed that these would be considered by WG 1, taking into account the comments and decision in plenary and proposal submitted for this regulation to the current session.

7.2.64 The Islamic Republic of Iran proposed amendments to:

- .1 regulation I/11 to clarify the intent of paragraph 2 and avoid problems of different interpretations (STW 41/7/19 (part)); and
- .2 sections A-I/11 and B-I/11 of the STCW Code in order to redress the duplication of three months' seagoing service option for establishing continued professional competence (STW 41/7/14).

7.2.65 The proposal set out in document STW 41/7/14 was supported by the delegations of the United States and the Bahamas. In this context, the delegation of Denmark, supported by others, expressed the opinion that there was no duplication, nor had there been any problems experienced in this respect and therefore they could not support the proposal.

7.2.66 With reference to the proposal set out in document STW 41/7/19 (part), the delegation of Spain, supported by others, expressed the opinion that there were no inconsistencies, nor had there been a problem with different interpretations.

7.2.67 After a brief discussion, the Sub-Committee did not agree with these proposals.

Maintaining professional competence

7.2.68 The Islamic Republic of Iran (STW 41/7/22 (part)) proposed amendments to regulation I/11 of the STCW Convention in order to ensure that professional competence in areas of chapter VI of the STCW Code, where training cannot be conducted on board, was maintained.

7.2.69 The delegation of the United States, while supporting the proposal in principle, did not agree that masters and chief engineers should not be exempted from these proposed provisions.

7.2.70 After a brief discussion, the Sub-Committee agreed to refer this proposal to WG 1 to finalize the text, taking into account comments and decision in plenary.

Regulation I/12 (Use of simulators)

7.2.71 The Sub-Committee recalled that paragraphs 48.3, 53.2 and the footnotes of paragraphs 68 and 72 of section B-I/12 contained square brackets and agreed to delete the square brackets in paragraph 48.3 and retain the text as a footnote.

7.2.72 Furthermore the Sub-Committee, noting that as performance standards adopted by the Organization were being published in IMO Publication *Performance Standards for Shipborne radiocommunications and navigational equipment*, agreed to replace details of performance standards in the footnote to paragraphs 53.2, 68 and 72 with the following text:

“See relevant/appropriate performance standards adopted by the Organization and set out in IMO publication *Performance Standards for Shipborne radiocommunications and navigational equipment*.”

7.2.73 The Sub-Committee noted that no further proposals had been submitted for this regulation to the current session.

Regulation I/13 (Conduct of trials)

7.2.74 The Sub-Committee recalled that there were no square brackets in this regulation and the associated parts of the STCW Code and noted that no further proposals had been submitted for this regulation to the current session.

Regulation I/14 (Responsibilities of companies)

7.2.75 IMLA (STW 41/7/51) proposed amendment to paragraph 1.7 of regulation I/14 relating to enhancing reliable communication on board.

7.2.76 The Sub-Committee, noting that this proposal did not require any decision in principle, referred it to WG 1 for detailed consideration with a view to finalizing the text.

7.2.77 The observer from CLIA recalled that the training requirements for officers on passenger ships and ro-ro passenger ships had been harmonized. Accordingly, there was a need to revisit the requirements set out in section A-I/14 to ensure that officers on passenger ships were not required to meet the training requirements set out in paragraph 3 of section A-V/2. In this context, the Sub-Committee instructed WG 1 to consider this issue while finalizing the text.

Regulation I/15 (Transitional provisions)

7.2.78 The Sub-Committee recalled that the entire text of this regulation had been placed in square brackets pending the completion of the review process.

7.2.79 The United States (STW 41/7/26) proposed amendments to regulation I/15 of the STCW Convention to provide the transitional provisions for implementation of the 2010 amendments to the STCW Convention and Code.

7.2.80 After a brief discussion, the Sub-Committee referred the proposal to WG 1 to finalize the text, taking into account comments and decision in plenary.

Regulation I/1 (Definitions and clarifications)

7.2.81 The Sub-Committee recalled that paragraphs 1.11, 1.14, 1.27, 1.27-1, 1.29 to 1.40, 1.42 and 4 of regulation I/1 and paragraph 1.5 of section A-I/1 contained square brackets and agreed that, since these did not require a decision in principle, WG 1 could consider them and finalize the text, taking into account decisions in plenary, in particular those relating to certificates issued in accordance with provisions of chapters V and VI.

7.2.82 The Islamic Republic of Iran (STW 41/7/19 (part)) proposed an amendment to definition of the term “Seagoing service”. In this context, the Sub-Committee, noting that this proposal did not require any decision in principle, referred it to WG 1 for detailed consideration with a view to finalizing the text.

7.2.83 Austria *et al.* (STW 41/7/47 (part)) proposed amendments to new paragraph 4 of regulation I/1 to ensure that certificates, in accordance with the provisions of regulations V/1-1 and V/1-2 to masters and officers, were only issued by Administrations.

7.2.84 The Sub-Committee recalled that the Islamic Republic of Iran (STW 40/7/30 (part)) had proposed a new definition of the term “GMDSS radio operator” which would need to be considered by WG 1 at the current session.

7.2.85 After a brief discussion, the Sub-Committee referred these proposals to WG 1 to finalize the text, taking into account comments and decision in plenary.

Instructions to the working group

7.2.86 In light of the foregoing, the Sub-Committee instructed WG 1 to finalize the text of chapter I of the STCW Convention and Code, taking into account comments and decisions in plenary.

7.3 CHAPTER II – MASTER AND DECK DEPARTMENT

7.3.1 The Sub-Committee noted the draft amended text of chapter II (STW 41/7/3), as prepared by ISWG 2.

Text in square brackets

7.3.2 The Sub-Committee recalled that paragraph 1 of regulation II/1, paragraphs 1 and 3 of regulation II/2, paragraphs 1, 2, 3 and 5 of regulation II/3, paragraphs 3, 4 and 5 of regulation II/5, paragraphs 1.2 and 1.3 of section A-II/1 and paragraphs 1.2, 1.3 and 4 of section II/3 contained square brackets.

7.3.3 In this context, the Sub-Committee agreed that, consequent to a corresponding decision under chapter III, in:

- .1 regulations II/1, II/2, II/3 and paragraphs 1.2 and 1.3 of sections A-II/1 and II/3 to delete “an appropriate certificate” along with the square brackets and retain “certificate of competency” and delete the square brackets around it;
- .2 paragraphs 1.2 and 1.3 of sections A-II/1 and II/3 to delete “certificate of competency” along with the square brackets and retain “an appropriate certificate” and delete the square brackets around it;
- .3 regulation II/5 to replace the text in square brackets in paragraphs 3 and 4 with “date of entry into force” and in paragraph 5 with “five years from the date of entry into force” and that the actual dates will be entered after the Conference has decided on the date of entry into force; and
- .4 paragraph 4 of section A-II/3 to delete the square brackets and retain the text.

Review of SOLAS regulation V/19.2.2.2 relating to carriage of daylight signalling lamp and annex 4 of COLREGs and appendix 1 of the International Code of Signals, and Correct generic term to replace the terms “Decca” and “Loran”

7.3.4 The Sub-Committee recalled that the advice from NAV 55 relating to:

- .1 carriage of daylight signalling lamp and annex 4 of COLREGs and appendix 1 of the International Code of Signals; and
- .2 correct generic term to replace the terms “Decca” and “Loran”

had already been addressed by ISWG 2.

Leadership and managerial skills

7.3.5 ISF and ICS (STW 41/7/13) proposed to amend tables A-II/1 and A-II/2 of chapter II of the STCW Code to include elements relating to leadership and managerial skills, situational awareness and decision-making.

7.3.6 After a brief discussion, the Sub-Committee agreed with the proposal and referred it to DG 1 to finalize the text.

Duplication of requirements in chapters II and V

7.3.7 The Islamic Republic of Iran (STW 41/7/16) proposed amendments to tables A-II/1 and A-II/2 of the STCW Code in order to redress the duplication of requirements in the mentioned tables and chapter V of the STCW Convention and Code in respect of passenger and tanker cargo operations' training.

7.3.8 After a brief discussion, the Sub-Committee did not agree with the proposal.

Linkages between chapters II and VI and basic safety training requirements for deck officers

7.3.9 The Islamic Republic of Iran (STW 41/7/21) proposed amendments to regulations II/1 and II/3, tables A-II/1 and A-II/3 in order to resolve the inconsistency between the mentioned regulations and tables and sections B-I/4, B-VI/1, B-VI/2, B-VI/3 and B-VI/4 and to address the linkage between chapters II and VI. They also proposed similar consequential amendments to chapter III. In this context, the Sub-Committee recalled that it had also considered this issue under regulation I/4 in chapter I.

7.3.10 The Sub-Committee recalled that, when considering chapter I, it had agreed that there was a need to include a new competence in tables A-II/1, A-II/3 and A-III/1 to address basic safety training. However, it had not agreed to the deletion of the draft text in paragraph 2.6 of regulation II/1, paragraphs 4.5 and 6.4 of regulation II/3 and paragraph 2.5 of regulation III/1 to address linkages between chapters II and III, and chapter VI. The Sub-Committee had instructed DG 1 to finalize the text accordingly (see paragraph 7.2.27).

7.3.11 After some discussion, the Sub-Committee referred the proposals to DG 1 to finalize the text of chapter II of the STCW Convention and Code, taking into account comments and decisions in plenary.

7.3.12 The delegation of Australia requested the Sub-Committee to consider harmonizing terminology for nautical charts and publication as used in the SOLAS Convention. The Sub-Committee agreed to harmonize the terminology in chapters I, II and VII and instructed WG 1, DG 1 and DG 2 accordingly.

Instructions to the drafting group

7.3.13 In light of the foregoing, the Sub-Committee instructed DG 2 to finalize the text of chapter II of the STCW Convention and Code, taking into account comments and decisions in plenary.

7.4 CHAPTER III – ENGINE DEPARTMENT

7.4.1 The Sub-Committee noted the draft amended text of chapter III (STW 41/7/4), as prepared by ISWG 2.

Text in square brackets

7.4.2 The Sub-Committee recalled that paragraphs 1 and 2.3 of regulation III/1, paragraph 1 of regulations III/2 and III/3, paragraph 3 of regulation III/5, paragraphs 1 and 3 of regulation III/6,

all of regulation III/7 and sections A-III/7 and B-III/7 and paragraph 3 of regulation III/8 contained square brackets.

7.4.3 In this context, the Sub-Committee agreed that, with reference to square brackets in:

- .1 paragraph 1 of regulations III/1, III/2, III/3 and III/6 to delete the term “an appropriate certificate” along with the square brackets and retain the term “certificate of competency” and delete the square brackets around it;
- .2 paragraph 3 of regulations III/5, III/6 and III/8 to replace the text in square brackets with “date of entry into force” for the actual dates to be entered after the Conference has decided on the date of entry into force; and
- .3 paragraph 2.3 of regulation III/1 to delete the term “officer” along with the square brackets and replace the term “engineer” with “engineer officer”, and delete the square brackets around it,

and to consider the full text of regulation III/7 and sections A-III/7 and B-III/7 in detail in plenary for a decision.

Section A-III/1

7.4.4 The Islamic Republic of Iran (STW 41/7/15) proposed amendments to the text of section A-III/1 in order to address the inconsistency between section A-III/1 and sections A-III/2 and A-III/3 in respect of the certification requirements for different types of propulsion machinery.

7.4.5 The Sub-Committee, noting that this proposal did not require any decision in principle, referred it to WG 1 for detailed consideration with a view to finalizing the text.

Consideration of changes to the propulsion power limitations for the near-coastal provisions

7.4.6 India *et al.* (STW 41/7/41) proposed increasing the propulsion power threshold for near-coastal voyages to 6000 kW. Additionally, they also proposed changes to near-coastal provisions of section A-III/1 to harmonize it with A-III/2.

7.4.7 In this context, the Sub-Committee recalled that this issue had been discussed at STW 40 and ISWG 2 when it had been agreed to retain the existing power limitations in sections A-III/1 and A-III/2.

7.4.8 After some discussion, the Sub-Committee did not agree with this proposal.

Emerging and contemporary technologies – Tables A-III/1 and A-III/2

7.4.9 Consequent to their proposals to STW 40 and ISWG 2, Japan *et al.* (STW 41/7/17) proposed revised amendments to tables A-III/1 and A-III/2 of the STCW Code in order to meet contemporary technologies and with improved texts of the tables and consequential deletion of paragraph 1 of section B-III/1.

7.4.10 After a brief discussion, the Sub-Committee referred the proposal to WG 1 for detailed consideration, after all other issues had been considered and if there was sufficient time to do so.

Teamwork and resource management

7.4.11 ICS and ISF (STW 41/7/31) proposed amendments to tables A-III/I and A-III/2 of chapter III of the STCW Code relating to teamwork and resource management.

7.4.12 The Sub-Committee, noting that this proposal did not require any decision in principle, referred it to WG 1 for detailed consideration with a view to finalizing the text.

Electro-technical officers (ETOs)

Regulation III/6

7.4.13 ISF, ITF and BIMCO (STW 41/7/44) proposed a new paragraph 5 to ensure that the current and well-established practice of employing electrical officers or utilizing engineer officers for certain electrical duties on board was not affected in the future by the provisions of the newly proposed non-mandatory certification of “Electro-technical Officer”.

7.4.14 The delegation of the Bahamas, supported by others, expressed the view that:

- .1 there was a need to provide flexibility, since not all ships may require a fully qualified ETO;
- .2 larger ships with complex machinery would require fully qualified ETOs; and
- .3 care should be taken to ensure that, while providing the flexibility, the competence standards were maintained.

In this context, they supported the proposal.

7.4.15 The delegation of the Russian Federation, supported by the delegation of the Islamic Republic of Iran, questioned the intent of the proposal and expressed the view that this issue should be considered very carefully by the working group.

7.4.16 After some discussion, the Sub-Committee referred the proposal to WG 1 to finalize the text.

Regulation III/7

7.4.17 The Sub-Committee recalled that, after an in-depth discussion, ISWG 2 had agreed that:

- .1 there was a need for two levels of training, i.e. support and operational; and
- .2 the proposed training of ETOs at management level developed by the last intersessional meeting should be retained in square brackets for further consideration and decision at STW 41.

Accordingly, ISWG 2 had only finalized the training and certification requirements for support and operational levels.

7.4.18 The delegation of Norway, supported by others, expressed the view that there should only be two levels of training, i.e. support and operational.

7.4.19 The delegation of China, supported by others, expressed the view that there should be three levels of training, i.e. support, operational and management. This, in their view, would provide for a career path for those entering as ETOs, as well as provide an incentive to attract new entrants to the profession.

7.4.20 A number of delegations expressed the view that, in case only two levels of training were accepted, some competences from the proposed management level training should be transferred to the operational level.

7.4.21 After detailed discussion, the Sub-Committee agreed that there was no need for training for ETOs at the management level and that some competences from the proposed management level should be transferred to the operational level. The Sub-Committee instructed WG 1 accordingly.

Regulation III/8

7.4.22 The Islamic Republic of Iran (STW 41/7/23) commented on the proposed new regulation III/8 and section A-III/8 in respect of the training and certification requirements for Able seafarer electro-engineering.

7.4.23 The delegation of India, supported by others, expressed the view that, since ETOs at support level could come from different sources, they agreed with the proposal.

7.4.24 The delegation of Germany agreed that there was a need to change the title of proposed regulation III/8 as well as to delete the mandatory requirements relating to watchkeeping service. Furthermore, they expressed the view that the sea service requirements were necessary.

7.4.25 After some discussion, the Sub-Committee referred the proposal to WG 1 to finalize the text.

Linkages between chapters III and VI and basic safety training requirements for deck officers

7.4.26 The Sub-Committee recalled that the decisions relating to linkages between chapters II and VI were also applicable to chapter III and should be included in the final text of this chapter and instructed WG 1 accordingly (see paragraph 7.2.27).

Instructions to the working group

7.4.27 In light of the foregoing, the Sub-Committee instructed WG 1 to finalize the text of chapter III of the STCW Convention and Code, taking into account comments and decisions in plenary.

7.5 CHAPTER IV – RADIOCOMMUNICATION AND RADIO PERSONNEL

7.5.1 The Sub-Committee recalled that the preliminary draft revised text of chapter IV (STW 41/7), as prepared by STW 40, did not contain any text in square brackets.

7.5.2 In this context, the Sub-Committee recognized that some of the footnotes needed to be amended, as well as to replace the term “appropriate certificate” with the term “certificate of competency” to maintain consistency with other chapters. Accordingly, the Sub-Committee instructed DG 2 to amend the footnotes and finalize the text of chapter IV of the STCW Convention and Code.

7.6 CHAPTER V – SPECIAL TRAINING REQUIREMENTS FOR PERSONS ON CERTAIN TYPES OF SHIPS

7.6.1 The Sub-Committee noted the draft amended text of chapter V (STW 41/7/5), as prepared by ISWG 2.

Text in square brackets

7.6.2 The Sub-Committee noted that paragraphs 4.2.2.2, 6.2.2.2 and 7 of regulation V/1-1, paragraphs 4.2.2.2 and 5 of regulation V/1-2, paragraph 14 of section B-V/1-2 and paragraph 7.2.2.6 of section B-V/f contained square brackets. In addition, the entire text of related guidance on one-month onboard training programme was in square brackets.

7.6.3 In this context, the Sub-Committee agreed to consider the text in square brackets in paragraph 7.2.2.6 of section B-V/f at this stage, while all other texts in square brackets would be considered together with the relevant proposals submitted to the current session.

7.6.4 In considering the text in square brackets in paragraph 7.2.2.6 of section B-V/f, the Sub-Committee agreed to delete the square brackets and retain the text.

Tanker training

Entry into enclosed spaces

7.6.5 The Sub-Committee (STW 41/2/2 (part)) was informed that FP 53 had discussed the cargo-specific element of the training for chemical tanker endorsements and had agreed that more training on the specifics of hazardous chemicals, including low-flash point cargoes, was necessary, and to invite the STW Sub-Committee to reconsider document STW/ISWG 1/5/12 in the context of the revision of the STCW Convention, in particular the draft amendments to chapter V proposed in the document so that enhanced training regarding tank entry and cargo operating procedures could be included in the revision. In this context, the Sub-Committee recalled that ISWG 1 had considered this document in detail when the appropriate training requirements had been addressed.

7.6.6 The delegation of the Cook Islands expressed deep concern that the Sub-Committee had not given due consideration to training requirements relating to entry into enclosed spaces. A number of delegations shared the same concerns.

7.6.7 The delegation of the Bahamas advised the Sub-Committee that they had made a proposal to the DSC Sub-Committee to make drills relating to entry into enclosed spaces mandatory under the provisions of the SOLAS Convention. They further drew the attention of the Sub-Committee to the fact that the training requirements relating to entry into enclosed spaces had already been addressed in tables A-V/1-1 and A-VI/1-4.

7.6.8 The delegation of Norway expressed the view that the proposal submitted to the DSC Sub-Committee should address this issue.

7.6.9 The observer from INTERTANKO suggested that, since a number of sub-committees were involved in revising the recommendations for entry into enclosed spaces and met between now and MSC 87, the Committee, when considering the reports of the various sub-committees concerned could, if necessary, invite the STCW Conference to include the appropriate training requirements for entry into enclosed spaces.

7.6.10 In light of the foregoing, the Sub-Committee agreed to request the Committee to decide whether any additional training was necessary for entry into enclosed spaces, after consideration of the reports of sub-committees concerned with this issue and, if so, invite the STCW Conference to include additional training measures in the proposed amendments to the STCW Convention and Code, taking into account that the proposed texts in chapters V and VI already provide the basic knowledge requirements for entry into enclosed spaces.

Onboard training

7.6.11 The Islamic Republic of Iran (STW 41/7/20) proposed guidance relating to one-month onboard training, as set out in paragraphs 4.2.2 and 6.2.2 of regulation V/1-1 and 4.2.2 of regulation V/1-2, for certification in advanced training for tanker cargo operations.

7.6.12 Australia (STW 41/7/33) proposed alternative text to replace the term “supernumerary” in paragraphs 4.2.2 and 6.2.2 of regulation V/1-1 and 4.2.2 of regulation V/1-2.

7.6.13 The United Kingdom and OCIMF (STW 41/7/40) clarified the difference between a three-month and a one-month onboard tanker training regime and proposed modified guidance for onboard tanker training.

7.6.14 The Sub-Committee, noting that these proposals did not require any decision in principle, referred them to WG 2 for detailed consideration with a view to finalizing the text.

Guidance relating to the term “immediate responsibility”

7.6.15 OCIMF, INTERTANKO and SIGTTO (STW 41/7/27) proposed guidance for the term “immediate responsibility”.

7.6.16 The Sub-Committee, noting that this proposal did not require any decision in principle, referred it to WG 2 for detailed consideration with a view to finalizing the text.

Training requirements for personnel on ships operating in ice-covered waters

7.6.17 The Sub-Committee recalled that after an in-depth discussion, and taking into account the relevant instructions of STW 40 and decisions of MSC 86 in this respect, ISWG 2 had agreed that:

- .1 the proposed training requirements should be included in part B of chapter V as guidance; and
- .2 the correspondence group should, taking account of the requirements in the Guidelines for ships operating in polar waters, approved at MSC 86, continue its work and submit a final report to STW 41.

7.6.18 The Sub-Committee further recalled that, at ISWG 2, the delegation of Germany, taking into account the views expressed by a number of delegations that the training requirements should be mandatory, had proposed that interested Governments could submit a resolution to the forthcoming Diplomatic Conference, proposing that the Organization should develop mandatory training standards immediately after the mandatory code for ships operating in polar waters had been adopted. Accordingly, ISWG 2 had invited interested Governments to consider submitting such a resolution to STW 41 with a view to adoption by the Conference.

7.6.19 Norway (STW 41/7/39) advised that the correspondence group (CG) had noted that ISWG 2 had agreed, subject to the approval by STW 41, that the training guidance should follow the same application as the revised guidelines for polar waters. In this context, the CG had agreed that there would be a need to revisit the training guidance at a later stage in order to harmonize it with the requirements of the future code. The CG, taking into account the views expressed at ISWG 2, had developed draft guidance relating to training of personnel in both deck and engine departments. Furthermore, the CG had agreed, in principle, to include a paragraph underlining the importance of proper experience, as set out in paragraph 1.3 of the proposed guidance. However, due to lack of time, the CG could not agree on a final text which therefore needed to be considered further at this session.

In light of the foregoing, the CG invited the Sub-Committee to:

- .1 agree to apply the guidance relating to training requirements for personnel on ships operating in ice-covered waters, as defined in the Guidelines on ships operating in polar waters (paragraphs 3 to 8);
- .2 agree to include training requirements for both deck and engine departments (paragraph 9);
- .3 agree, in principle, to the inclusion of paragraph 1.3 in the draft Guidance and instruct the working group to finalize the text (paragraph 10); and
- .4 approve the draft Guidance relating to training requirements for personnel on ships operating in polar waters, as set out in the annex of document STW 41/7/39, for inclusion in part B of chapter V in the STCW Code (paragraph 11 and annex).

7.6.20 The delegation of the Russian Federation expressed the opinion that there was a need to resolve the various definitions used in the report to ensure that the proposed guidelines were not interpreted differently.

7.6.21 The delegations of Denmark and Norway expressed the view that, while they were in support of the mandatory provisions, they supported the guidance developed by the CG.

7.6.22 After some discussion, the Sub-Committee referred the report to WG 2 to finalize the text, taking into account comments and decisions made in plenary.

Guidance regarding training of personnel in charge of, or involved in, tug-barge operations

7.6.23 The Republic of Korea (STW 41/7/12) proposed amendments to section B-V of the STCW Code relating to Guidance on training and qualifications of personnel on tug-barges.

7.6.24 The delegation of the Islamic Republic of Iran supported the proposal and expressed the opinion that the scope should be limited to masters and officers.

7.6.25 The delegation of Germany, supported by others, expressed the opinion that, since many industry standards were available on this issue, there was a need for a complete review of the proposal including harmonization of terminology.

7.6.26 After a brief discussion, the Sub-Committee, noting the time constraints and that this new proposal had been submitted towards the completion stage of the comprehensive review, referred the proposal to WG 2 for detailed consideration, after all other issues had been considered and if there was sufficient time to do so.

Instructions to the working group

7.6.27 In light of the foregoing, the Sub-Committee instructed WG 2 to finalize the text of chapter V of the STCW Convention and Code, taking into account comments and decisions in plenary.

7.7 CHAPTER VI – EMERGENCY OCCUPATIONAL SAFETY, SECURITY, MEDICAL CARE AND SURVIVAL FUNCTIONS

7.7.1 The Sub-Committee noted the draft amended text of chapter VI (STW 41/7/6), as prepared by ISWG 2.

Text in square brackets

7.7.2 The Sub-Committee recalled that paragraph 3 of regulation VI/1, paragraphs 2-2, 4 and 5 of section A-VI/1, paragraphs 5, 6, 9 and 10 of section A-VI/2, paragraph 5 of section A-VI/3, paragraph 4 of section A-VI/6 and paragraphs 3 and 4 of section B-VI/2 contained square brackets.

7.7.3 In this context, the Sub-Committee agreed to retain the proposed text in square brackets in paragraph 2-2 of section A-VI/1 and paragraph 4 of section A-VI/6 and that the actual dates be entered after the Conference has decided on the date of entry into force. All other texts in square brackets would be considered when discussing the relevant proposals relating to maintaining professional competence in areas where training could not be conducted on board.

Linkage between chapters II and VI and basic safety training requirements for deck officers

7.7.4 The Islamic Republic of Iran (STW 41/7/21 (part)) proposed amendments to sections B-I/4, B-VI/1, B-VI/2, B-VI/3 and B-VI/4 in order to resolve the inconsistency between regulations II/1 and II/3 and tables A-II/1 and A-II/3, and to address the linkage between chapters II and VI.

7.7.5 In this context, the Sub-Committee recalled that, when considering chapter I, it had agreed that there was a need to include a new competence in tables A-II/1, A-II/3 and A-III/1 to address basic safety training. However, it had not agreed to the deletion of the draft text in paragraph 2.6 of regulation II/1, paragraphs 4.5 and 6.4 of regulation II/3 and paragraph 2.5 of regulation III/1 to address linkages between chapters II and III, and chapter VI. Accordingly, the

Sub-Committee agreed that there was no need to amend sections B-VI/1, B-VI/2 and B-VI/3 (see paragraph 7.2.27).

Maintaining professional competence

7.7.6 Consequent to their proposed amendments to regulation I/11, the Islamic Republic of Iran (STW 41/7/22 (part)) proposed amendments to chapter VI of the STCW Convention and Code in order to ensure that professional competence, in areas of chapter VI of the STCW Code where training could not be conducted on board, was maintained. In this context, the Sub-Committee recalled that it had also considered the proposed amendments to regulation I/11 under chapter I relating to this issue.

7.7.7 The United States (STW 41/7/25) proposed amendments to chapter VI of the Convention and the associated parts of the STCW Code to require assessment of competence for those areas, contained in the tables of competence, where training could not be conducted on board ship.

7.7.8 The Philippines (STW 41/7/34) expressed the opinion that some form of refresher training was necessary in some areas where it could not be conducted on board and that the following should be included in refresher training:

- .1 right an inverted liferaft while wearing a lifejacket and board a survival craft from ship and water while wearing a lifejacket (regulation VI/1);
- .2 extinguish small fires, e.g., electrical fires, oil fires, propane fires and fight fire in smoke-filled enclosed spaces wearing self-contained breathing apparatus (regulation VI/1); and
- .3 right a capsized rescue boat (regulation VI/2).

7.7.9 The delegation of Norway supported the proposal by the Islamic Republic of Iran.

7.7.10 The delegation of Spain, supported by others, expressed their preference for the proposal by the United States.

7.7.11 Some delegations expressed concern relating to the proposed refresher training and were of the view that other means of maintaining competence apart from mandatory refresher training should be acceptable. In their opinion, the scope for flexibility by the Administration/Party in accepting onboard training and experience in maintaining competence should be increased. The overall scope of the competencies required which would be subject to refresher training ashore was also discussed with particular reference to the age and experience of existing seafarers including the possible risks of personal injury associated with them. The Sub-Committee agreed that this should be discussed by the working group in the context of the proposal by the United States.

7.7.12 In considering the proposal by the Philippines, the Sub-Committee recognized that it did not fit in with either proposal and agreed not to consider it further.

7.7.13 After some discussion, the Sub-Committee agreed to refer the proposal by the United States together with the text presently in square brackets to WG 2 to finalize the text.

Piracy prevention training

7.7.14 The United States (STW 41/7/24) proposed amendments to tables A-VI/1-5, A-VI/5 and A-VI/6 of the STCW Code to include training for seafarers on matters relating to the prevention and suppression of acts of piracy and armed robbery against ships. They also recommended that the existing model courses 3.19 (Ship Security Officer) and 3.20 (Company Security Officer) should be updated accordingly.

7.7.15 Austria *et al.* (STW 41/7/48) proposed amendments to sections A-VI/1 and A-VI/6, and tables A-VI/1-5, A-VI/5 and A-VI/6 to enhance the seafarers' awareness on measures against piracy and armed robbery against ships.

7.7.16 The delegation of the Bahamas, supported by others, expressed their preference for the proposal by the United States.

7.7.17 The delegation of Denmark, supported by others, expressed their preference for the proposal by Austria *et al.*

7.7.18 After an in-depth discussion, the Sub-Committee agreed that there was merit in both proposals and referred them to WG 2 to finalize the text, using the proposal contained in document STW 41/7/48 as the basic document, and taking into account comments and decisions made in plenary.

Development of a model course to create awareness among seafarers to face situations when their ship is under attack by pirates

7.7.19 The Sub-Committee noted with appreciation the information orally provided by the Secretariat relating to the development of a model course to create awareness among seafarers relating to piracy and armed robbery against ships and how to act in situations when their ship is under attack by pirates.

Security-related training

7.7.20 ISF and ITF (STW 41/7/52) expressed the opinion that all security-related training should be covered under a separate regulation and should not be included within the current regulation VI/1. Accordingly, they proposed to reorganize regulations VI/1 and VI/6 along with the associated sections of the STCW Code.

7.7.21 In this context, the Sub-Committee recalled that ISF had made a similar proposal to STW 40 (STW 40/7/39). This had been considered by the working group and, using the preliminary text developed by STW 38 and endorsed by MSC 83, it had finalized the text relating to security-related training, which was endorsed by STW 40.

7.7.22 The delegation of the Islamic Republic of Iran, supported by others, agreed with the proposal as it would separate safety and security issues under separate regulations.

7.7.23 The delegation of Spain, supported by others, expressed the view that the text as drafted should be retained.

7.7.24 After an in-depth discussion, the Sub-Committee agreed to refer the proposal to WG 2 for detailed consideration, after all other issues had been considered and if there was sufficient time to do so.

Instructions to the working group

7.7.25 In light of the foregoing, the Sub-Committee instructed WG 2 to finalize the text of chapter VI of the STCW Convention and Code, taking into account comments and decisions in plenary.

7.8 CHAPTER VII – ALTERNATIVE CERTIFICATION

7.8.1 The Sub-Committee noted the draft amended text of chapter VII (STW 41/7/7), prepared by ISWG 2.

7.8.2 The Sub-Committee recalled that paragraph 1 of regulation VII/2 and paragraphs 4.2 and 4.2.2.1 of section A-VII/2 contained square brackets. In this context, the Sub-Committee agreed to delete the square brackets in paragraph 1 of regulation VII/2 and retain the text, while all other texts in square brackets would be considered together with the relevant proposals submitted to the current session.

Document STW 41/7/10

7.8.3 The Islamic Republic of Iran (STW 41/7/10) proposed amendments to chapter VII of the STCW Convention and Code aiming at encompassing the requirements of new regulations II/5, III/5 and mitigating the problem of different interpretations in respect of the training and seagoing service requirements for alternative certification.

7.8.4 The observer from ITF did not support the proposal as it was against the basic principles of alternative certification.

7.8.5 The delegation of Belgium, supported by others, expressed the view that this proposal would lead to downscaling of standards and remove the flexibility.

7.8.6 After a brief discussion, the Sub-Committee did not agree with the proposal.

Document STW 41/7/49

7.8.7 Austria *et al.* (STW 41/7/49) proposed the introduction of a third option for certification of able seafarers in section A-VII/2, paragraph 4, as set out in document STW/ISWG 2/7. In addition, in order to further clarify their proposal, they also proposed specific guidance to be included in section B-VII/2.

7.8.8 The delegation of the United States expressed the opinion that there was no need to amend the text to allow for integrated training of ratings.

7.8.9 The delegation of the United Kingdom, supported by others, expressed their support for the proposal.

7.8.10 After a brief discussion, the Sub-Committee referred this proposal to DG 2 to finalize the text of chapter VII of the STCW Convention and Code.

Instructions to the drafting group

7.8.11 In light of the foregoing, the Sub-Committee instructed DG 2 to finalize the text of chapter VII of the STCW Convention and Code, taking into account comments and decisions in plenary.

7.9 CHAPTER VIII – WATCHKEEPING

7.9.1 The Sub-Committee noted the draft amended text of chapter VIII (STW 41/7/8), as prepared by ISWG 2.

7.9.2 The Sub-Committee recalled that paragraph 9 of section A-VIII/1 contained square brackets and agreed to consider them along with the relevant proposals submitted to this session.

7.9.3 Norway (STW 41/7/38) proposed amendments to new paragraph 9 in section A-VIII/1, presently in square brackets to ensure fitness for duty.

7.9.4 Austria *et al.* (STW 41/7/50) provided clarifications relating to exceptions to limits for hours of work and consequently proposed amendments to sections A-VIII/1 and B-VIII/1.

7.9.5 ITF (STW 41/7/55), commenting on documents STW 41/7/38 and STW 41/7/50, expressed the opinion that any proposal to remove, exclude or exempt the provisions of paragraphs 1 and 2 of section A-VIII/1, should be rejected as sufficient flexibility within the 14-hour work was provided for in the proposed paragraph 4. Furthermore, reference to exemptions under other non-IMO conventions contained in the proposed paragraph 9 or section B-VIII was inappropriate and should not be included.

7.9.6 The delegation of the United States, supported by others, expressed their preference for the proposal by Norway.

7.9.7 The delegation of the Bahamas expressed the opinion that the regulations should be in harmony with those of MLC 2006, otherwise Administrations would have difficulties in implementing the conflicting requirements.

7.9.8 The delegation of Greece, supported by others, expressed their preference for the proposal by Austria *et al.*, as it would harmonize the requirements of different international conventions as well as provide the necessary flexibility.

7.9.9 After an in-depth discussion, the Sub-Committee, recognizing that the divergence of opinion could not be resolved at this stage, agreed to retain both proposals in square brackets for a decision by the Conference.

Instructions to the drafting group

7.9.10 In light of the foregoing, the Sub-Committee instructed DG 2 to finalize the text of chapter VIII of the STCW Convention and Code, taking into account comments and decisions in plenary.

7.10 OTHER ISSUES

7.10.1 The Sub-Committee recalled that ISWG 2 had identified the following resolutions that should be submitted to the Conference of Parties to the STCW Convention with a view to adoption:

- .1 Contribution of the International Labour Organization;
- .2 Development of guidelines to implement international standards of medical fitness for seafarers;
- .3 Revision of model courses published by the International Maritime Organization;
- .4 Promotion of technical knowledge, skills and professionalism of seafarers;
- .5 Attracting new entrants to the maritime profession;
- .6 Promotion of technical co-operation;
- .7 Transitional provisions and early implementation; and
- .8 Promotion of the participation of women in the maritime industry,

and instructed the Secretariat to prepare and submit the aforementioned resolutions to the current session for consideration. Accordingly, the Secretariat prepared eight draft resolutions, as set out in document STW 41/7/9, for the consideration of the Sub-Committee.

Attracting new entrants to the maritime profession

7.10.2 The delegation of Norway drew the Sub-Committee's attention to the fact that the operative paragraph .6 recommended the provision of adequate accommodation for trainees on new building which was also included in draft resolution contained in document STW 41/7/11. Furthermore, the delegation of Spain expressed the view that this resolution should also include reference to the need for rapid and effective action by shipowners to retain seagoing personnel. In addition, the delegation of Italy proposed that reference to provide access to the internet should also be included.

7.10.3 The delegation of France expressed the opinion that comparison with other modes of transport was not suitable. In this context, the delegation of the United States proposed to replace this with "in an environmentally friendly manner".

7.10.4 After a brief discussion, the Sub-Committee agreed to delete proposed paragraph .6 and to include a reference, as proposed by the delegation of Spain, as well as references to shipowners' organizations and ship managers and instructed DG 1 accordingly.

Accommodation for trainees

7.10.5 India (STW 41/7/11) proposed a draft Conference resolution urging Member Governments to encourage shipowners to ensure adequate certified accommodation for trainees/cadets.

7.10.6 After a brief discussion, the Sub-Committee referred the proposal to DG 1 to finalize the text, taking into account comments and decisions in plenary.

Verification of the authenticity and validity of certificates of competency and endorsements, Standards of training and certification, and manning level of ships

7.10.7 Panama (STW 41/7/29) proposed two draft Conference resolutions relating to verification of the authenticity and validity of certificates of competency and endorsements, and Standards of training and certification, and manning level of ships.

7.10.8 The observer from ITF expressed the view that the proposed resolution relating to Standards of training and certification, and manning level of ships should include references to the IMO resolution on Safe manning as well as other relevant international conventions, i.e. MLC 2006.

7.10.9 Some delegations expressed the view that there was no need for this resolution since it stated the obvious and the purpose of the STCW Convention was clear.

7.10.10 After a brief discussion, the Sub-Committee referred the proposal to DG 1 to finalize the text, taking into account comments and decisions in plenary.

Future adoption of amendments to the STCW Convention and Code

7.10.11 IFSMA and ITF (STW 41/7/30) proposed a draft Conference resolution on future adoption of amendments to the STCW Convention and Code in a five-yearly cycle and to conduct a comprehensive review every ten years which were formally supported by Belize and Croatia.

7.10.12 The delegation of Greece, supported by others, while expressing sympathy with the proposed resolution, expressed the view that there should be a provision to allow for any amendments that may be necessary if there was compelling need and not have to adhere to the five-year cycle.

7.10.13 The delegation of the Bahamas, supported by others, expressed the view that proposed resolution provided stability to not only the shipping industry but also to the training institutions to plan and implement the requirements.

7.10.14 After some discussion, the Sub-Committee referred the proposal to DG 1 to finalize the text, taking into account comments and decisions in plenary.

Recommendation on measures to ensure the competency of masters and officers on ships operating in polar waters

7.10.15 Argentina and Chile (STW 41/7/42) proposed a draft Conference resolution, encouraging Governments to take measures aimed at ensuring that those responsible for navigation watches on the bridges of ships operating in the polar areas, in particular on passenger vessels, are appropriately qualified.

7.10.16 The delegation of Norway, supported by others, expressed the opinion that reference to Assembly resolution A.1024(26) on Guidelines for ships operating in polar waters should be included. Furthermore, a reference that once the polar code was made mandatory, appropriate mandatory training requirements should also be developed.

7.10.17 The delegation of the United Kingdom expressed the opinion that not all officers should be required to have undergone the proposed training since, as in situations where the ship was under pilotage, it may be sufficient to have only one officer, perhaps in both deck and engine department, to be trained and certified accordingly.

7.10.18 After some discussion, the Sub-Committee referred the proposal to DG 1 to finalize the text, taking into account comments and decisions in plenary.

7.11 REPORT OF THE WORKING AND DRAFTING GROUPS

Report of the working group to consider the comprehensive review of chapters I and III

7.11.1 On receipt of the report of the working group (STW 41/WP.2, Add.1, Add.2 and Add.3), the Sub-Committee took action as summarized in the ensuing paragraphs.

Chapter I

Medical issues

7.11.2 The observer from ISF expressed concerns that the mandatory application of the standards for physical fitness, as currently drafted, would be difficult to justify and could give rise to potential claims of unlawful discrimination in conflict with national equality legislation and urged Member Governments to review this with appropriate departments within their respective countries. In this context, they were of the opinion that it would be prudent to await the outcome of the Joint ILO/IMO/WHO Working Group on Guidelines on medical examinations for seafarers. Furthermore, shipowners welcomed the idea of medical examinations, but these needed to be conducted in a responsible, justifiable and socially acceptable manner.

7.11.3 The delegation of the Bahamas, supported by others, expressed concern on the requirements, as set out in table A-I/9-2, and preferred that this table should be set out as guidance in part B of the STCW Code.

7.11.4 The delegation of the United Kingdom, supported by others, expressed the opinion that table A-I/9-2 should be retained in part A of the STCW Code.

7.11.5 After some discussion, the Sub-Committee agreed to retain the text in part A in square brackets for a decision by the Conference. In this context, the Sub-Committee invited Member Governments to submit comments and proposals to the Conference, with a view to develop more appropriate, mandatory language.

Revalidation issues

7.11.6 The Sub-Committee considered the revalidation requirements for tanker certificates and after a brief discussion agreed to the proposed text, as set out in the annex to document STW 41/WP.2/Add.3, as amended.

7.11.7 The observer from ISF expressed the opinion that, as the proposed requirements for maintaining professional competence under chapter VI was a stand-alone process, it might not be aligned with the revalidation process under I/11. This being the case, certificates of competency could no longer provide the documentary evidence that masters and officers are complying with the relevant requirements related to basic safety training, and that therefore related documentary evidence had to be carried by them. Furthermore, once the amendments were in force, in their opinion MSC/Circ.1030 would no longer be valid.

7.11.8 The Sub-Committee approved the amended draft text of chapter I, as set out in annexes 1, 2 and 3 of document STW 41/WP.2/Add.1, as amended, with a view to submission to the Conference for adoption.

Chapter III

Use of the term “Party” or “Administration”

7.11.9 The Sub-Committee considered concerns expressed by some delegations regarding the use of the term “Party” or “Administration” in various chapters, given their respective definitions in article II of the Convention and which appeared to be used in an interchangeable manner. In this context, the representative of the Legal Office recalled that the term “Party” was defined in the Vienna Convention on the Law of Treaties as follows: “‘Party’ means a State which has consented to be bound by the treaty and for which the treaty is in force.” The Legal Office representative suggested that this referred broadly to the State as a political entity which had committed itself to undertake the duties and responsibilities under the treaty. On the other hand, the term “Administration” was defined in Article II of the STCW Convention as follows: “Administration means the Government of the Party whose flag the ship is entitled to fly.” The Legal office representative noted that this was identical to the definition in regulation 2 of chapter I of the SOLAS Convention and he suggested that “Administration” was a narrower term than “Party” and referred to the organizational entity or governmental apparatus which was in place for the Party to undertake the functions assigned to the flag State.

7.11.10 The delegation of the United States, supported by others, recalled that the 1995 STCW Conference of Parties had carefully considered this issue and included paragraph 3 in regulation I/1 to address this issue.

7.11.11 After some discussion, the Sub-Committee agreed to use the terms as was done so by the 1995 STCW Conference and be applicable to all chapters of the STCW Convention and Code, and instructed the Secretariat to ensure the same when submitting the basic text to the Conference for consideration.

7.11.12 The Sub-Committee also agreed to the definition for the term “*electro-technical rating*” to be included in regulation I/1.1.

Electro-technical officers

7.11.13 Referring to the decision of the Sub-Committee that there was no need for training requirements for ETOs at management level, the delegation of France, supported by others, expressed the opinion that, in order to provide a career path and attract new entrants to the profession, these could be provided as guidance in part B of the STCW Code. In response, the delegation of Germany, supported by others, expressed the opinion that this could be included within national legislations by countries that wished to provide for them.

7.11.14 The Sub-Committee approved the amended draft text of chapter III, as set out in annexes 4, 5 and 6 of document STW 41/WP.2/Add.2, as amended, with a view to submission to the Conference for adoption.

Report of the working group to consider the comprehensive review of chapters V and VI

7.11.15 On receipt of the report of the working group (STW 41/WP.3 and Add.1), the Sub-Committee took action as summarized in the ensuing paragraphs.

Chapter V

7.11.16 In considering the amended text of chapter V, the Sub-Committee agreed to transfer the guidance relating to training of engineering personnel having management responsibilities for operation and safety of electrical power plants above 1000 volts, as set out in proposed section B-V/e, to B-III/1 and renumber the paragraphs thereon.

7.11.17 The Sub-Committee approved the amended draft text of chapter V, as set out in annexes 1, 2 and 3 of document STW 41/WP.3/Add.1, as amended, with a view to submission to the Conference for adoption.

Chapter VI

7.11.18 The delegation of Japan, supported by others, expressed concern that, with reference to the proposed refresher training, no exemption was provided for old seafarers and that, in their opinion, there was a need to provide flexibility to address this issue, otherwise a number of such seafarers would be forced to retire.

7.11.19 Furthermore, the Sub-Committee considered the issue relating to refresher training in the context of the list of items, as set out in proposed section A-VI/1, paragraph 4. Some delegations reiterated their concerns expressed prior to the commencement of the work of the working group and on the clarification by the Chairman of the working group that the list of items which could be accepted for onboard training had been agreed by STW 39 and approved by MSC 84. Other delegations agreed with that clarification. After some discussion, the Sub-Committee did not agree to a proposal to place the list of items, as set out in A-VI/1, paragraphs 4.1 and 4.2, in square brackets.

7.11.20 In this context, the delegation of Norway reserved its position on the outcome of the discussions relating to areas where training could not be conducted on board. In their opinion the Sub-Committee had not followed the instructions given to it by the Committee on this issue.

7.11.21 The Sub-Committee approved the amended draft text of chapter VI, as set out in annexes 4, 5 and 6 of document STW 41/WP.3, with a view to submission to the Conference for adoption.

Report of the drafting group to consider the comprehensive review of chapter II and draft conference resolutions

7.11.22 On receipt of the report of the drafting group (STW 41/WP.4 and Add.1), the Sub-Committee took action as summarized in the ensuing paragraphs.

Chapter II

7.11.23 The Sub-Committee approved the amended draft text of chapter II of the STCW Convention and Code, as authorized by MSC 86 and set out in annexes 1 to 3 of document STW 41/WP.4/Add.1, with a view to submission to the Conference for adoption.

Draft Conference resolutions

7.11.24 The Sub-Committee approved draft Conference resolutions relating to:

- .1 Contribution of the International Labour Organization;
- .2 Development of guidelines to implement international standards of medical fitness for seafarers;
- .3 Revision of model courses published by the International Maritime Organization;
- .4 Promotion of technical knowledge, skills and professionalism of seafarers;
- .5 Attracting new entrants and retaining seafarers for the maritime profession;
- .6 Promotion of technical co-operation;
- .7 Transitional provisions and early implementation;
- .8 Promotion of the participation of women in the maritime industry;
- .9 Accommodation for trainees;
- .10 Verification of certificates of competency and endorsements;
- .11 Standards of training and certification and ships' manning levels;
- .12 Future amendments and review of the STCW Convention and Code;
- .13 Recommendation on measures to ensure the competency of masters and officers on ships operating in polar waters,

as set out in annex 4 of document STW 41/WP.4 and instructed the Secretariat to make editorial improvements, as appropriate, and submit them to the Conference for adoption.

Report of the drafting group to consider the comprehensive review of chapters IV, VII and VIII

7.11.25 On receipt of the report of the drafting group (STW 41/WP.5 and Add.1), the Sub-Committee took action as summarized in the ensuing paragraphs.

Chapter IV

7.11.26 The Sub-Committee approved amended draft text of chapter IV of the STCW Convention and Code, as authorized by MSC 86 and set out in annexes 1 to 3 of document STW 41/WP.5/Add.1, with a view to submission to the Conference for adoption.

Chapter VII

7.11.27 The Sub-Committee approved amended draft text of chapter VII of the STCW Convention and Code, as authorized by MSC 86 and set out in annexes 4 to 6 of document STW 41/WP.5/Add.1 with minor amendments, with a view to submission to the Conference for adoption.

Chapter VIII

7.11.28 The Sub-Committee approved amended draft text of chapter VIII of the STCW Convention and Code, as authorized by MSC 86 and set out in annexes 7 to 9 of document STW 41/WP.4/Add.1, with a view to submission to the Conference for adoption.

7.12 CONCLUSIONS

7.12.1 In light of the foregoing, the Sub-Committee:

- .1 approved the draft amendments to:
 - .1 the International Convention on Standards of Training, Certification and Watchkeeping for Seafarers (STCW), 1978 (annex 1);
 - .2 Part “A” of Seafarers’ Training, Certification and Watchkeeping Code (annex 2); and
 - .3 Part “B” of Seafarers’ Training, Certification and Watchkeeping Code (annex 3),to be submitted to the Conference of Parties to the STCW Convention as authorized by MSC 86 with a view to adoption;
- .2 approved 13 draft Conference resolutions to be submitted to the Conference of Parties to the STCW Convention with a view to adoption (annex 4);
- .3 requested the Secretary-General to circulate the draft amendments to the STCW Convention and Code, along with the associated draft Conference resolutions, to the Conference of Parties to the STCW Convention scheduled to be held in Manila from 21 to 25 June 2010, for adoption; and

.4 invited the Committee to:

- .1 endorse the draft amendments and associated draft Conference resolutions referred to in paragraphs 7.12.1.1 and 7.12.1.2 above, which the Sub-Committee, as authorized by MSC 86, has submitted directly to the Conference of Parties to the STCW Convention for adoption; and
- .2 delete this item from the work programme as the work had been completed (see paragraph 13.3.2.1).

8 REVIEW OF THE PRINCIPLES FOR ESTABLISHING THE SAFE MANNING LEVELS OF SHIPS, INCLUDING MANDATORY REQUIREMENTS FOR DETERMINING SAFE MANNING

8.1 The Sub-Committee recalled that:

- .1 STW 39 had established a working group to define and clarify the intent and terms of objectives for determining minimum safe manning levels of ships, embodied in resolution A.890(21), as amended, including the need to develop a framework that considers the effectiveness and efficiency relating to the performance of tasks, based on scientific knowledge and expertise in areas such as human system's integration, ship construction, training, vessel operations, and fatigue research; and prepare a preliminary draft revised text of resolution A.890(21) on Principles of safe manning, as amended;
- .2 STW 40 had prepared a preliminary draft revised Assembly resolution on Principles of Safe Manning (resolution A.890(21), as amended), set out in annex 5 of document STW 40/14, which NAV 55 had been invited to review on a preliminary basis; and
- .3 STW 40 had also agreed that agenda items "Review of the principles for establishing the safe manning levels of ships" and "Mandatory requirements for determining safe manning" had common denominators and should be merged into one agenda item for a more holistic approach and invited MSC 86 to merge both these agenda items as "Review of the principles for establishing the safe manning levels of ships including mandatory requirements for determining safe manning". MSC 86 had subsequently concurred with this proposal (MSC 86/26, paragraph 9.10).

8.2 The Sub-Committee was informed that NAV 55 (STW 41/8) had reviewed the preliminary draft revised Assembly resolution on Principles of Safe Manning (resolution A.890(21), as amended) and was of the opinion that it appeared to be well drafted. However, with respect to the appendix and annex 5, NAV 55 had agreed to the following amendments:

- .1 "APPENDIX Issued under the provisions of regulation V/14(b) **2**."
- .2 "Annex 5, section 1.2, **S**ubmission needs to take into account the requirements of Annexes 2 and 3 in the context of the management of the safety, security and protection of the marine environment **functions of a ship**."

- .3 “Annex 5, section 2.2, Having evaluated and approved the proposal the Administration should issue a safe manning document including special requirements and conditions [supported by a minimum safe manning assessment].”

8.3 Furthermore, NAV 55 had included the item “Review of the principles for establishing the safe manning levels of ships, including mandatory requirements for determining safe manning” in the provisional agenda for NAV 56.

8.4 The United Kingdom and France (STW 41/8/1) proposed amendments to SOLAS regulation V/14 to make the procedures for the determination of the safe manning mandatory.

8.5 The delegation of Ireland, supported by others, agreed with the proposal.

8.6 The delegation of Denmark, supported by others, agreed in principle with the proposal. Since only the process should be mandatory, they had some concerns as to which parts of the revised resolution were to be mandatory and that the relevant parts would have to have the proper mandatory language. Furthermore, the delegations of Denmark and the Netherlands expressed the opinion that they did not fully subscribe to the arguments and viewpoints, as set out in document STW 41/8/1.

8.7 The observer from IFSMA, supported by the observer from ITF and the delegation of Sweden, expressed the opinion that the process should be auditable and transparent, which could be achieved by amending the proposed paragraph 2.2 of the proposal and that some amendments were necessary to the proposed paragraph 2.1.

8.8 The delegation of Belgium, supported by others, expressed the opinion that, while they shared the concerns of the United Kingdom and France, a more holistic approach was needed, taking into account the provisions of resolution A.974(24) on Procedures and Framework for Voluntary IMO Member States Audit Scheme and the ISM Code.

8.9 The delegation of the Bahamas, supported by others, expressed the opinion that it would be extremely difficult for flag States to monitor, determine and maintain the safe manning of ships at all times, since it could change from trade to trade, cargo to cargo and climate to climate. Furthermore, whilst acknowledging the responsibility of the flag State to issue the safe manning document, it was the responsibility of the shipowner, under the provisions of the ISM Code, to keep the ship properly manned according to the changing trading and operational conditions.

8.10 After an in-depth discussion, the Sub-Committee referred the documents to the working group to be established under this agenda item for detailed consideration.

8.11 The delegation of Australia drew the Sub-Committee’s attention that section 2.2 of annex 5 of the draft revised resolution on Principles of safe manning contained square brackets. After a brief discussion, the Sub-Committee agreed to delete the square brackets including the text contained therein.

Establishment of the working group

8.12 The Sub-Committee established a working group to consider the review of the principles for establishing the safe manning levels of ships with the following terms of reference, including

the decision to delete the square brackets as well as the text contained therein (section 2.2 of document STW 40/14, annex 5):

Taking into account the comments and decisions made in plenary, the working group should consider documents STW 41/8 and STW 41/8/1 (the United Kingdom and France) to:

- .1 based on the preliminary draft revised text of resolution A.890(21) on Principles of safe manning, as amended, developed at STW 40 (STW 40/14, annex 5), prepare a draft revised text of resolution on Principles of safe manning; and
- .2 prepare draft amendments to SOLAS regulation V/14,

and submit its report to the plenary on Thursday, 14 January 2010.

Report of the working group

8.13 On receipt of the report of the working group (STW 41/WP.6), the Sub-Committee took action as summarized in the ensuing paragraphs.

8.14 The Sub-Committee endorsed the draft Assembly resolution on Principles of Minimum Safe Manning, as set out in annex 5, with a view to approval by MSC 88 and submission to A 27 for adoption, subject to comments made by NAV 56.

8.15 The Sub-Committee endorsed the draft amendments to regulation V/14 of the International Convention for the Safety of Life at Sea, 1974, as amended, as set out in annex 6, with a view to approval by MSC 88 and adoption by MSC 89, subject to comments made by NAV 56.

8.16 The delegations of the United Kingdom and France expressed the opinion that the fact that the Sub-Committee did not address the substantive issues relating to determining safe manning and, in particular, the decision to delete the word “auditable” was regrettable, specifically in light of the Secretary-General’s opening remarks relating to fatigue.

8.17 The Sub-Committee requested the NAV Sub-Committee, at its fifty-sixth session in July 2010, to review the draft Assembly resolution on Principles of Minimum Safe Manning and the draft amended text of SOLAS regulation V/14 and forward its comments thereon, if any, to MSC 88 for appropriate action.

8.18 The Sub-Committee invited the Committee to delete the agenda item from its work programme, as the work on this item had been completed (see paragraph 13.3.2.3). In this context, the delegation of Malta expressed the opinion that they did not believe that the development of a mandatory procedure had been completed and objected to the deletion of this item from the work programme.

9 MEASURES TO ENHANCE MARITIME SECURITY

9.1 The Sub-Committee recalled that MSC 75 (MSC 75/24, paragraph 22.9) had decided to include, in the work programme of the Sub-Committee and provisional agenda for STW 34, a high-priority item on “Measures to enhance maritime security”.

9.2 The Sub-Committee also recalled that:

- .1 MSC 81 had authorized the Sub-Committee to start developing appropriate amendments to the STCW Convention and Code so as to include security-related provisions therein. This was on the understanding that the Sub-Committee would have the flexibility to include, in the list of issues which needed to be examined, any other related issues which transpired as a result of discussions at any stage, subject to informing the Committee; and
- .2 STW 38 had agreed that the required review of chapters I and VIII, so as to include therein appropriate security-related provisions, should be considered in the comprehensive review of the STCW Convention and Code.

9.3 The Sub-Committee further recalled that, at STW 40, matters related to the inclusion of additional security-related provisions in the relevant parts of the STCW Convention and Code had been dealt with under agenda item 7 (Comprehensive Review of the STCW Convention and the STCW Code).

9.4 The Sub-Committee finally recalled that this issue had already been dealt with and finalized under agenda item 7.

9.5 In light of the foregoing, the Sub-Committee invited the Committee to delete this item from the work programme as the work had been completed (see paragraph 13.3.2.4).

10 DEVELOPMENT OF AN E-NAVIGATION STRATEGY IMPLEMENTATION PLAN

10.1 The Sub-Committee recalled that MSC 86, having considered document MSC 86/23/4 (Secretariat), proposing a joint plan of work for the COMSAR, NAV and STW Sub-Committees for the period 2009-2012 for the implementation of the e-navigation strategy, had approved the joint plan for NAV 55 to set in motion the coordinated and planned development of an e-navigation strategy implementation plan, in co-operation with the COMSAR and STW Sub-Committees.

10.2 The Sub-Committee noted that NAV 55 (STW 41/2/2 (part)) had established a correspondence group to progress the work intersessionally under the coordination of Norway with the terms of reference as set out in annex 2 of document NAV 55/WP.5. In this context, NAV 55 had recognized that, bearing in mind that the deadline for submission of documents to STW 41 was 6 November 2009, it would not be possible for the correspondence group to submit any meaningful questions to STW 41. Accordingly, it would be more appropriate for the correspondence group to request STW 42 to answer any relevant questions that might have been identified by COMSAR 14 and NAV 56.

10.3 In light of the foregoing, the Sub-Committee agreed to defer further consideration of this item until STW 42.

11 REVISION OF THE RECOMMENDATIONS FOR ENTERING ENCLOSED SPACES ABOARD SHIPS

11.1 The Sub-Committee recalled that MSC 85 had considered a proposal by DSC 13, suggesting to review and revise, as necessary, the specific provisions of the Recommendations for entering enclosed spaces aboard ships (resolution A.864(20)) and, following discussion on the need to expand the scope of the work to cover other ship types, agreed to include in the work programmes of the BLG, DSC, FP and STW Sub-Committees and the provisional agenda for DSC 14 and STW 41, a high-priority item on “Revision of the Recommendations for entering enclosed spaces aboard ships”, with a target completion date of 2010, assigning the DSC Sub-Committee as a coordinator.

11.2 The Sub-Committee noted that DSC 14 (STW 41/2/2 (part)), having acknowledged the importance of the information provided by MAIIF (DSC 14/INF.9), had noted it and agreed to take it into account while amending resolution A.864(20). Furthermore, DSC 14 had requested the Secretariat to issue document DSC 14/INF.9 as a DSC 15 working document and ensure its timely availability for consideration at BLG 15, FP 54 and STW 41.

11.3 The Sub-Committee further noted that the Secretariat had subsequently issued document DSC 15/10 and that DSC had only just commenced its work relating to amending resolution A.864(20) by establishing a correspondence group to progress the matter intersessionally. Accordingly, the Sub-Committee agreed that it was premature for it to consider this information and provide its advice without being able to review any details of the amended resolution A.864(20) which was presently under preparation by the correspondence group established by DSC 14.

11.4 In this context, the Sub-Committee recalled that matters relating to training requirements for entry into enclosed spaces had been discussed under agenda item 7 (see paragraphs 7.6.5 to 7.6.10).

11.5 In light of the foregoing, the Sub-Committee:

- .1 noted the information provided pending review of resolution A.864(20) by DSC 15;
- .2 deferred further consideration to STW 42; and
- .3 invited the Committee to extend the target completion to 2011 (see paragraph 13.3.1.2).

12 DEVELOPMENT OF MODEL PROCEDURES FOR EXECUTING SHIPBOARD EMERGENCY MEASURES

12.1 The Sub-Committee recalled that:

- .1 MSC 84 had agreed to include, in the work programme of the STW Sub-Committee, a low-priority item on “Development of model procedures for executing shipboard emergency measures”, with two sessions needed to complete the item; and
- .2 STW 40 had included this item on the agenda for the current session.

12.2 The Republic of Korea (STW 41/12, STW 41/12/1, STW 41/12/2 and STW 41/12/3) proposed standard procedures for drills relating to:

- .1 abandon ship;
- .2 fire fighting;
- .3 emergency steering; and
- .4 person overboard rescue,

for ship personnel, PSC officers and other interested parties.

12.3 The observer from ISF expressed the view that one of the criteria for establishing a new work programme item was whether sufficient industry guidelines were available and that, in this case, a number of them, such as the ICS Bridge Procedure Guide were readily available. Furthermore, the scenarios identified by the Republic of Korea were ship, equipment, flag, company and operation specific. In their opinion, the creation of generic procedures for abandon ship drills could be dangerous and could have a negative effect. It could also lead to port State control inspectors using the same when inspecting ships with different types of equipment on board. In any case, shipping companies under the provisions of section 8 of the ISM Code already had the responsibility to establish procedures to identify, describe and respond to potential shipboard emergency situations on a ship and company specific basis. Hence, if considered necessary, generic guidance to assist companies to establish their own company specific procedures could be developed.

12.4 The delegation of Denmark, supported by others, expressed the opinion that the establishment of procedures to respond to emergency situations was the responsibility of the shipping company and that such level of detail was not acceptable.

12.5 The delegation of Malta expressed the view that, even though there were serious concerns relating to these proposals which might perhaps prompt the Sub-Committee not to pursue the issue further, the Republic of Korea should nevertheless be invited to submit revised proposals to the next session, taking into account the comments made in plenary.

12.6 After some discussions, the Sub-Committee invited the Republic of Korea to submit revised proposals to STW 42 and also invited international organizations to submit information on existing relevant industry standards that were available to that session. In this context, the observer from ISF offered to contact other industry organizations and submit the requested information to STW 42.

13 WORK PROGRAMME AND AGENDA FOR STW 42 (RENAMED BIENNIAL AGENDA AND POST-BIENNIAL AGENDA AND PROVISIONAL AGENDA FOR STW 42)

13.1 Having noted the adoption of the High-level Action Plan of the Organization and priorities for the 2010-2011 biennium (resolution A.1012(26)), the Sub-Committee further noted that the Assembly, recognizing the need for a uniform basis for the application of the Strategic Plan and the High-level Action Plan throughout the Organization, and for the strengthening of existing working practices through the provision of enhanced planning and management

procedures, adopted Guidelines on the application of the Strategic Plan and the High-level Action Plan (resolution A.1013(26)). In particular, the Sub-Committee noted that the Assembly requested the Committee to review and revise, during the 2010-2011 biennium, the Committee's Guidelines on the organization and method of work (MSC-MEPC.1/Circ.2) with a view to bringing them in line with the Guidelines on the application of the Strategic Plan and the High-level Action Plan.

13.2 The Sub-Committee was informed that, in pursuance of the above request, the Secretariat, in consultation with the MSC and MEPC Chairmen, had prepared the draft revised Committee's Guidelines for consideration by MSC 87, which also took account of the provisions of the Migration Plan approved by the Council. In this regard, the Sub-Committee, in the context of this item, noted that, while the previous format for "work programme" had been replaced by the new format of "biennial agenda" and "post-biennial agenda", the existing format for the reporting on the status of planned outputs was replaced by a new format and that the Committee Chairmen had agreed to implement the use of the aforementioned new formats from the start of 2010, as set out in annexes 1 and 4 of document STW 41/WP.1.

13.3 Taking into account the progress made at the current session, the decisions of MSC 86 and the provisions of the agenda management procedure, the Sub-Committee prepared a draft biennial agenda and post-biennial agenda, and draft provisional agenda for STW 42 (STW 41/WP.1), based on those approved by MSC 86 (STW 41/2, annex 2), and set out in annex 7, for consideration and approval by the Committee. While reviewing the work programme, the Sub-Committee agreed to invite the Committee to:

- .1 extend the target completion date for the biennial agenda items:
 - .1 5.1.1.9 "Development of training standards for recovery systems" to 2012; and
 - .2 5.2.1.25 "Revision of the Recommendations for entering enclosed spaces aboard ships" to 2011 (paragraph 11.5); and
- .2 delete the biennial agenda items:
 - .1 5.2.2.1 "Comprehensive review of the STCW Convention and Code" (paragraph 7.12.4.2);
 - .2 5.2.2.6 "Training for seafarer safety representatives" (paragraph 5.4);
 - .3 5.2.2.3 and 12.1.2.3 "Review of the principles for establishing the safe manning level of ships including mandatory requirements for determining safe manning (paragraph 8.18); and
 - .4 6.3.2.1 "Measures to enhance maritime security" (paragraph 9.5).

Arrangements for the next session

13.4 The Sub-Committee anticipated that working and drafting groups on the following subjects might be established at STW 42:

- .1 Development of an e-navigation strategy implementation plan; and
- .2 Validation of model training courses.

High-level Action Plan of the Organization and priorities for the 2010-2011 biennium

13.5 The Sub-Committee noted the information on the status of planned output of the High-level Action Plan of the Organization and priorities for the 2010-2011 biennium relevant to the Sub-Committee, as set out in annex 8, which the Committee is invited to consider and take action on, as appropriate.

Date of the next session

13.6 The Sub-Committee noted that the forty-second session of the Sub-Committee had been tentatively scheduled to take place from 24 to 28 January 2011 at IMO Headquarters.

14 ELECTION OF CHAIRMAN AND VICE-CHAIRMAN FOR 2011

14.1 In accordance with the Rules of Procedure of the Maritime Safety Committee, the Sub-Committee unanimously re-elected Rear Admiral Peter Brady (Jamaica) as Chairman and Mr. A.H. Kayssi (Lebanon) as Vice-Chairman for the year 2011.

15 ANY OTHER BUSINESS

Dispensations issued under Article VIII of the STCW Convention

15.1 The Sub-Committee considered and noted the information provided (STW 41/15 and addenda) on the submissions made by the Parties in accordance with Article VIII of the STCW Convention on dispensations granted by them in the year 2008.

Lifeboat safety awareness

15.2 The Sub-Committee (STW 41/2/2 (part)) noted the information relating to the lifeboat safety poster, intended to enhance the safety of seafarers by making them aware of the dangers of launching a lifeboat, as developed by ILAMA and as set out in document DE 52/6/4.

Information on simulators available for use in maritime training

15.3 The Sub-Committee noted that, following the approval by MSC 81 of MSC.1/Circ.1209, requesting Member Governments to provide information on simulators available for use in maritime training, the Secretariat had received information from several Member Governments and added it to the GISIS database which could be viewed by the public on a “read-only” basis. Consequently, the Sub-Committee requested those Member Governments, who had not yet provided such information, to do so at an early date to enable the Secretariat to update the information in the GISIS database.

Information relating to the due date of the second cycle of reports of independent evaluations pursuant to STCW regulation I/8

15.4 The Sub-Committee recalled that, pursuant to the requirements of section A-I/8 of the STCW Code, STCW Parties are required to ensure that an independent evaluation of the knowledge, understanding, skills, competence acquisition and assessment activities, and administration of the certification activities, was conducted at intervals of not more than five years. Furthermore, pursuant to STCW regulation I/8, STCW Parties were required to

communicate information, relating to the evaluation, to the Secretary-General within six months of its completion. As of this date, 102 STCW Parties had communicated their reports of independent evaluation to the Secretary-General. In this context, the list annexed to MSC.1/Circ.1164/Rev.5 contained those STCW Parties, confirmed at various sessions of the Committee, which had communicated information pursuant to regulation I/7, demonstrating that they were giving full and complete effect to the relevant provisions of the STCW Convention and indicating:

- .1 the date of the report of independent evaluation communicated to the Secretary-General (if applicable); and
- .2 the outcome of the process of evaluation of the reports of independent evaluation communicated by the STCW Parties, demonstrating that they were continuing to give full and complete effect to the relevant provisions of the STCW Convention.

A number of STCW Parties had already submitted their second report of independent evaluation. The due date for the second cycle of independent evaluation would be five years from the date of the last evaluation.

15.5 Accordingly, the Sub-Committee urged all STCW Parties, confirmed by the Maritime Safety Committee to be found to be giving “full and complete effect” to the relevant requirements of the STCW Convention, to take the necessary steps to complete either the first or the second independent evaluation, as appropriate, on or before the due date and communicate the information to the Secretary-General within six months of completion of the independent evaluation.

2010 ISF/BIMCO Manpower Study

15.6 The observer from ISF urged Member Governments to complete the questionnaire for the 2010 ISF/BIMCO Manpower Study which would be made available to all delegates. This would assist in ensuring accurate supply and demand projections in a timely manner. Furthermore, completion of the questionnaire online would facilitate speedy data analysis in order to provide feedback relating to the findings and proposed actions.

Expression of appreciations

15.7 The Sub-Committee expressed appreciation to the following delegates, who had recently relinquished their duties, retired or were transferred to other duties, for their invaluable contribution to its work and wished them every success in their new duties:

- Admiral Carlos Saraiva Ribeiro of Brazil (on his impending retirement);
- Captain Otto Mrugalski of Chile (on his return home); and
- Captain Panayotis Pacoutas of Cyprus (on retirement).

Expression of condolences

15.8 The Sub-Committee noted with sadness the catastrophic and devastating effects of the earthquake in Haiti and expressed its sincere condolences to the families and friends of all the victims who had either perished or had been affected by this tragedy.

16 ACTION REQUESTED OF THE COMMITTEE

16.1 The Maritime Safety Committee, at its eighty-seventh session, is invited to:

- .1 decide whether any additional training is necessary for entry into enclosed spaces, after consideration of the reports of Sub-Committees concerned with this issue and, if so, invite the STCW Conference to include additional training measures in the proposed amendments to the STCW Convention and Code, taking into account that the proposed texts in chapters V and VI already provide the basic knowledge requirements for entry into enclosed spaces (paragraph 7.6.10);
- .2 endorse the draft amendments to:
 - .1 the International Convention on Standards of Training, Certification and Watchkeeping for Seafarers (STCW), 1978;
 - .2 Part “A” of Seafarers’ Training, Certification and Watchkeeping Code; and
 - .3 Part “B” of Seafarers’ Training, Certification and Watchkeeping Code, submitted to the Conference of Parties to the STCW Convention, as authorized by MSC 86, with a view to adoption (paragraph 7.12.4.1 and annexes 1 to 3); and
- .3 endorse the thirteen draft Conference resolutions submitted to the Conference of Parties to the STCW Convention with a view to adoption (paragraph 17.12.4.1 and annex 4).

16.2 In reviewing the biennial agenda and post-biennial agenda of the Sub-Committee, the Committee is invited to consider the revisions proposed by the Sub-Committee in general and, in particular, to:

- .1 extend the target completion date for the biennial agenda items:
 - .1 5.1.1.9 “Development of training standards for recovery systems” to 2012; and
 - .2 5.2.1.25 “Revision of the Recommendations for entering enclosed spaces aboard ships” to 2011 (paragraph 11.5); and
- .2 delete the biennial agenda and post-biennial agenda items:
 - .1 5.2.2.1 “Comprehensive review of the STCW Convention and Code” (paragraph 7.12.4.2);
 - .2 5.2.2.6 “Training for seafarer safety representatives” (paragraph 5.4);
 - .3 5.2.2.3 and 12.1.2.3 “Review of the principles for establishing the safe manning level of ships including mandatory requirements for determining safe manning (paragraph 8.18);

.4 6.3.2.1 “Measures to enhance maritime security” (paragraph 9.5); and

.5 STW 3 “Review of the implementation of STCW chapter VII”.

16.3 The Committee is also invited to approve the draft provisional agenda for the Sub-Committee’s forty-second session (paragraph 13.3 and annex 7).

16.4 The Committee is further invited to note the status of planned output of the High-level Action Plan relevant to the Sub-Committee (paragraph 13.5 and annex 8).

16.5 The Maritime Safety Committee, at its eighty-eighth session, is invited to approve:

- .1 the draft Assembly resolution on Principles of Minimum Safe Manning, subject to comments made by NAV 56 (paragraph 8.14 and annex 5) with a view to submission to A 27 for adoption; and
- .2 the draft amendments to regulation V/14 of the International Convention for the Safety of Life at Sea, 1974, as amended, subject to comments made by NAV 56 (paragraph 8.15 and annex 6) with a view to adoption by MSC 89.

(Annexes 1 to 3 will be issued as an addendum)

ANNEX 1

**DRAFT AMENDMENTS TO THE INTERNATIONAL CONVENTION ON
STANDARDS OF TRAINING, CERTIFICATION AND WATCHKEEPING
FOR SEAFARERS, 1978, AS AMENDED**

CHAPTER I

General provisions

Regulation I/1*Definitions and clarifications*

- 1 For the purpose of the Convention, unless expressly provided otherwise:
 - .1 *Regulations* means regulations contained in the annex to the Convention;
 - .2 *Approved* means approved by the Party in accordance with these regulations;
 - .3 *Master* means the person having command of a ship;
 - .4 *Officer* means a member of the crew, other than the master, designated as such by national law or regulations or, in the absence of such designation, by collective agreement or custom;
 - .5 *Deck officer* means an officer qualified in accordance with the provisions of chapter II of the Convention;
 - .6 *Chief mate* means the officer next in rank to the master and upon whom the command of the ship will fall in the event of the incapacity of the master;
 - .7 *Engineer officer* means an officer qualified in accordance with the provisions of chapter III of the Convention;
 - .8 *Chief engineer officer* means the senior engineer officer responsible for the mechanical propulsion and the operation and maintenance of the mechanical and electrical installations of the ship;
 - .9 *Second engineer officer* means the engineer officer next in rank to the chief engineer officer and upon whom the responsibility for the mechanical propulsion and the operation and maintenance of the mechanical and electrical installations of the ship will fall in the event of the incapacity of the chief engineer officer;
 - .10 *Assistant engineer officer* means a person under training to become an engineer officer and designated as such by national law or regulations;
 - .11 *Radio operator* means a person holding an appropriate certificate issued or recognized by the Administration under the provisions of the Radio Regulations;

- .12 *GMDSS radio operator* means a person who is qualified in accordance with the provisions of chapter IV of the Convention;
- .13 *Rating* means a member of the ship's crew other than the master or an officer;
- .14 *Near-coastal voyages* means voyages in the vicinity of a Party as defined by that Party;
- .15 *Propulsion power* means the total maximum continuous rated output power, in kilowatts, of all the ship's main propulsion machinery which appears on the ship's certificate of registry or other official document;
- .16 *Radio duties* include, as appropriate, watchkeeping and technical maintenance and repairs conducted in accordance with the Radio Regulations, the International Convention for the Safety of Life at Sea and, at the discretion of each Administration, the relevant recommendations of the Organization;
- .17 *Oil tanker* means a ship constructed and used for the carriage of petroleum and petroleum products in bulk;
- .18 *Chemical tanker* means a ship constructed or adapted and used for the carriage in bulk of any liquid product listed in chapter 17 of the International Bulk Chemical Code;
- .19 *Liquefied gas tanker* means a ship constructed or adapted and used for the carriage in bulk of any liquefied gas or other product listed in chapter 19 of the International Gas Carrier Code;
- .20 *Passenger ship* means a ship as defined in the International Convention for the Safety of Life at Sea, 1974, as amended;
- .21 *Ro-ro passenger ship* means a passenger ship with ro-ro cargo spaces or special category spaces as defined in the International Convention for the Safety of Life at Sea, 1974, as amended;
- .22 *Month* means a calendar month or 30 days made up of periods of less than one month;
- .23 *STCW Code* means the Seafarers' Training, Certification and Watchkeeping (STCW) Code as adopted by the 1995 Conference resolution 2, as it may be amended;
- .24 *Function* means a group of tasks, duties and responsibilities, as specified in the STCW Code, necessary for ship operation, safety of life at sea or protection of the marine environment;
- .25 *Company* means the owner of the ship or any other organization or person such as the manager, or the bareboat charterer, who has assumed the responsibility for operation of the ship from the shipowner and who, on assuming such responsibility, has agreed to take over all the duties and responsibilities imposed on the company by these regulations;

- .26 *Seagoing service* means service on board a ship relevant to the issue of a certificate or other qualification;
- .27 *ISPS Code* means the International Ship and Port Facility Security (ISPS) Code adopted on 12 December 2002, by resolution 2 of the Conference of Contracting Governments to the International Convention for the Safety of Life at Sea (SOLAS), 1974, as may be amended by the Organization;
- .28 *Ship security officer* means the person on board the ship, accountable to the master, designated by the Company as responsible for the security of the ship including implementation and maintenance of the ship security plan and liaison with the Company security officer and port facility security officers;
- .29 *Certificate of competency* means a certificate issued and endorsed for masters, officers and GMDSS radio operators in accordance with the provisions of chapters II, III, IV or VII of this annex and entitling the lawful holder thereof to serve in the capacity and perform the functions involved at the level of responsibility specified therein;
- .30 *Certificate of proficiency* means a certificate, other than a certificate of competency issued to a seafarer, stating that the relevant requirements of training, competencies or sea-going service in the Convention have been met;
- .31 *Security duties* include all security tasks and duties on board ships as defined by chapter XI-2 of the International Convention for the Safety of Life at Sea (SOLAS 1974, as amended) and the International Ship and Port Facility Security (ISPS) Code;
- .32 *Electro-technical officer* means an officer qualified in accordance with the provisions of chapter III of the Convention;
- .33 *Able seafarer deck* means a rating qualified in accordance with the provisions of chapter II of the Convention;
- .34 *Able seafarer engine* means a rating qualified in accordance with the provisions of chapter III of the Convention;
- .35 *Electro-technical rating* means a rating qualified in accordance with the provisions of chapter III of the Convention;
- .36 *Documentary evidence* means documentation, other than a certificate of competency or certificate of proficiency, used to establish that the relevant requirements of the Convention have been met.

2 These regulations are supplemented by the mandatory provisions contained in part A of the STCW Code and:

- .1 any reference to a requirement in a regulation also constitutes a reference to the corresponding section of part A of the STCW Code;

- .2 in applying these regulations, the related guidance and explanatory material contained in part B of the STCW Code should be taken into account to the greatest degree possible in order to achieve a more uniform implementation of the Convention provisions on a global basis;
- .3 amendments to part A of the STCW Code shall be adopted, brought into force and take effect in accordance with the provisions of article XII of the Convention concerning the amendment procedure applicable to the annex; and
- .4 part B of the STCW Code shall be amended by the Maritime Safety Committee in accordance with its rules of procedure.

3 The references made in article VI of the Convention to “the Administration” and “the issuing Administration” shall not be construed as preventing any Party from issuing and endorsing certificates under the provisions of these regulations.

Regulation I/2

Certificates and endorsements

- 1 Certificates of competency shall be issued only by the Administration, following verification of the authenticity and validity of any necessary documentary evidence.
- 2 Certificates issued in accordance with the provisions of regulations V/1-1 and V/1-2 to masters and officers shall only be issued by an Administration.
- 3 Certificates shall be in the official language or languages of the issuing country. If the language used is not English, the text shall include a translation into that language.
- 4 In respect of radio operators, Parties may:
 - .1 include the additional knowledge required by the relevant regulations in the examination for the issue of a certificate complying with the Radio Regulations; or
 - .2 issue a separate certificate indicating that the holder has the additional knowledge required by the relevant regulations.
- 5 The endorsement required by article VI of the Convention to attest the issue of a certificate shall only be issued if all the requirements of the Convention have been complied with.
- 6 At the discretion of a Party, endorsements may be incorporated in the format of the certificates being issued as provided for in section A-I/2 of the STCW Code. If so incorporated, the form used shall be that set forth in section A-I/2, paragraph 1. If issued otherwise, the form of endorsements used shall be that set forth in paragraph 2 of that section.
- 7 An Administration which recognizes under regulation I/10:
 - .1 a certificate of competency; or

- .2 a certificate of proficiency issued to masters and officers in accordance with the provisions of regulations V/1-1 and V/1-2,

shall endorse such certificate to attest its recognition only after ensuring the authenticity and validity of the certificate. The endorsement shall only be issued if all requirements of the Convention have been complied with. The form of the endorsement used shall be that set forth in paragraph 3 of section A-I/2 of the STCW Code.

- 8 The endorsements referred to in paragraphs 5, 6 and 7:

- .1 may be issued as separate documents;

- .2 shall be issued by the Administration only;

- .3 shall each be assigned a unique number, except that endorsements attesting the issue of a certificate may be assigned the same number as the certificate concerned, provided that number is unique; and

- .4 shall expire as soon as the certificate endorsed expires or is withdrawn, suspended or cancelled by the Party which issued it and, in any case, not more than five years after their date of issue.

- 9 The capacity in which the holder of a certificate is authorized to serve shall be identified in the form of endorsement in terms identical to those used in the applicable safe manning requirements of the Administration.

- 10 Administrations may use a format different from the format given in section A-I/2 of the STCW Code, provided that, as a minimum, the required information is provided in Roman characters and Arabic figures, taking into account the variations permitted under section A-I/2.

- 11 Subject to the provisions of regulation I/10, paragraph 5, any certificate required by the Convention must be kept available in its original form on board the ship on which the holder is serving.

- 12 Each Party shall ensure that certificates are issued only to candidates who comply with the requirements of this regulation.

- 13 Candidates for certification shall provide satisfactory proof:

- .1 of their identity;

- .2 that their age is not less than that prescribed in the regulation relevant to the certificate applied for;

- .3 that they meet the standards of medical fitness specified in section A-I/9 of the STCW Code;

- .4 of having completed the seagoing service and any related compulsory training required by these regulations for the certificate applied for; and
- .5 that they meet the standards of competence prescribed by these regulations for the capacities, functions and levels that are to be identified in the endorsement to the certificate.

14 Each Party undertakes to maintain a register or registers of all certificates and endorsements for masters, officers, and, as applicable, ratings which are issued, have expired or have been revalidated, suspended, cancelled or reported lost or destroyed and of dispensations issued.

15 Each Party undertakes to make available information on the status of such certificates of competency, endorsements and dispensations to other Parties and companies which request verification of the authenticity and validity of certificates produced to them by seafarers seeking recognition of their certificates under regulation I/10 or employment on board ship.

16 As of [date of entry into force + [...] years], the information on the status of information required to be available in accordance with paragraph 14 of this regulation shall be made available, in the English language, through electronic databases.

Regulation I/3

Principles governing near-coastal voyages

1 Any Party defining near-coastal voyages for the purpose of the Convention shall not impose training, experience or certification requirements on the seafarers serving on board the ships entitled to fly the flag of another Party and engaged on such voyages in a manner resulting in more stringent requirements for such seafarers than for seafarers serving on board ships entitled to fly its own flag. In no case shall any such Party impose requirements in respect of seafarers serving on board ships entitled to fly the flag of another Party in excess of those of the Convention in respect of ships not engaged on near-coastal voyages.

2 A Party that, for ships afforded the benefits of the near-coastal voyage provisions of the Convention, which includes voyages off the coast of other Parties within the limits of their near-coastal definition, shall enter into an undertaking with the parties concerned specifying the details of both involved trading areas and other relevant conditions.

3 With respect to ships entitled to fly the flag of a Party regularly engaged on near-coastal voyages off the coast of another Party, the Party whose flag the ship is entitled to fly shall prescribe training, experience and certification requirements for seafarers serving on such ships at least equal to those of the Party off whose coast the ship is engaged, provided that they do not exceed the requirements of the Convention in respect of ships not engaged on near-coastal voyages. Seafarers serving on a ship which extends its voyage beyond what is defined as a near-coastal voyage by a Party and enters waters not covered by that definition shall fulfil the appropriate competency requirements of the Convention.

4 A Party may afford a ship which is entitled to fly its flag the benefits of the near-coastal voyage provisions of the Convention when it is regularly engaged off the coast of a non-Party on near-coastal voyages as defined by the Party.

5 The certificates of seafarers issued by a Party for its defined near-coastal voyages limits may be accepted by other parties for service in their defined near-coastal voyages limits, provided the parties concerned enter into an undertaking specifying the details of involved trading areas and other relevant conditions thereof.

6 Parties defining near-coastal voyages, in accordance with the requirements of this regulation, shall:

- .1 meet the principles governing near-coastal voyages specified in section A-I/3;
- .2 communicate to the Secretary-General, in conformity with the requirements of regulation I/7, the details of the provisions adopted; and
- .3 incorporate the near-coastal voyages limits in the endorsements issued pursuant to regulation I/2, paragraph 5, 6 or 7.

7 Nothing in this regulation shall, in any way, limit the jurisdiction of any State, whether or not a Party to the Convention.

Regulation I/4

Control procedures

1 Control exercised by a duly authorized control officer under article X shall be limited to the following:

- .1 verification in accordance with article X(1) that all seafarers serving on board who are required to be certificated in accordance with the Convention hold an appropriate certificate or a valid dispensation, or provide documentary proof that an application for an endorsement has been submitted to the Administration in accordance with regulation I/10, paragraph 5;
- .2 verification that the numbers and certificates of the seafarers serving on board are in conformity with the applicable safe manning requirements of the Administration; and
- .3 assessment, in accordance with section A-I/4 of the STCW Code, of the ability of the seafarers of the ship to maintain watchkeeping and security standards, as appropriate, as required by the Convention if there are clear grounds for believing that such standards are not being maintained because any of the following have occurred:
 - .3.1 the ship has been involved in a collision, grounding or stranding, or
 - .3.2 there has been a discharge of substances from the ship when under way, at anchor or at berth which is illegal under any international convention, or

- .3.3 the ship has been manoeuvred in an erratic or unsafe manner whereby routing measures adopted by the Organization or safe navigation practices and procedures have not been followed, or
- .3.4 the ship is otherwise being operated in such a manner as to pose a danger to persons, property, the environment, or a compromise to security.

2 Deficiencies which may be deemed to pose a danger to persons, property or the environment include the following:

- .1 failure of seafarers to hold a certificate, to have an appropriate certificate, to have a valid dispensation or to provide documentary proof that an application for an endorsement has been submitted to the Administration in accordance with regulation I/10, paragraph 5;
- .2 failure to comply with the applicable safe manning requirements of the Administration;
- .3 failure of navigational or engineering watch arrangements to conform to the requirements specified for the ship by the Administration;
- .4 absence in a watch of a person qualified to operate equipment essential to safe navigation, safety radiocommunications or the prevention of marine pollution; and
- .5 inability to provide, for the first watch at the commencement of a voyage and for subsequent relieving watches, persons who are sufficiently rested and otherwise fit for duty.

3 Failure to correct any of the deficiencies referred to in paragraph 2, in so far as it has been determined by the Party carrying out the control that they pose a danger to persons, property or the environment, shall be the only grounds under article X on which a Party may detain a ship.

Regulation I/5

National provisions

1 Each Party shall establish processes and procedures for the impartial investigation of any reported incompetency, act, omission or compromise to security that may pose a direct threat to safety of life or property at sea or to the marine environment by the holders of certificates or endorsements issued by that Party in connection with their performance of duties related to their certificates and for the withdrawal, suspension and cancellation of such certificates for such cause and for the prevention of fraud.

2 Each Party shall take and enforce appropriate measures to prevent fraud and other unlawful practices involving certificates and endorsements issued.

3 Each Party shall prescribe penalties or disciplinary measures for cases in which the provisions of its national legislation giving effect to the Convention are not complied with in respect of ships entitled to fly its flag or of seafarers duly certificated by that Party.

4 In particular, such penalties or disciplinary measures shall be prescribed and enforced in cases in which:

- .1 a company or a master has engaged a person not holding a certificate as required by the Convention;
- .2 a master has allowed any function or service in any capacity required by these regulations to be performed by a person holding an appropriate certificate to be performed by a person not holding the required certificate, a valid dispensation or having the documentary proof required by regulation I/10, paragraph 5; or
- .3 a person has obtained by fraud or forged documents an engagement to perform any function or serve in any capacity required by these regulations to be performed or filled by a person holding a certificate or dispensation.

5 A Party, within whose jurisdiction there is located any company which, or any person who, is believed on clear grounds to have been responsible for, or to have knowledge of, any apparent non-compliance with the Convention specified in paragraph 4, shall extend all co-operation possible to any Party which advises it of its intention to initiate proceedings under its jurisdiction.

Regulation I/6

Training and assessment

Each Party shall ensure that:

- .1 the training and assessment of seafarers, as required under the Convention, are administered, supervised and monitored in accordance with the provisions of section A-I/6 of the STCW Code; and
- .2 those responsible for the training and assessment of competence of seafarers, as required under the Convention, are appropriately qualified in accordance with the provisions of section A-I/6 of the STCW Code for the type and level of training or assessment involved.

Regulation I/7

Communication of information

1 In addition to the information required to be communicated by article IV, each Party shall provide to the Secretary-General, within the time periods prescribed and in the format specified in section A-I/7 of the STCW Code, such other information as may be required by the Code on other steps taken by the Party to give the Convention full and complete effect.

2 When complete information as prescribed in article IV and section A-I/7 of the STCW Code has been received and such information confirms that full and complete effect is given to the provisions of the Convention, the Secretary-General shall submit a report to this effect to the Maritime Safety Committee.

3 Following subsequent confirmation by the Maritime Safety Committee, in accordance with procedures adopted by the Committee, that the information which has been provided demonstrates that full and complete effect is given to the provisions of the Convention:

- .1 the Maritime Safety Committee shall identify the Parties so concerned;
 - .2 review the list of Parties which communicated information that demonstrated that they give full and complete effect to the relevant provisions of the Convention, to retain in this list only the Parties so concerned; and
 - .3 other Parties shall be entitled, subject to the provisions of regulations I/4 and I/10, to accept, in principle, that certificates issued by or on behalf of the Parties identified in paragraph 3.1 are in compliance with the Convention.
- 4 Amendments to the Convention and STCW Code, with dates of entry into force later than the date information has been, or will be, communicated to the Secretary-General in accordance with the provisions of paragraph 1, are not subject to the provisions of section A-I/7, paragraphs 1 and 2.

Regulation I/8 *Quality standards*

1 Each Party shall ensure that:

- .1 in accordance with the provisions of section A-I/8 of the STCW Code, all training, assessment of competence, certification, including procedures for the issue of medical certificates in accordance with section A-I/9 of the STCW Code, endorsement and revalidation activities carried out by non-governmental agencies or entities under its authority are continuously monitored through a quality standards system to ensure achievement of defined objectives, including those concerning the qualifications and experience of instructors and assessors; and
- .2 where governmental agencies or entities perform such activities, there shall be a quality standards system.

2 Each Party shall also ensure that an evaluation is periodically undertaken, in accordance with the provisions of section A-I/8 of the STCW Code, by qualified persons who are not themselves involved in the activities concerned. This evaluation shall include all changes to national regulations and procedures in compliance with the amendments to the Convention and STCW Code, with dates of entry into force later than the date information was communicated to the Secretary-General.

3 A report containing the results of the evaluation required by paragraph 2 shall be communicated to the Secretary-General in accordance with the format specified in section A-I/7 of the STCW Code.

Regulation I/9 *Medical standards*

1 Each Party shall establish standards of medical fitness for seafarers and procedures for the issue of a medical certificate in accordance with the provisions of this regulation and of section A-I/9 of the STCW Code.

- 2 Each Party shall ensure that those responsible for assessing the medical fitness of seafarers are medical practitioners recognized by the Party for the purpose of seafarer medical examinations, in accordance with the provisions of section A-I/9 of the STCW Code.
- 3 Every seafarer holding a certificate issued under the provisions of the Convention, who is serving at sea, shall also hold a valid medical certificate issued in accordance with the provisions of this regulation and of section A-I/9 of the STCW Code.
- 4 Every candidate for certification shall:
 - .1 be not less than 16 years of age;
 - .2 provide satisfactory proof of his/her identity; and
 - .3 meet the applicable medical fitness standards established by the Party.
- 5 Medical certificates shall remain valid for a maximum period of two years unless the seafarer is under the age of 18, in which case the maximum period of validity shall be one year.
- 6 If the period of validity of a medical certificate expires in the course of a voyage, then the medical certificate shall continue in force until the next port of call where a medical practitioner recognized by the Party is available, provided that the period shall not exceed three months.

Regulation I/10

Recognition of certificates

- 1 Each Administration shall ensure that the provisions of this regulation are complied with, in order to recognize, by endorsement in accordance with regulation I/2, paragraph 7, a certificate issued by or under the authority of another Party to a master, officer or radio operator and that:
 - .1 the Administration has confirmed, through an evaluation of that Party, which may include inspection of facilities and procedures, that the requirements of the Convention regarding standards of competence, training and certification and quality standards are fully complied with; and
 - .2 an undertaking is agreed with the Party concerned that prompt notification will be given of any significant change in the arrangements for training and certification provided in compliance with the Convention.
- 2 Measures shall be established to ensure that seafarers who present, for recognition, certificates issued under the provisions of regulations II/2, III/2 or III/3, or issued under VII/1 at the management level, as defined in the STCW Code, have an appropriate knowledge of the maritime legislation of the Administration relevant to the functions they are permitted to perform.
- 3 Information provided and measures agreed upon under this regulation shall be communicated to the Secretary-General in conformity with the requirements of regulation I/7.
- 4 Certificates issued by or under the authority of a non-Party shall not be recognized.

5 Notwithstanding the requirement of regulation I/2, paragraph 7, an Administration may, if circumstances require, **subject to the provisions of paragraph 1**, allow a seafarer to serve for a period not exceeding three months on board a ship entitled to fly its flag, while holding an appropriate and valid certificate issued and endorsed as required by another Party for use on board that Party's ships but which has not yet been endorsed so as to render it appropriate for service on board ships entitled to fly the flag of the Administration. Documentary proof shall be readily available that application for an endorsement has been submitted to the Administration.

6 Certificates and endorsements issued by an Administration under the provisions of this regulation in recognition of, or attesting the recognition of, a certificate issued by another Party shall not be used as the basis for further recognition by another Administration.

Regulation I/11

Revalidation of certificates

1 Every master, officer and radio operator holding a certificate issued or recognized under any chapter of the Convention other than chapter VI, who is serving at sea or intends to return to sea after a period ashore, shall, in order to continue to qualify for seagoing service, be required, at intervals not exceeding five years, to:

- .1 meet the standards of medical fitness prescribed by regulation I/9; and
- .2 establish continued professional competence in accordance with section A-I/11 of the STCW Code.

2 Every master, officer and radio operator shall, for continuing seagoing service on board ships for which special training requirements have been internationally agreed upon, successfully complete approved relevant training.

3 Every master and officer shall, for continuing seagoing service on board tankers, meet the requirements in paragraph 1 of this regulation and be required, at intervals not exceeding five years, to establish continued professional competence for tankers in accordance with section A-I/11, paragraph 3 of the STCW Code.

4 Each Party shall compare the standards of competence which it required of candidates for certificates issued before **[date of entry into force plus five years]** with those specified for the appropriate certificate in part A of the STCW Code, and shall determine the need for requiring the holders of such certificates to undergo appropriate refresher and updating training or assessment.

5 The Party shall, in consultation with those concerned, formulate or promote the formulation of a structure of refresher and updating courses as provided for in section A-I/11 of the STCW Code.

6 For the purpose of updating the knowledge of masters, officers and radio operators, each Administration shall ensure that the texts of recent changes in national and international regulations concerning the safety of life at sea, **security** and the protection of the marine environment are made available to ships entitled to fly its flag.

Regulation I/12

Use of simulators

1 The performance standards and other provisions set forth in section A-I/12 and such other requirements as are prescribed in part A of the STCW Code for any certificate concerned shall be complied with in respect of:

- .1 all mandatory simulator-based training;
- .2 any assessment of competency required by part A of the STCW Code which is carried out by means of a simulator; and
- .3 any demonstration, by means of a simulator, of continued proficiency required by part A of the STCW Code.

Regulation I/13

Conduct of trials

1 These regulations shall not prevent an Administration from authorizing ships entitled to fly its flag to participate in trials.

2 For the purposes of this regulation, the term *trial* means an experiment or series of experiments, conducted over a limited period, which may involve the use of automated or integrated systems in order to evaluate alternative methods of performing specific duties or satisfying particular arrangements prescribed by the Convention, which would provide at least the same degree of safety and pollution prevention as provided by these regulations.

3 The Administration authorizing ships to participate in trials shall be satisfied that such trials are conducted in a manner that provides at least the same degree of safety and pollution prevention as provided by these regulations. Such trials shall be conducted in accordance with guidelines adopted by the Organization*.

4 Details of such trials shall be reported to the Organization as early as practicable but not less than six months before the date on which the trials are scheduled to commence. The Organization shall circulate such particulars to all Parties.

5 The results of trials authorized under paragraph 1, and any recommendations the Administration may have regarding those results, shall be reported to the Organization, which shall circulate such results and recommendations to all Parties.

6 Any Party having any objection to particular trials authorized in accordance with this regulation should communicate such objection to the Organization as early as practicable. The Organization shall circulate details of the objection to all Parties.

* Refer to MSC/Circ.566, Provisional Guidelines on the conduct of trials in which the officer of the navigational watch acts as the sole look-out in periods of darkness, and MSC/Circ.867, Officer of the navigational watch acting as the sole look-out in periods of darkness.

7 An Administration which has authorized a trial shall respect objections received from other Parties relating to such trial by directing ships entitled to fly its flag not to engage in a trial while navigating in the waters of a coastal State which has communicated its objection to the Organization.

8 An Administration which concludes, on the basis of a trial, that a particular system will provide at least the same degree of safety and pollution prevention as provided by these regulations may authorize ships entitled to fly its flag to continue to operate with such a system indefinitely, subject to the following requirements:

- .1 the Administration shall, after results of the trial have been submitted in accordance with paragraph 5, provide details of any such authorization, including identification of the specific ships which may be subject to the authorization, to the Organization, which will circulate this information to all Parties;
- .2 any operations authorized under this paragraph shall be conducted in accordance with any guidelines developed by the Organization, to the same extent as they apply during a trial;
- .3 such operations shall respect any objections received from other Parties in accordance with paragraph 7, to the extent such objections have not been withdrawn; and
- .4 an operation authorized under this paragraph shall only be permitted pending a determination by the Maritime Safety Committee as to whether an amendment to the Convention would be appropriate, and, if so, whether the operation should be suspended or permitted to continue before the amendment enters into force.

9 At the request of any Party, the Maritime Safety Committee shall establish a date for the consideration of the trial results and for the appropriate determinations.

Regulation I/14

Responsibilities of companies

1 Each Administration shall, in accordance with the provisions of section A-I/14, hold companies responsible for the assignment of seafarers for service in their ships in accordance with the provisions of the present Convention, and shall require every such company to ensure that:

- .1 each seafarer assigned to any of its ships holds an appropriate certificate in accordance with the provisions of the Convention and as established by the Administration;
- .2 its ships are manned in compliance with the applicable safe manning requirements of the Administration;
- .3 seafarers assigned to any of its ships have received refresher and updating training as required by the Convention;

- .4 documentation and data relevant to all seafarers employed on its ships are maintained and readily accessible, and include, without being limited to, documentation and data on their experience, training, medical fitness and competency in assigned duties;
- .5 seafarers, on being assigned to any of its ships, are familiarized with their specific duties and with all ship arrangements, installations, equipment, procedures and ship characteristics that are relevant to their routine or emergency duties;
- .6 the ship's complement can effectively coordinate their activities in an emergency situation and in performing functions vital to safety, security and to the prevention or mitigation of pollution; and
- .7 at all times on board its ships there shall be effective oral communication in accordance with chapter V, regulation 14, paragraphs 3 and 4 of the SOLAS Convention.

Regulation I/15

Transitional provisions

- 1 Until [date of entry into force plus five years], a Party may continue to issue, recognize and endorse certificates in accordance with the provisions of the Convention which applied immediately prior to [date of entry into force] in respect of those seafarers who commenced approved seagoing service, an approved education and training programme or an approved training course before [date of entry into force plus one year and six months].
- 2 Until [date of entry into force plus five years], a Party may continue to renew and revalidate certificates and endorsements in accordance with the provisions of the Convention which applied immediately prior to [date of entry into force].

CHAPTER II

Master and deck department

Regulation II/1

Mandatory minimum requirements for certification of officers in charge of a navigational watch on ships of 500 gross tonnage or more

- 1 Every officer in charge of a navigational watch serving on a seagoing ship of 500 gross tonnage or more shall hold a certificate of competency.
- 2 Every candidate for certification shall:
 - .1 be not less than 18 years of age;
 - .2 have approved seagoing service of not less than 12 months as part of an approved training programme which includes onboard training that meets the requirements of section A-II/1 of the STCW Code and is documented in an approved training record book, or otherwise have approved seagoing service of not less than 36 months;
 - .3 have performed, during the required seagoing service, bridge watchkeeping duties under the supervision of the master or a qualified officer for a period of not less than six months;
 - .4 meet the applicable requirements of the regulations in chapter IV, as appropriate, for performing designated radio duties in accordance with the Radio Regulations;
 - .5 have completed approved education and training and meet the standard of competence specified in section A-II/1 of the STCW Code; and
 - .6 meet the standards of competence specified in section A-VI/1, paragraph 2, section A-VI/2, paragraphs 1 to 4, section A-VI/3, paragraphs 1 to 4 and section A-VI/4, paragraphs 1 to 3 of the STCW Code.

Regulation II/2

Mandatory minimum requirements for certification of masters and chief mates on ships of 500 gross tonnage or more

Master and chief mate on ships of 3,000 gross tonnage or more

- 1 Every master and chief mate on a seagoing ship of 3,000 gross tonnage or more shall hold a certificate of competency.
- 2 Every candidate for certification shall:
 - .1 meet the requirements for certification as an officer in charge of a navigational watch on ships of 500 gross tonnage or more and have approved seagoing service in that capacity:

- .1.1 for certification as chief mate, not less than 12 months, and
- .1.2 for certification as master, not less than 36 months; however, this period may be reduced to not less than 24 months if not less than 12 months of such seagoing service has been served as chief mate; and
- .2 have completed approved education and training and meet the standard of competence specified in section A-II/2 of the STCW Code for masters and chief mates on ships of 3,000 gross tonnage or more.

Master and chief mate on ships of between 500 and 3,000 gross tonnage

3 Every master and chief mate on a seagoing ship of between 500 and 3,000 gross tonnage shall hold a certificate of competency.

4 Every candidate for certification shall:

- .1 for certification as chief mate, meet the requirements of an officer in charge of a navigational watch on ships of 500 gross tonnage or more;
- .2 for certification as master, meet the requirements of an officer in charge of a navigational watch on ships of 500 gross tonnage or more and have approved seagoing service of not less than 36 months in that capacity; however, this period may be reduced to not less than 24 months if not less than 12 months of such seagoing service has been served as chief mate; and
- .3 have completed approved training and meet the standard of competence specified in section A-II/2 of the STCW Code for masters and chief mates on ships of between 500 and 3,000 gross tonnage.

Regulation II/3

Mandatory minimum requirements for certification of officers in charge of a navigational watch and of masters on ships of less than 500 gross tonnage

Ships not engaged on near-coastal voyages

1 Every officer in charge of a navigational watch serving on a seagoing ship of less than 500 gross tonnage not engaged on near-coastal voyages shall hold a certificate of competency for ships of 500 gross tonnage or more.

2 Every master serving on a seagoing ship of less than 500 gross tonnage not engaged on near-coastal voyages shall hold a certificate of competency for service as master on ships of between 500 and 3,000 gross tonnage.

Ships engaged on near-coastal voyages

Officer in charge of a navigational watch

3 Every officer in charge of a navigational watch on a seagoing ship of less than 500 gross tonnage engaged on near-coastal voyages shall hold a certificate of competency.

4 Every candidate for certification as officer in charge of a navigational watch on a seagoing ship of less than 500 gross tonnage engaged on near-coastal voyages shall:

- .1 be not less than 18 years of age;
- .2 have completed:
 - .2.1 special training, including an adequate period of appropriate seagoing service as required by the Administration, or
 - .2.2 approved seagoing service in the deck department of not less than 36 months;
- .3 meet the applicable requirements of the regulations in chapter IV, as appropriate, for performing designated radio duties in accordance with the Radio Regulations;
- .4 have completed approved education and training and meet the standard of competence specified in section A-II/3 of the STCW Code for officers in charge of a navigational watch on ships of less than 500 gross tonnage engaged on near-coastal voyages; and
- .5 meet the standard of competence specified in section A-VI/1, paragraph 2, section A-VI/2, paragraphs 1 to 4, section A-VI/3, paragraphs 1 to 4 and section A-VI/4, paragraphs 1 to 3 of the STCW Code.

Master

5 Every master serving on a seagoing ship of less than 500 gross tonnage engaged on near-coastal voyages shall hold a certificate of competency.

6 Every candidate for certification as master on a seagoing ship of less than 500 gross tonnage engaged on near-coastal voyages shall:

- .1 be not less than 20 years of age;
- .2 have approved seagoing service of not less than 12 months as officer in charge of a navigational watch;
- .3 have completed approved education and training and meet the standard of competence specified in section A-II/3 of the STCW Code for masters on ships of less than 500 gross tonnage engaged on near-coastal voyages; and
- .4 meet the standard of competence specified in section A-VI/1, paragraph 2, section A-VI/2, paragraphs 1 to 4, section A-VI/3, paragraphs 1 to 4 and section A-VI/4, paragraphs 1 to 3 of the STCW Code.

Exemptions

7 The Administration, if it considers that a ship's size and the conditions of its voyage are such as to render the application of the full requirements of this regulation and section A-II/3 of the STCW Code unreasonable or impracticable, may to that extent exempt the master and the

officer in charge of a navigational watch on such a ship or class of ships from some of the requirements, bearing in mind the safety of all ships which may be operating in the same waters.

Regulation II/4

*Mandatory minimum requirements for certification of ratings forming part of a navigational watch**

1 Every rating forming part of a navigational watch on a seagoing ship of 500 gross tonnage or more, other than ratings under training and ratings whose duties while on watch are of an unskilled nature, shall be duly certificated to perform such duties.

2 Every candidate for certification shall:

- .1 be not less than 16 years of age;
- .2 have completed:
 - .2.1 approved seagoing service including not less than six months of training and experience, or
 - .2.2 special training, either pre-sea or on board ship, including an approved period of seagoing service which shall not be less than two months; and
- .3 meet the standard of competence specified in section A-II/4 of the STCW Code.

3 The seagoing service, training and experience required by subparagraphs 2.2.1 and 2.2.2 shall be associated with navigational watchkeeping functions and involve the performance of duties carried out under the direct supervision of the master, the officer in charge of the navigational watch or a qualified rating.

Regulation II/5

Mandatory minimum requirements for certification of ratings as able seafarer deck

1 Every able seafarer deck serving on a seagoing ship of 500 gross tonnage or more shall be duly certificated.

2 Every candidate for certification shall:

- .1 be not less than 18 years of age;
- .2 meet the requirements for certification as a rating forming part of a navigational watch;

* These requirements are not those for certification of Able Seamen as contained in the ILO Certification of Able Seamen Convention, 1946, or any subsequent convention.

- .3 while qualified to serve as a rating forming part of a navigational watch, have approved seagoing service in the deck department of:
 - .3.1 not less than 18 months, or
 - .3.2 not less than 12 months and have completed approved training; and
 - .4 meet the standard of competence specified in section A-II/5 of the STCW Code.
- 3 Every Party shall compare the standards of competence which it required of Able Seamen for certificates issued before **[date of entry into force]** with those specified for the certificate in section A-II/5 of the STCW Code, and shall determine the need, if any, for requiring these personnel to update their qualifications.
- 4 Until **[date of entry into force]**, a Party may continue to issue, recognize and endorse certificates in accordance with the provisions of the Convention* which applied immediately prior to the entry into force of this regulation.
- 5 Until **[date of entry into force plus five years]**, a Party may continue to renew and revalidate certificates and endorsements in accordance with the provisions of the Convention* which applied immediately prior to entry into force of this regulation.
- 6 Seafarers may be considered by the Party to have met the requirements of this regulation if they have served in a relevant capacity in the deck department for a period of not less than 12 months within the last 60 months preceding the entry into force of this regulation for that Party.

* This refers to the ILO Certification of Able Seamen Convention, 1946 (No.74).

CHAPTER III

Engine department

Regulation III/1

Mandatory minimum requirements for certification of officers in charge of an engineering watch in a manned engine-room or designated duty engineers in a periodically unmanned engine-room

1 Every officer in charge of an engineering watch in a manned engine-room or designated duty engineer officer in a periodically unmanned engine-room on a seagoing ship powered by main propulsion machinery of 750 kW propulsion power or more shall hold a certificate of competency.

2 Every candidate for certification shall:

- .1 be not less than 18 years of age;
- .2 have completed combined workshop skill training and an approved seagoing service of not less than 12 months as part of an approved training programme which includes onboard training that meets the requirements of section A-III/1 of the STCW Code and is documented in an approved training record book, or otherwise have approved seagoing service of not less than 36 months;
- .3 have performed, during the required seagoing service, engine-room watchkeeping duties under the supervision of the chief engineer officer or a qualified engineer officer for a period of not less than six months;
- .4 have completed approved education and training and meet the standards of competence specified in section A-III/1 of the STCW Code; and
- .5 meet the standards of competence specified in section A-VI/1, paragraph 2, section A-VI/2, paragraphs 1 to 4, section A-VI/3, paragraphs 1 to 4 and section A-VI/4, paragraphs 1 to 3 of the STCW Code.

Regulation III/2

Mandatory minimum requirements for certification of chief engineer officers and second engineer officers on ships powered by main propulsion machinery of 3,000 kW propulsion power or more

1 Every chief engineer officer and second engineer officer on a seagoing ship powered by main propulsion machinery of 3,000 kW propulsion power or more shall hold a certificate of competency.

2 Every candidate for certification shall:

- .1 meet the requirements for certification as an officer in charge of an engineering watch on seagoing ships powered by main propulsion machinery of 750 kW propulsion power or more and have approved seagoing service in that capacity:

- .1.1 for certification as second engineer officer, not less than 12 months as qualified engineer officer, and
 - .1.2 for certification as chief engineer officer, not less than 36 months: however, this period may be reduced to not less than 24 months if not less than 12 months of such seagoing service has been served as second engineer officer; and
- .2 have completed approved education and training and meet the standard of competence specified in section A-III/2 of the STCW Code.

Regulation III/3

Mandatory minimum requirements for certification of chief engineer officers and second engineer officers on ships powered by main propulsion machinery of between 750 kW and 3,000 kW propulsion power

- 1 Every chief engineer officer and second engineer officer on a seagoing ship powered by main propulsion machinery of between 750 and 3,000 kW propulsion power shall hold a certificate of competency.
- 2 Every candidate for certification shall:
 - .1 meet the requirements for certification as an officer in charge of an engineering watch and:
 - .1.1 for certification as second engineer officer, shall have not less than 12 months of approved seagoing service as assistant engineer officer or engineer officer, and
 - .1.2 for certification as chief engineer officer, shall have not less than 24 months of approved seagoing service of which not less than 12 months shall be served while qualified to serve as second engineer officer; and
 - .2 have completed approved education and training and meet the standard of competence specified in section A-III/3 of the STCW Code.
- 3 Every engineer officer who is qualified to serve as second engineer officer on ships powered by main propulsion machinery of 3,000 kW propulsion power or more may serve as chief engineer officer on ships powered by main propulsion machinery of less than 3,000 kW propulsion power, provided the certificate is so endorsed.

Regulation III/4

Mandatory minimum requirements for certification of ratings forming part of a watch in a manned engine-room or designated to perform duties in a periodically unmanned engine-room

- 1 Every rating forming part of an engine-room watch or designated to perform duties in a periodically unmanned engine-room on a seagoing ship powered by main propulsion machinery of 750 kW propulsion power or more, other than ratings under training and ratings whose duties are of an unskilled nature, shall be duly certificated to perform such duties.

- 2 Every candidate for certification shall:
 - .1 be not less than 16 years of age;
 - .2 have completed:
 - .2.1 approved seagoing service including not less than six months of training and experience, or
 - .2.2 special training, either pre-sea or on board ship, including an approved period of seagoing service which shall not be less than two months; and
 - .3 meet the standard of competence specified in section A-III/4 of the STCW Code.
- 3 The seagoing service, training and experience required by subparagraphs 2.2.1 and 2.2.2 shall be associated with engine-room watchkeeping functions and involve the performance of duties carried out under the direct supervision of a qualified engineer officer or a qualified rating.

Regulation III/5

Mandatory minimum requirements for certification of ratings as able seafarer engine in a manned engine-room or designated to perform duties in a periodically unmanned engine-room

- 1 Every able seafarer engine serving on a seagoing ship powered by main propulsion machinery of 750 kW propulsion power or more shall be duly certificated.
- 2 Every candidate for certification shall:
 - .1 be not less than 18 years of age;
 - .2 meet the requirements for certification as a rating forming part of a watch in a manned engine-room or designated to perform duties in a periodically unmanned engine-room;
 - .3 while qualified to serve as a rating forming part of an engineering watch, have approved seagoing service in the engine department of:
 - .3.1 not less than 12 months, or
 - .3.2 not less than 6 months and have completed approved training; and
 - .4 meet the standard of competence specified in section A-III/5 of the STCW Code.
- 3 Every Party shall compare the standards of competence which it required of ratings in the engine department for certificates issued before [date of entry into force] with those specified for the certificate in section A-III/5 of the STCW Code, and shall determine the need, if any, for requiring these personnel to update their qualifications.

4 Seafarers may be considered by the Party to have met the requirements of this regulation if they have served in a relevant capacity in the engine department for a period of not less than 12 months within the last 60 months preceding the entry into force of this regulation for that Party.

Regulation III/6

Mandatory minimum requirements for certification of electro-technical officer

1 Every electro-technical officer serving on a seagoing ship powered by main propulsion machinery of 750 kW propulsion power or more shall hold a certificate of competency.

2 Every candidate for certification shall:

.1 be not less than 18 years of age;

.2 have completed not less than 12 months of combined workshop skills training and approved seagoing service of which not less than 6 months will be seagoing service as part of an approved training programme which meets the requirements of section A-III/6 of the STCW Code and is documented in an approved training record book, or otherwise not less than 36 months of combined workshop skills training and approved seagoing service of which not less than 30 months will be seagoing service in the engine department; and

.3 have completed approved education and training and meet the standards of competence specified in section A-III/6 of the STCW Code.

3 Every Party shall compare the standards of competence which it required of electro-technical officers for certificates issued before [date of entry into force] with those specified for the certificate in section A-III/6 of the STCW Code, and shall determine the need for requiring those personnel to update their qualifications.

4 Seafarers may be considered by the Party to have met the requirements of this regulation if they have served in a relevant capacity on board a ship for a period of not less than 12 months within the last 60 months preceding the entry into force of this regulation for that Party and meet the standards of competence specified in section A-III/6 of the STCW Code.

5 Notwithstanding the above requirements of paragraph 1 to 4, a suitably qualified person may be considered by a Party to be able to perform certain functions of section A-III/6.

Regulation III/7

Mandatory minimum requirements for certification of electro-technical rating

1 Every electro-technical rating serving on a seagoing ship powered by main propulsion machinery of 750 kW propulsion power or more shall be duly certificated.

2 Every candidate for certification shall:

.1 be not less than 18 years of age;

.2 have:

.2.1 completed approved seagoing service including not less than 12 months training and experience, or

.2.2 completed approved training, including an approved period of seagoing service which shall not be less than 6 months; or

.2.3 qualifications that meet the technical competences in A-III/7 and an approved period of seagoing service, which shall not be less than 3 months; and

.3 meet the standard of competence specified in section A-III/7 of the STCW Code.

3 Every Party shall compare the standards of competence which it required of electro-technical ratings for certificates issued before **[date of entry into force]** with those specified for the certificate in section A-III/7 of the STCW Code, and shall determine the need, if any, for requiring these personnel to update their qualifications.

4 Seafarers may be considered by the Party to have met the requirements of this regulation if they have served in a relevant capacity on board a ship for a period of not less than 12 months within the last 60 months preceding the entry into force of this regulation for that Party and meet the standards of competence specified in section A-III/7 of the STCW Code.

5 Notwithstanding the above requirements of paragraphs 1 to 4, a suitably qualified person may be considered by a Party to be able to perform certain functions of section A-III/7.

CHAPTER IV

Radiocommunication and radio operators

Explanatory note

Mandatory provisions relating to radio watchkeeping are set forth in the Radio Regulations and in the International Convention for the Safety of Life at Sea, 1974, as amended. Provisions for radio maintenance are set forth in the International Convention for the Safety of Life at Sea, 1974, as amended, and the guidelines adopted by the Organization*.

Regulation IV/1

Application

1 Except as provided in paragraph 2, the provisions of this chapter apply to radio operators on ships operating in the global maritime distress and safety system (GMDSS) as prescribed by the International Convention for the Safety of Life at Sea, 1974, as amended.

2 Radio operators on ships not required to comply with the provisions of the GMDSS in chapter IV of the SOLAS Convention are not required to meet the provisions of this chapter. Radio operators on these ships are, nevertheless, required to comply with the Radio Regulations. The Administration shall ensure that the appropriate certificates as prescribed by the Radio Regulations are issued to or recognized in respect of such radio operators.

Regulation IV/2

Mandatory minimum requirements for certification of GMDSS radio operators

1 Every person in charge of or performing radio duties on a ship required to participate in the GMDSS shall hold an appropriate certificate related to the GMDSS, issued or recognized by the Administration under the provisions of the Radio Regulations.

2 In addition, every candidate for certification of competency under this regulation for service on a ship, which is required by the International Convention for the Safety of Life at Sea, 1974, as amended, to have a radio installation, shall:

- .1 be not less than 18 years of age; and
- .2 have completed approved education and training and meet the standard of competence specified in section A-IV/2 of the STCW Code.

* Refer to the Radio Maintenance Guidelines for the Global Maritime Distress and Safety System (GMDSS) Related to Sea Areas A3 and A4 adopted by the Organization by resolution A.702(17).

CHAPTER V

Standards regarding special training requirements for personnel on certain types of ships

Regulation V/1-1

Mandatory minimum requirements for the training and qualifications of masters, officers and ratings on oil and chemical tankers

- 1 Officers and ratings assigned specific duties and responsibilities related to cargo or cargo equipment on oil or chemical tankers shall hold a certificate in basic training for oil and chemical tanker cargo operations.
- 2 Every candidate for a certificate in basic training for oil and chemical tanker cargo operations shall have completed safety training in accordance with provisions of section A-VI/1 of the STCW Code and shall have completed:
 - .1 at least three months of approved seagoing service on oil or chemical tankers and meet the standard of competence specified in section A-V/1-1, paragraph 1 of the STCW Code; or
 - .2 an approved basic training for oil and chemical tanker cargo operations and meet the standard of competence specified in section A-V/1-1, paragraph 1 of the STCW Code.
- 3 Masters, chief engineer officers, chief mates, second engineer officers and any person with immediate responsibility for loading, discharging, care in transit, handling of cargo, tank cleaning or other cargo-related operations on oil tankers shall hold a certificate in advanced training for oil tanker cargo operations.
- 4 Every candidate for a certificate in advanced training for oil tanker cargo operations shall:
 - .1 meet the requirements for certification in basic training for oil and chemical tanker cargo operations; and
 - .2 while qualified for certification in basic training for oil and chemical tanker cargo operations, have:
 - .2.1 at least three months of approved seagoing service on oil tankers, or
 - .2.2 at least one month of approved onboard training on oil tankers in a supernumerary capacity, which includes at least three loading and three unloading operations and is documented in an approved training record book taking into account guidance in section B-V/1; and
 - .3 have completed approved advanced training for oil tanker cargo operations and meet the standard of competence specified in section A-V/1-1, paragraph 2 of the STCW Code.

5 Masters, chief engineer officers, chief mates, second engineer officers and any person with immediate responsibility for loading, discharging, care in transit, handling of cargo, tank cleaning or other cargo-related operations on chemical tankers shall hold a certificate in advanced training for chemical tanker cargo operations.

6 Every candidate for a certificate in advanced training for chemical tanker cargo operations shall:

- .1 meet the requirements for certification in basic training for oil and chemical tanker cargo operations; and
- .2 while qualified for certification in basic training for oil and chemical tanker cargo operations, have:
 - .2.1 at least three months of approved seagoing service on chemical tankers, or
 - .2.2 at least one month of approved onboard training on chemical tankers in a supernumerary capacity, which includes at least three loading and three unloading operations and is documented in an approved training record book taking into account guidance in section B-V/1; and
- .3 have completed approved advanced training for chemical tanker cargo operations and meet the standard of competence specified in section A-V/1-1, paragraph 3 of the STCW Code.

7 Administrations shall ensure that a certificate of proficiency is issued to seafarers who are qualified in accordance with paragraphs 2, 4 or 6 as appropriate, or that an existing certificate of competency or certificate of proficiency is duly endorsed.

Regulation V/1-2

Mandatory minimum requirements for the training and qualifications of masters, officers and ratings on liquefied gas tankers

1 Officers and ratings assigned specific duties and responsibilities related to cargo or cargo equipment on liquefied gas tankers shall hold a certificate in basic training for liquefied gas tanker cargo operations.

2 Every candidate for a certificate in basic training for liquefied gas tanker cargo operations shall have completed basic training in accordance with provisions of section A-VI/1 of the STCW Code and shall have completed:

- .1 at least three months of approved seagoing service on liquefied gas tankers and meet the standard of competence specified in section A-V/1-2, paragraph 1 of the STCW Code; or
- .2 an approved basic training for liquefied gas tanker cargo operations and meet the standard of competence specified in section A-V/1-2, paragraph 1 of the STCW Code.

3 Masters, chief engineer officers, chief mates, second engineer officers and any person with immediate responsibility for loading, discharging, care in transit, handling of cargo, tank

cleaning or other cargo-related operations on liquefied gas tankers shall hold a certificate in advanced training for liquefied gas tanker cargo operations.

4 Every candidate for a certificate in advanced training for liquefied gas tanker cargo operations shall:

- .1 meet the requirements for certification in basic training for liquefied gas tanker cargo operations; and
- .2 while qualified for certification in basic training for liquefied gas tanker cargo operations, have:
 - .2.1 at least three months of approved seagoing service on liquefied gas tankers, or
 - .2.2 at least one month of approved onboard training on liquefied gas tankers in a supernumerary capacity, which includes at least three loading and three unloading operations and is documented in an approved training record book taking into account guidance in section B-V/1; and
- .3 have completed approved advanced training for liquefied gas tanker cargo operations and meet the standard of competence specified in section A-V/1-2, paragraph 2 of the STCW Code.

5 Administrations shall ensure that a certificate of proficiency is issued to seafarers who are qualified in accordance with paragraph 2 or 4 as appropriate, or that an existing certificate of competency is duly endorsed.

Regulation V/2

Mandatory minimum requirements for the training and qualifications of masters, officers, ratings and other personnel on passenger ships

1 This regulation applies to masters, officers, ratings and other personnel serving on board passenger ships engaged on international voyages. Administrations shall determine the applicability of these requirements to personnel serving on passenger ships engaged on domestic voyages.

2 Prior to being assigned shipboard duties on board passenger ships, seafarers shall have completed the training required by paragraphs 4 to 7 below in accordance with their capacity, duties and responsibilities.

3 Seafarers who are required to be trained in accordance with paragraphs 4, 6 and 7 below shall, at intervals not exceeding five years, undertake appropriate refresher training or be required to provide evidence of having achieved the required standard of competence within the previous five years.

4 Masters, officers and other personnel designated on muster lists to assist passengers in emergency situations on board passenger ships shall have completed training in crowd management as specified in section A-V/2, paragraph 1 of the STCW Code.

5 Personnel providing direct service to passengers in passenger spaces on board passenger ships shall have completed the safety training specified in section A-V/2, paragraph 2 of the STCW Code.

6 Masters, chief engineer officers, chief mates, second engineer officers and any person designated on muster lists of having responsibility for the safety of passengers in emergency situations on board passenger ships shall have completed approved training in crisis management and human behaviour as specified in section A-V/2, paragraph 3 of the STCW Code.

7 Masters, chief engineer officers, chief mates, second engineer officers and every person assigned immediate responsibility for embarking and disembarking passengers, loading, discharging or securing cargo, or closing hull openings on board ro-ro passenger ships shall have completed approved training in passenger safety, cargo safety and hull integrity as specified in section A-V/2, paragraph 4 of the STCW Code.

8 Administrations shall ensure that documentary evidence of the training which has been completed is issued to every person found qualified under the provisions of this regulation.

CHAPTER VI

Emergency, occupational safety, security, medical care and survival functions

Regulation VI/1

Mandatory minimum requirements for safety familiarization, basic training and instruction for all seafarers

1 Seafarers shall receive safety familiarization and basic training or instruction in accordance with section A-VI/1 of the STCW Code and shall meet the appropriate standard of competence specified therein.

2 Where basic training is not included in the qualification for the certificate to be issued, a certificate of proficiency shall be issued, indicating that the holder has attended the course in basic training.

Regulation VI/2

Mandatory minimum requirements for the issue of certificates of proficiency in survival craft, rescue boats and fast rescue boats

1 Every candidate for a certificate of proficiency in survival craft and rescue boats other than fast rescue boats shall:

- .1 be not less than 18 years of age;
- .2 have approved seagoing service of not less than 12 months or have attended an approved training course and have approved seagoing service of not less than six months; and
- .3 meet the standard of competence for certificates of proficiency in survival craft and rescue boats set out in section A-VI/2, paragraphs 1 to 4, of the STCW Code.

2 Every candidate for a certificate of proficiency in fast rescue boats shall:

- .1 be the holder of a certificate of proficiency in survival craft and rescue boats other than fast rescue boats;
- .2 have attended an approved training course; and
- .3 meet the standard of competence for certificates of proficiency in fast rescue boats set out in section A-VI/2, paragraphs 7 to 10, of the STCW Code.

Regulation VI/3

Mandatory minimum requirements for training in advanced fire fighting

1 Seafarers designated to control fire-fighting operations shall have successfully completed advanced training in techniques for fighting fire, with particular emphasis on organization, tactics and command, in accordance with the provisions of section A-VI/3, paragraphs 1 to 4, of the STCW Code and shall meet the standard of competence specified therein.

2 Where training in advanced fire fighting is not included in the qualifications for the certificate to be issued, a certificate of proficiency shall be issued indicating that the holder has attended a course of training in advanced fire fighting.

Regulation VI/4

Mandatory minimum requirements relating to medical first aid and medical care

1 Seafarers designated to provide medical first aid on board ship shall meet the standard of competence in medical first aid specified in section A-VI/4, paragraphs 1 to 3, of the STCW Code.

2 Seafarers designated to take charge of medical care on board ship shall meet the standard of competence in medical care on board ships specified in section A-VI/4, paragraphs 4 to 6, of the STCW Code.

3 Where training in medical first aid or medical care is not included in the qualifications for the certificate to be issued, a certificate of proficiency shall be issued indicating that the holder has attended a course of training in medical first aid or in medical care.

Regulation VI/5

Mandatory minimum requirements for the issue of certificates of proficiency for ship security officers

1 Every candidate for a certificate of proficiency as ship security officer shall:

- .1 have approved seagoing service of not less than 12 months or appropriate seagoing service and knowledge of ship operations; and
- .2 meet the standard of competence for certification of proficiency as ship security officer, set out in section A-VI/5, paragraphs 1 to 4, of the STCW Code.

2 Administrations shall ensure that every person found qualified under the provisions of this regulation is issued with a certificate of proficiency.

Regulation VI/6

Mandatory minimum requirements for security-related training and instruction for all seafarers

1 Seafarers shall receive security-related familiarization and security-awareness training or instruction in accordance with section A-VI/6, paragraphs 1 to 4 of the STCW Code and shall meet the appropriate standard of competence specified therein.

2 Where security awareness is not included in the qualification for the certificate to be issued, a certificate of proficiency shall be issued indicating that the holder has attended a course in security awareness training.

3 Every Party shall compare the security-related training or instruction it requires of seafarers who hold or can document qualifications before the entry into force of this regulation with those specified in section A-VI/6, paragraph 4 of the STCW Code, and shall determine the need for requiring these seafarers to update their qualifications.

Seafarers with designated security duties

- 4 Seafarers with designated security duties shall meet the standard of competence specified in section A-VI/6, paragraphs 6 to 8 of the STCW Code.
- 5 Where training in designated security duties is not included in the qualifications for the certificate to be issued, a certificate of proficiency shall be issued indicating that the holder has attended a course of training for designated security duties.
- 6 Every Party shall compare the security training standards required of seafarers with designated security duties who hold or can document qualifications before the entry into force of this regulation with those specified in section A-VI/6, paragraph 8 of the STCW Code, and shall determine the need for requiring these seafarers to update their qualifications.

CHAPTER VII

Alternative certification

Regulation VII/1

Issue of alternative certificates

1 Notwithstanding the requirements for certification laid down in chapters II and III of this annex, Parties may elect to issue or authorize the issue of certificates other than those mentioned in the regulations of those chapters, provided that:

- .1 the associated functions and levels of responsibility to be stated on the certificates and in the endorsements are selected from and identical to those appearing in sections A-II/1, A-II/2, A-II/3, A-II/4, A-II/5, A-III/1, A-III/2, A-III/3, A-III/4, A-III/5 and A-IV/2 of the STCW Code;
- .2 the candidates have completed approved education and training and meet the requirements for standards of competence, prescribed in the relevant sections of the STCW Code and as set forth in section A-VII/1 of this Code, for the functions and levels that are to be stated on the certificates and in the endorsements;
- .3 the candidates have completed approved seagoing service appropriate to the performance of the functions and levels that are to be stated on the certificate. The minimum duration of seagoing service shall be equivalent to the duration of seagoing service prescribed in chapters II and III of this annex. However, the minimum duration of seagoing service shall be not less than as prescribed in section A-VII/2 of the STCW Code;
- .4 the candidates for certification who are to perform the function of navigation at the operational level shall meet the applicable requirements of the regulations in chapter IV, as appropriate, for performing designated radio duties in accordance with the Radio Regulations; and
- .5 the certificates are issued in accordance with the requirements of regulation I/2 and the provisions set forth in chapter VII of the STCW Code.

2 No certificate shall be issued under this chapter unless the Party has communicated information to the Organization in accordance with article IV and regulation I/7.

Regulation VII/2

Certification of seafarers

1 Every seafarer who performs any function or group of functions specified in tables A-II/1, A-II/2, A-II/3, A-II/4 or A-II/5 of chapter II or in tables A-III/1, A-III/2, A-III/3, A-III/4 or A-III/5 of chapter III or A-IV/2 of chapter IV of the STCW Code shall hold a certificate of competency or certificate of proficiency, as applicable.

Regulation VII/3

Principles governing the issue of alternative certificates

1 Any Party which elects to issue or authorize the issue of alternative certificates shall ensure that the following principles are observed:

- .1 no alternative certification system shall be implemented unless it ensures a degree of safety at sea and has a preventive effect as regards pollution at least equivalent to that provided by the other chapters; and
- .2 any arrangement for alternative certification issued under this chapter shall provide for the interchangeability of certificates with those issued under the other chapters.

2 The principle of interchangeability in paragraph 1 shall ensure that:

- .1 seafarers certificated under the arrangements of chapters II and/or III and those certificated under chapter VII are able to serve on ships which have either traditional or other forms of shipboard organization; and
- .2 seafarers are not trained for specific shipboard arrangements in such a way as would impair their ability to take their skills elsewhere.

3 In issuing any certificate under the provisions of this chapter, the following principles shall be taken into account:

- .1 the issue of alternative certificates shall not be used in itself:
 - .1.1 to reduce the number of crew on board,
 - .1.2 to lower the integrity of the profession or “de-skill” seafarers, or
 - .1.3 to justify the assignment of the combined duties of the engine and deck watchkeeping officers to a single certificate holder during any particular watch; and
- .2 the person in command shall be designated as the master; and the legal position and authority of the master and others shall not be adversely affected by the implementation of any arrangement for alternative certification.

4 The principles contained in paragraphs 1 and 2 of this regulation shall ensure that the competency of both deck and engineer officers is maintained.

CHAPTER VIII

Watchkeeping

Regulation VIII/1

Fitness for duty

- 1 Each Administration shall, for the purpose of preventing fatigue:
 - .1 establish and enforce rest periods for watchkeeping personnel and those whose duties involve designated safety, prevention of pollution and security duties in accordance with the provisions of section A-VIII/1 of the STCW Code; and
 - .2 require that watch systems are so arranged that the efficiency of all watchkeeping personnel is not impaired by fatigue and that duties are so organized that the first watch at the commencement of a voyage and subsequent relieving watches are sufficiently rested and otherwise fit for duty.
- 2 Each Administration shall, for the purpose of preventing drug and alcohol abuse, ensure that adequate measures are established in accordance with the provisions of section A-VIII/1 while taking into account the guidance given in section B-VIII/1 of the STCW Code.

Regulation VIII/2

Watchkeeping arrangements and principles to be observed

- 1 Administrations shall direct the attention of companies, masters, chief engineer officers and all watchkeeping personnel to the requirements, principles and guidance set out in the STCW Code which shall be observed to ensure that a safe continuous watch or watches appropriate to the prevailing circumstances and conditions are maintained in all seagoing ships at all times.
- 2 Administrations shall require the master of every ship to ensure that watchkeeping arrangements are adequate for maintaining a safe watch or watches, taking into account the prevailing circumstances and conditions and that, under the master's general direction:
 - .1 officers in charge of the navigational watch are responsible for navigating the ship safely during their periods of duty, when they shall be physically present on the navigating bridge or in a directly associated location such as the chartroom or bridge control room at all times;
 - .2 radio operators are responsible for maintaining a continuous radio watch on appropriate frequencies during their periods of duty;
 - .3 officers in charge of an engineering watch, as defined in the STCW Code and under the direction of the chief engineer officer, shall be immediately available and on call to attend the machinery spaces and, when required, shall be physically present in the machinery space during their periods of responsibility;

- .4 an appropriate and effective watch or watches are maintained for the purpose of safety at all times while the ship is at anchor or moored and, if the ship is carrying hazardous cargo, the organization of such watch or watches takes full account of the nature, quantity, packing and stowage of the hazardous cargo and of any special conditions prevailing on board, afloat or ashore; and
- .5 as applicable, an appropriate and effective watch or watches are maintained for the purposes of security.
